

平成30年度
消防年報
松本広域消防局
発足25周年特集

平成30年度
消防年報
松本広域消防局発足25周年記念特集

松本広域消防局



松本広域消防局

は じ め に

平成5年4月1日に松本広域消防局が発足してから、今年度で25周年を迎えました。

この間、消防行政を取り巻く環境は大きく変化し、御嶽山噴火災害や全国各地での豪雨被害等、災害も複雑多様化、大規模化の傾向を強めています。また、南海トラフ地震や首都直下地震の発生が危惧されていること等、住民の安全に対する関心と消防に寄せる期待は益々高まっています。

このような状況を踏まえ当消防局では、地震等の大規模な自然災害や特殊災害に対して的確に対応するため、危機管理体制の強化を図るとともに、火災予防対策の充実、救急業務の高度化等を積極的に進めてまいりました。

本書は、25周年特集号として、平成25年度に発行された消防局発足20周年特集号以降の、平成25年度から平成29年度までの主要事務事業の概要、統計等を取りまとめたほか、5年間を振り返るべく、主な出来事を写真集の形で編集しました。

この年報を多くの皆様にご高覧いただき、今後の消防防災の参考資料としてお役に立てれば幸いです。

末筆ながら、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後の松本地域における消防行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年10月

松本広域消防局

目次	
松本広域消防局発足 25 周年特集	
■ 松本広域消防局の概要	
1 松本地域の位置及び地勢 -----	5
2 関係市村別面積・人口・世帯数 -----	6
3 沿革-----	7
4 松本広域連合組織図 -----	21
5 消防局・消防署所分布図 -----	22
6 消防庁舎の状況 -----	23
7 事務分掌-----	24
■ 写真で振り返る 5 年間	
・ 松本広域消防発足 20 周年のつどい -	27
・ 消防救急デジタル無線設備、消防通信 指令システム等運用開始 -----	28
・ 御嶽山噴火災害 -----	29
・ 雨氷倒木被害 -----	32
・ 消防防災ヘリコプター「アルプス」 事故 -----	33
・ 自家用給油取扱所設置 -----	34
・ 女性消防職員専用施設の整備 -----	35
■ 統計でみる 5 年間	
1 総務編	
(1) 管内人口 -----	37
(2) 消防職員数 -----	37
(3) 人口及び世帯当たりの消防予算額 ---	37
(4) 表彰-----	38
2 予防編	
(1) 火災の概要 -----	40
(2) 主な出火原因の推移 -----	41
(3) 防火対象物等の状況 -----	41
(4) 予防関係届出状況 -----	42
(5) 防火管理者資格取得状況 -----	42
(6) 危険物施設の状況 -----	43
3 警防編	
(1) 救急出場状況 -----	44
(2) 救急出場件数及び搬送人員数の推移 -	44
(3) ドクターカー出場状況 -----	44
(4) 応急手当普及啓発活動の状況 -----	45
(5) 救助出場状況 -----	46

次	
(6) 救助技術大会出場状況 -----	46
4 通信指令課	
1 1 9 番通報受信状況 -----	47

平成 30 年度消防年報	
■ 総務編	
1 人事	
(1) 職員配置状況 -----	50
(2) 年齢・階級別職員数 -----	51
(3) 勤続年数・階級別職員数 -----	52
(4) 職員研修状況 -----	53
2 財政	
(1) 消防費当初予算額 -----	55
(2) 関係市村消防費負担金 -----	57
(3) 消防費決算額 -----	58
3 その他	
(1) 関係市村消防団の現況 -----	60
(2) 歴代消防局長 -----	60
■ 予防編	
1 火災統計	
(1) 概要 -----	62
(2) 火災発生状況前年比較 -----	62
(3) 市村別火災発生状況 -----	64
(4) 消防署・出張所別火災発生状況 -----	64
(5) 月別火災発生状況 -----	66
(6) 出火原因別火災発生状況 -----	68
(7) 時間帯別火災発生状況 -----	69
(8) 曜日別火災発生状況 -----	69
2 防火対象物	
(1) 市村別防火対象物の概要 -----	70
(2) 消防署・出張所別防火対象物の概要 --	71
(3) 消防同意件数及び査察実施状況 -----	72
(4) 各種届出状況 -----	73
(5) 防火管理者資格取得講習受講状況 ----	73
3 危険物施設	
(1) 危険物施設の概要 -----	74
(2) 許可・検査等の状況 -----	75

■ 警防編

1 救急統計

- (1) 概要----- 78
- (2) 救急出場状況 ----- 78
- (3) 市村別救急出場状況 ----- 79
- (4) 消防署・出張所別救急出場状況 ----- 80
- (5) 月別救急出場状況 ----- 81
- (6) 時間帯別救急出場状況 ----- 82
- (7) 曜日別救急出場状況 ----- 83
- (8) 搬送人員の状況 ----- 84
- (9) ドクターカー出場状況 ----- 87
- (10) ヘリコプターによる救急搬送状況 --- 88
- (11) 応急手当普及啓発活動の状況 ----- 89

2 救助統計

- (1) 概要----- 90
- (2) 救助出場状況 ----- 90
- (3) 救助活動状況 ----- 91

3 その他災害統計 ----- 92

4 警防

- (1) 消防車両等の現況 ----- 93
- (2) 消防車両等の配置状況 ----- 94
- (3) 消防車両等の経過年数 ----- 96
- (4) 中高層建築物の現況 ----- 97

■ 通信指令編

1 消防通信指令システムの主要装置 -----100

2 無線局配置状況 -----101

3 119番通報受信状況 -----102

4 地域住民等を対象としたシステム

- (1) Web 119 通信システム受信状況 -103
- (2) インターネットを活用した災害情報
公開システム -----103

■ 松本広域消防の歌 ----- 105

一 目 統 計

構成市村

3市・5村



人口

(人)

合 計	427,660
松 本 市	239,519
塩 尻 市	67,449
安曇野市	98,073
麻 績 村	2,772
生 坂 村	1,799
山 形 村	8,773
朝 日 村	4,598
筑 北 村	4,677

平成30年4月1日現在

世帯数

(世帯)

合 計	179,652
松 本 市	104,570
塩 尻 市	27,400
安曇野市	39,504
麻 績 村	1,125
生 坂 村	736
山 形 村	3,033
朝 日 村	1,412
筑 北 村	1,872

平成30年4月1日現在

面積

(km²)

合 計	1,868.93
松 本 市	978.47
塩 尻 市	290.18
安曇野市	331.78
麻 績 村	34.38
生 坂 村	39.05
山 形 村	24.98
朝 日 村	70.62
筑 北 村	99.47

平成30年4月1日現在

組織

消防局 1 (4課)
消防署 12
出張所 4



平成30年4月1日現在

職員数

条例定数 395人

実員総数 392人



平成30年4月1日現在

予算

当初予算
41億9,306万円

平成30年4月1日現在

市村消防費負担金

(千円)

合 計	3,908,450
松 本 市	1,988,204
塩 尻 市	585,288
安曇野市	999,205
麻 績 村	47,541
生 坂 村	35,174
山 形 村	99,367
朝 日 村	72,241
筑 北 村	81,430

平成30年4月1日現在

消防車両数

125台

ポンプ車 29台
はしご車 2台
屈折はしご車 1台
化学車 2台
救助工作車 3台
指揮広報車 17台

高規格救急車 18台
資機材搬送車 2台
後方支援車 1台
その他 50台



平成30年4月1日現在

救命講習受講者数
応急手当普及員講習

41人

上級救命講習

277人

普通救命講習

8,867人

救命入門コース

151人



平成29年度中

119通報



合 計 23,329件
災 害 17,888件
当番医照会 581件
訓 練 600件
いたすら 30件
そ の 他 4,230件

平成29年中

火災件数



合 計 131件
建 物 57件
林 野 5件
車 両 16件
そ の 他 53件

平成29年中

火災原因



1位 た き 火 29件
2位 こ ん ろ 7件
2位 ス ト ー プ 7件
2位 放火の疑い 7件
5位 火 入 れ 5件
5位 配 線 器 具 5件
そ の 他 48件
不 明 23件

平成29年中

救急



合 計 17,835件
急 病 11,745件
一般負傷 2,480件
交通事故 1,470件
そ の 他 2,140件

平成29年中

救助



合 計 227件
交通 事故 74件
建 物 火 災 46件
建 物 事 故 27件
水 難 事 故 12件
そ の 他 68件

平成29年中

ドクターカー

合 計 107件
交通事故 21件
急 病 24件
一般負傷 5件
そ の 他 57件



平成29年中

ヘリコプターによる
救急搬送状況

合 計 108件
急 病 51件
一般負傷 20件
交通事故 21件
そ の 他 16件



平成29年中

防火対象物

合 計 12,363件
特定防火対象物
3,878件
非特定防火対象物
8,485件



平成30年4月1日現在

危険物施設

合 計 1,928件
製 造 所 4件
貯 蔵 所 1,413件
取 扱 所 511件



平成30年4月1日現在

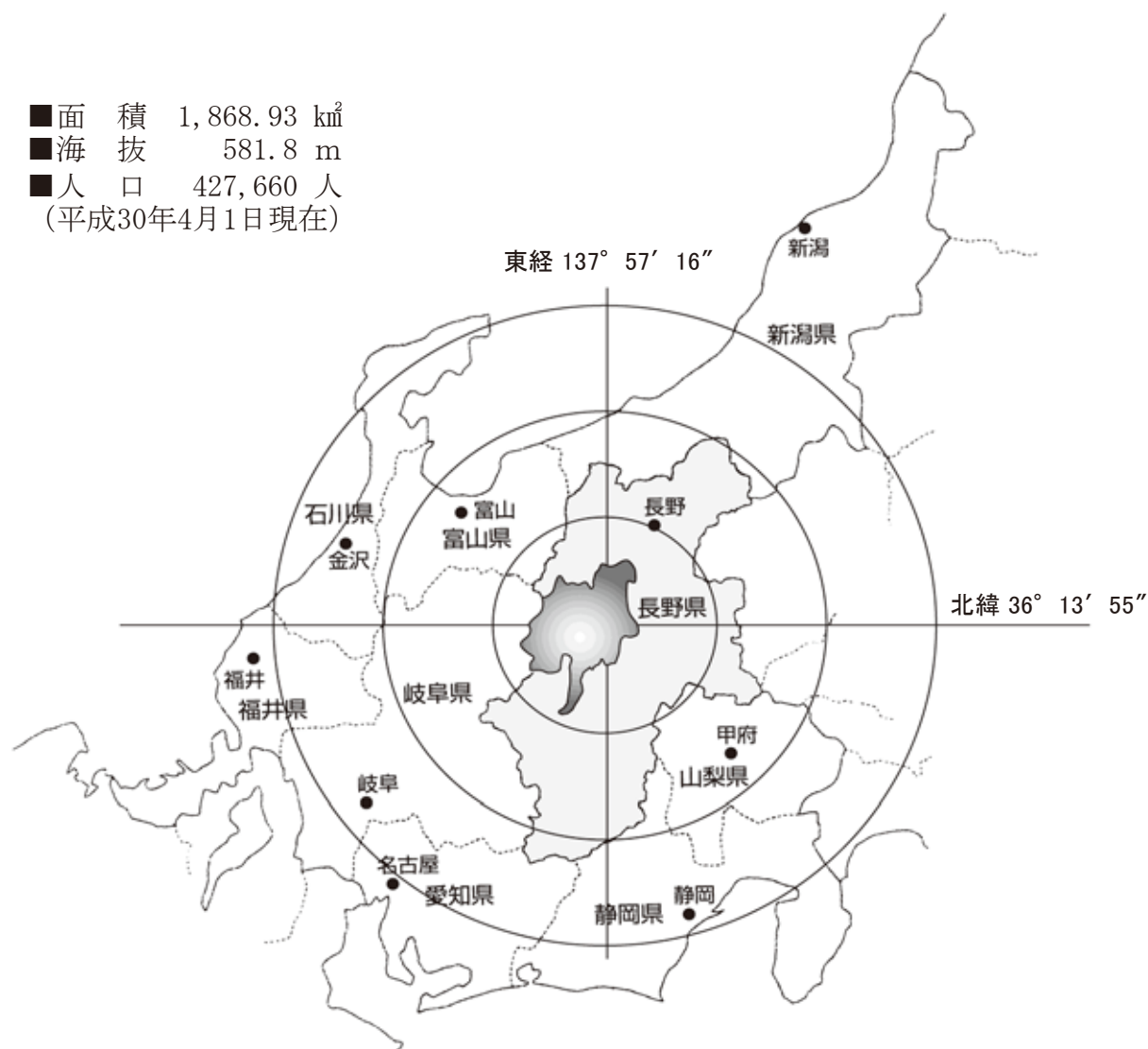
松本広域消防局 発足25周年特集



1 松本地域の位置及び地勢

(1) 位置

■面 積 1,868.93 km²
■海 抜 581.8 m
■人 口 427,660 人
(平成30年4月1日現在)



(2) 地勢

松本地域は長野県のほぼ中央に位置し、東西に52km、南北に73km、総面積は長野県の約14%を占める1,868.93km²となっています。このうち山林原野が約58%、農地が約13%、宅地が約5%を占めており、西側には奥穂高岳や槍ヶ岳など日本の屋根といわれる北アルプス連峰がそびえ、東側には八ヶ岳中信高原国定公園に属する美ヶ原高原や高ボッチ高原などが広がり、四方が山々に囲まれています。

また、四方から流れ出る川はこの地で一つになり、犀川（信濃川）となって日本海にそそいでおり、これらの河川により扇状地や河岸段丘が形成され、豊かな自然の恵みや美しい景観をもたらしています。

気候は、位置及び地形から顕著な内陸性気候の特性を示しており、気温の日較差は大きく、四季の変化に富み、また湿度が低いことからさわやかな気候となっています。

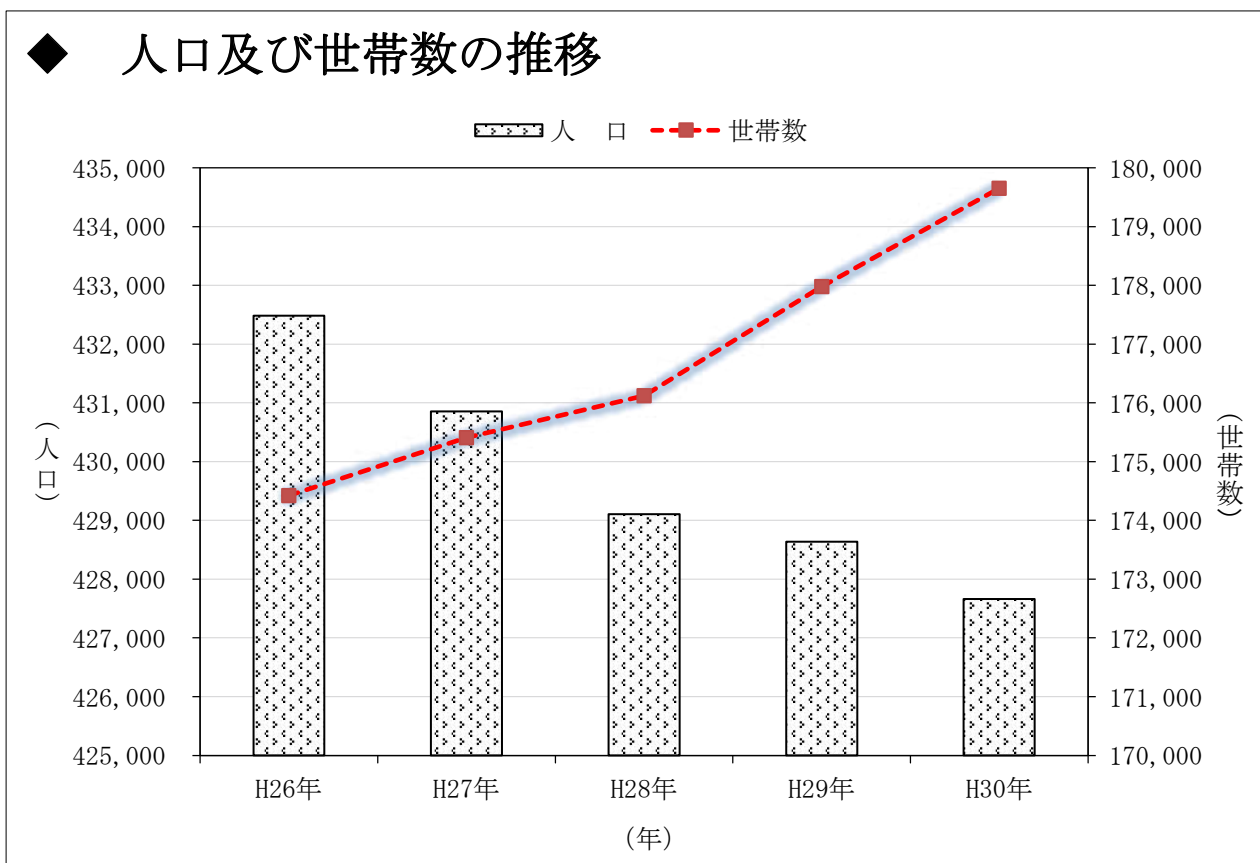
また、海から離れ、標高の高い山々に囲まれていることから、降水量は年間約1,000mm程度で、台風などによる強風や大雨などの自然災害が比較的少ない気候となっています。

2 関係市村別面積・人口・世帯数

(平成30年4月1日現在)

関係市村	面 積 (k m ²)	人 口			世 帯 数	人口密度 (人/k m ²)
		総 数	男	女		
松 本 市	978.47	239,519	117,357	122,162	104,570	244.79
塩 尻 市	290.18	67,449	33,653	33,796	27,400	232.44
安曇野市	331.78	98,073	47,575	50,498	39,504	295.60
麻 績 村	34.38	2,772	1,319	1,453	1,125	80.63
生 坂 村	39.05	1,799	877	922	736	46.07
山 形 村	24.98	8,773	4,341	4,432	3,033	351.20
朝 日 村	70.62	4,598	2,283	2,315	1,412	65.11
筑 北 村	99.47	4,677	2,318	2,359	1,872	47.02
総 数	1,868.93	427,660	209,723	217,937	179,652	228.83

◆ 人口及び世帯数の推移



※ 人口は、関係市村の住民基本台帳に外国人登録者数を含めた数値で、世帯数についても外国人の世帯数が含まれています。

3 沿革

《松本広域消防局発足の経過》

■背景と経緯

松本地域2市4町13村を一本化した広域消防体制がスタートする以前の松本地域の消防体制は、地域住民の日常生活圏が広域化する中で、東筑摩郡10町村と南安曇郡2村の12町村が非常備消防の状況にあり、特に救急業務については、松本市、塩尻市及び南安曇郡消防組合との応援協定に依存している状況にありました。

そのような中、松本地域が国の「ふるさと市町村圏」の選定を受け、松本地域広域行政事務組合が新たに策定した『第1次松本地域ふるさと市町村圏計画』において「消防体制の未整備地域の解消を図るとともに、圏域を一体化した広域常備体制の整備を推進する」として、広域消防に関する広域的施策の骨子を位置づけ、地域住民が等しく高度な消防サービスを受けることができる広域常備消防体制の確立に向けた取組が図られることとなりました。

■平成元年度

松本地方事務所の主宰により松本広域19市町村の企画・財政担当課長及び消防担当課長等による「広域消防研究会」が設置され、広域消防体制づくりに向けての検討を重ねました。

平成2年2月19日、広域消防研究会から松本地域広域行政事務組合管理者あてに検討結果が提出され、同年2月27日開催の組合理事者会、組合議会議員協議会において19市町村を一体とした広域常備消防体制実現に向けての取組と今後の推進体制について了承されました。

■平成2年度

広域常備消防推進体制として、組合組織市町村の助役等を構成メンバーとした「広域消防推進委員会」を、また、広域担当課長で構成する「広域消防推進委員会幹事会」を、さらに、広域事務局内に松本市及び塩尻市等からの派遣職員で構成する「広域消防推進プロジェクトチーム」を設置して、実務レベルでの調査研究、検討が行われ、広域消防計画（案）を策定しました。

■平成3年度

4月19日	広域消防推進委員会代表者会議を開催、広域消防業務開始日を平成5年4月1日とする案を協議
4月30日	正副管理者会において、広域消防計画（案）について協議され、素案を決定
5月29日	第5回広域消防推進委員会幹事会において、組合規約の変更（共同処理事務に消防に関する事務を加える）について協議
6月6日	理事会及び組合議会議員協議会において、広域消防計画を承認
7月25日	組合規約の変更許可（長野県）
8月1日	理事会及び臨時組合議会を開催、平成3年度消防費補正予算案（新設署所建設用地購入費ほか関係予算）を可決
10月2日	非常備12町村の「消防本部及び消防署を置かなければならない町村の指定」に関する申請書を自治省消防庁に提出
10月31日	政令指定要望（自治省消防庁ヒアリング）
1月8日	第7回広域消防推進委員会を開催し、平成4年度消防費予算案（新設署所建設費及び消防車両購入費等）を提示
2月7日	定例組合議会において、平成4年度消防費当初予算を可決
3月7日	政令指定内示（自治省）

■平成4年度

	自治省消防庁から政令指定の内示を受け、平成5年4月1日の業務開始に向け「広域消防準備室」を設置しました。
4月1日	広域消防準備室の発足（9人体制） 新規採用職員辞令交付 46人
4月2日	政令指定告示（自治省告示第71号）
7月8日	麻績消防署・明科消防署新築起工式
7月20日	山形消防署・梓川消防署安曇出張所新築起工式
8月27日	無線中継基地局新築起工
9月8日	既存3消防本部職員階級統一昇任試験実施
1月25日	無線中継基地局竣工
2月25日	新設署所竣工 新設署所消防車両納入 水槽付消防ポンプ自動車 3台 普通ポンプ自動車 1台 指揮広報車 4台 救急車 4台
3月1日	新設署所配置職員辞令交付 24人
3月8日	合同竣工式（麻績消防署・明科消防署・山形消防署・安曇出張所・無線中継基地局）
3月31日	松本市消防本部、塩尻市消防本部廃止及び南安曇郡消防組合解散 119番通報回線切替え

《松本広域消防局発足》

■平成5年度

4月1日	松本広域消防局発足式 消防職員定数 352人 新規採用職員辞令交付 26人（消防職員数327人）
6月14日	三防火管理協会（松本・塩尻・南安）連絡会の設立
7月11日	「国宝松本城400年まつり」「信州博覧会」の消防警備協力 9月26日までの間、延べ500人の職員が警備協力
7月23日	第22回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 3種目12人 ロープブリッジ渡過・斜めブリッジ救助・障害突破
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 2人 消防士長 10人 消防副士長 14人
12月24日	松本広域消防職員意見発表会
1月14日	消防ポンプ自動車配置式（麻績消防署・明科消防署・山形消防署）
2月28日	松本広域消防局初の高規格救急自動車を配置（丸の内消防署）
3月5日	消防職員観閲式 消防職員ほか260人参加
3月27日	第1回消防防災関係機関連絡会議開催（消防、自衛隊、警察の三機関の連絡会）

■平成6年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 12人（消防職員数338人）
5月23日	救急救命士が搭乗する高規格救急自動車の運用開始（丸の内消防署）
6月27日	松本市中毒ガス事故（松本サリン事件）発生 死者7人
6月29日	松本空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定締結
7月22日	第23回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 2種目6人 ロープブリッジ渡過・斜めブリッジ救助
8月25日	第23回全国消防救助技術大会 関東地区代表 1種目1人 ロープブリッジ渡過
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 6人 消防士長 14人 消防副士長 19人

12月9日	山間地救助業務開始
1月17日	阪神・淡路大震災
1月21日～26日	阪神・淡路大震災被災地へ救助隊1隊を応援派遣 (救助工作車1台、支援車1台、職員8人)
2月11日	安曇村中の湯地籍水蒸気爆発事故発生 死者4人

■平成7年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 11人 (消防職員数348人)
4月24日	救急指導医委嘱 (任期2年)
7月21日	第24回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 1種目1人 ロープブリッジ渡過
9月14日	松本広域圏救急医療連絡協議会設立
10月2日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 12人 消防士長 19人 消防副士長 4人
10月27日	県営松本空港消防訓練 (MD87機使用)
11月28日	「第二次松本広域消防計画」策定
11月28日～29日	第1回緊急消防援助隊合同訓練参加 (東京都) (高規格救急自動車1台、職員3人)
12月26日	救助工作車 (Ⅱ型) 配置式 (渚消防署)
1月1日	火災統計システム稼動
1月17日	第1回松本広域圏震災総合防災訓練及び消防職員観閲式 (車両56台 職員229人参加)
1月25日	文化財防火デー国宝松本城消防総合訓練 (消防庁長官及び文化庁長官視察)
2月14日	長野県消防相互応援協定書調印式
3月28日	災害対応特殊救急自動車 (高規格救急自動車) 運用開始

■平成8年度

4月1日	消防局塩尻・豊科分室をそれぞれの消防署に統合 新規採用職員辞令交付 5人 (消防職員数346人)
7月17日	第25回消防救助技術関東支部指導会 長野県代表 3種目8人 ロープブリッジ渡過 (2人)・はしご登はん ・斜めブリッジ救助
8月1日	災害現場への医師会医療救護班の派遣要請に関する「覚書」締結 (圏域19市町村)
9月19日～20日	第1回長野県緊急消防援助隊合同訓練実施 (長野市) (車両6台、職員20人)
10月1日	松本広域消防局消防職員委員会に関する規則及び松本広域消防局消防職員委員会の 運営に関する規程施行 消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 5人 消防士長 4人 消防副士長 11人
11月15日	松本広域消防局消防職員委員会委員辞令交付 委員長 1人 委員 12人 管内市町村を一元化した「緊急通報システム (あんしん電話)」運用開始
12月6日～16日	北安曇郡小谷村蒲原沢土石流災害応援派遣 死者14人 負傷者8人 延べ車両42台 職員137人派遣
1月17日	第2回松本広域圏震災総合防災訓練 (塩尻市)
1月31日	高度救助用資機材配置 (渚消防署救助工作車に積載)
2月27日	松本広域消防局消防職員委員会第1回委員会開催

■平成9年度

4月1日	消防職員定数改正 (352人→353人) 新規採用職員辞令交付 8人 (消防職員数347人) 長野県消防防災航空隊発足 (職員3人を派遣)
------	---

6月9日	松本広域圏ライオンズクラブ献眼事業協力に関する協定締結
7月25日	第26回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 3種目8人 ロープブリッジ渡過(2人)・はしご登はん ・斜めブリッジ救助
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 9人 消防士長 11人 消防副士長 14人
10月14日～15日	第2回長野県緊急消防援助隊合同訓練(松本市)
11月14日	松本地域広域行政事務組合設立20周年・広域消防発足5年記念式典 (松本市音楽文化ホール)
11月20日	中部縦貫自動車道安房トンネル消防相互応援協定及び覚書締結
12月22日	東筑摩郡防火管理協会設立
1月17日	第3回松本広域圏震災総合防災訓練(本城村)
2月5日～24日	長野冬季オリンピック競技会場の防災、救護体制確保のため長野市消防局へ8人の職員を派遣
3月25日	「119番通報発信地表示システム」運用開始

■平成10年度

5月26日	長野県自治体消防50周年記念大会(長野県文化会館) 受賞者43人
6月4日	長野県総合防災訓練(塩尻市) 上高地地区防災訓練(安曇村)
7月24日	第27回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 3種目8人 ロープブリッジ渡過(2人)・はしご登はん ・斜めブリッジ救助
8月7日	長野・岐阜県境における群発地震発生 安曇出張所増員配置(8/10～9/7)
8月28日	第27回全国消防救助技術大会 関東地区代表 2種目6人 ロープブリッジ渡過・斜めブリッジ救助
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 15人 消防士長 14人 消防副士長 2人
10月6～7日	第3回長野県緊急消防援助隊合同訓練(上田市)
11月8日	豊科町自治体消防50周年記念式典(豊科町公民館)
1月17日	第4回松本広域圏震災総合防災訓練(梓川村)
1月31日	松本地域広域行政事務組合解散
2月1日	松本広域連合設立
2月16日	連続不審火発生(合計4件) 2月16日(3件 死者1人) 2月16日 連続不審火対策本部の設置 2月17日(1件) 2月23日 連続不審火対策本部の解散
3月30日	高規格救急自動車配置式(本郷消防署・穂高消防署・麻績消防署)

■平成11年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 3人(消防職員数353人) 予防課に火災調査統括官を配置(火災調査体制の整備) 広域連合移行に伴う権限委譲(火薬類・液化石油ガス関係)
7月22日	第28回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 1種目1人 はしご登はん
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防監 3人 消防司令補 9人 消防士長 2人 消防副士長 14人
10月6日～7日	第4回長野県緊急消防援助隊合同訓練(飯田市)
10月22日～23日	緊急消防援助隊関東ブロック訓練(立川市)
1月17日	第5回松本広域圏震災総合防災訓練(波田町)

3月7日	『松本広域消防の歌』制定
3月12日	『松本広域連合消防計画』策定
3月17日	寄贈水槽付消防ポンプ自動車受納式（梓川消防署）
3月24日	高規格救急自動車配置式（渚消防署・安曇出張所）

■平成12年度

4月1日	消防職員定数改正（353人→395人） 初の女性消防吏員を1人採用 消防局に特別救助隊を設置し、警防課に特別救助隊長を配置
4月3日	新規採用職員辞令交付 14人（消防職員数362人）
4月11日	特別救助隊発足式
4月28日	本郷消防署・浅間温泉文化センター竣工式
6月6日～7日	第5回長野県緊急消防援助隊合同訓練（佐久市）
7月14日	第29回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 2種目2人 はしご登はん・ロープブリッジ渡過
8月18日	第29回全国消防救助技術大会 関東地区代表 1種目1人 ロープブリッジ渡過
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 9人 消防士長 9人 消防副士長 17人
10月6日	防災車運用開始式
10月23～24日	第2回緊急消防援助隊全国合同訓練（東京都）
10月27日	消防庁に国際消防救助隊編成協力市町村として、松本広域連合が正式登録
12月22日	聴覚障がい者緊急通報FAXの拡大運用開始（2市10町村へ）
1月17日	第6回松本広域圏震災総合防災訓練（堀金村）
1月27日～2月5日	長野県中南部を中心とする大雪（松本市で積雪64cmを記録）
3月6日	高規格救急自動車配置式（広丘消防署・明科消防署）

■平成13年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 11人（消防職員数369人） 消防庁の国際消防救助隊（IRT）登録消防本部として運用開始（隊員8人）
6月27日	高規格救急自動車配置式（芳川消防署） 救急隊配置の13消防署所全てに「高規格救急自動車」配備完了
7月6日	第30回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 2種目6人 ロープブリッジ渡過・障害突破
9月3日～7日	新宿雑居ビル火災を受けて緊急立入検査を実施 （管内3階建以上の飲食店等 327件を調査）
9月17日	松本市大手2丁目（通称西堀地区）において大規模建物火災発生 全焼7棟 半焼3棟 部分焼1棟 計11棟焼損 焼損床面積2,133㎡及び焼損表面積52㎡ 死者3人 負傷者3人 り災世帯10世帯 り災人員21人
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 18人 消防士長 15人 消防副士長 13人
10月1日～15日	新宿雑居ビル火災を受けて緊急立入検査を実施 （管内2階建以上の飲食店等 544件を調査）
10月16日～17日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練及び長野県緊急消防援助隊合同訓練（長野市）
1月17日	第7回松本広域圏震災総合防災訓練（松本市）
1月27日	大雪対策本部設置（松本市で積雪44cmを記録）
2月21日	第23回長野県消防職員意見発表会（大町市） 松本広域消防局代表 最優秀賞
2月22日	サッカーW杯キャンプ警備本部設置

	(パラグアイ・ナショナルチーム5月来松)
3月4日	特殊災害対応隊発足式(芳川消防署)
3月21日～23日	松本市本郷地区において大規模山林火災発生 焼損面積175.86ha 出動車両延べ117台(内ヘリコプター15機) 出動人員延べ1,801人
3月25日	消防局増築庁舎竣工
3月31日	緊急消防援助隊に特殊災害対応隊を登録

■平成14年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 13人(消防職員数375人)
5月9日	サッカーW杯パラグアイ松本キャンプ消防警備実施 延べ日数14日 延べ警備時間62時間 延べ実施数33回 延べ車両61台 延べ職員数241人
5月28日	消防庁・林野庁林野火災対策調査研究会委員に消防局長選出
6月15日	サッカーW杯パラグアイ松本キャンプ消防警備本部解散
7月19日	第31回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 3種目11人 ロープブリッジ渡過・引揚救助・障害突破
8月8日	消防庁長官ほか消防庁・林野庁林野火災対策調査研究会現地視察(本郷地区)
8月23日	第31回全国消防救助技術大会 関東地区代表 1種目1人 ロープブリッジ渡過
9月11日	水槽付消防ポンプ自動車シャーシー寄贈式
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付式 消防司令補 10人 消防士長 15人 消防副士長 12人
10月17日	関東管区広域緊急援助隊総合訓練(松本市)
11月7日	第7回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練(松本市)
11月11日～12日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(埼玉県)
11月30日	ドクターカー20周年記念事業 基調講演 消防庁救急救助課担当官 町田 宗仁氏
1月5日	上高地乗鞍スーパー林道雪崩災害発生 負傷者2人 車両16台、職員151人
1月15日	松本地区タクシー防犯協会との災害発生時の情報提供等の連携を依頼
1月17日	第8回松本広域圏震災総合防災訓練(塩尻市)
1月23日	大雪対策本部設置(松本市で積雪39cmを記録)
2月20日	第24回長野県消防職員意見発表会(佐久市) 松本広域消防局代表 最優秀賞
3月1日	「林野火災防止特別強化月間」の制定 (平成14年3月21日に発生した松本市本郷地区山林火災を教訓に制定)
3月20日	消防車両配置式 (はしご車・化学自動車・水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車)
3月24日	松本広域消防局増築庁舎・新消防通信指令システム運用開始式 ・災害弱者緊急通報システム ・聴覚障がい者等災害通報受付サービス ・災害情報提供サービス 松本広域消防局ホームページ開設

■平成15年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 15人(消防職員数385人)
5月28日	救急救命士による除細動運用開始
6月30日	隊員の安全性と機能性を考慮した防火衣に更新
7月31日	第32回消防救助技術関東地区指導会 長野県代表 1種目5人 障害突破
10月1日	消防法改正により、表示マーク制度から暫定適マーク制度へ移行 防火対象物定期点検報告制度施行

	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 7人 消防士長 16人 消防副士長 5人
10月17日	第8回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練（中野市）
10月27日～28日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（山梨県）
1月17日	第9回松本広域圏震災総合防災訓練（明科町）
2月22日	松本広域消防発足10周年記念式典挙行（松本市 Mウイング）
2月27日	消防車両配置式（水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・高規格救急自動車）

■平成16年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 10人（消防職員数389人）
	緊急消防援助隊登録 計14隊60人
6月10日	指揮広報車配置式（庄内出張所・本郷消防署・麻績消防署・山形消防署）
7月1日	新規採用職員辞令交付 1人（消防職員数389人）
7月16日	第33回消防救助技術関東地区指導会
	長野県代表 3種目19人 ロープブリッジ渡過・引揚救助・障害突破（2チーム）
7月13日～15日	緊急消防援助隊派遣（新潟県・福島県豪雨災害）
7月18日～19日	緊急消防援助隊派遣（福井県豪雨災害）
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 15人 消防士長 5人 消防副士長 9人
10月14日～15日	第9回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練（東御市）
10月25日～28日	緊急消防援助隊派遣（新潟県中越地震）
11月26日	救急救命士による気管挿管運用開始
12月2日	救助工作車配置式（豊科消防署）
1月17日	第10回松本広域圏震災総合防災訓練（豊科町） ※第10回をもって終了
3月25日	丸の内消防署庄内出張所新庁舎竣工
	消防ポンプ自動車配置式（丸の内消防署・塩尻消防署）

■平成17年度

4月1日	塩尻市と合併した旧木曽郡檜川村の区域における消防事務を木曽広域連合に事務委託
	新規採用職員辞令交付 6人（消防職員数387人）
	緊急消防援助隊登録 計15隊65人
5月7日	丸の内消防署庄内出張所新庁舎竣工披露式
6月3日	出前防災訓練開始（年間171回、10,902人参加）
6月10日～11日	第3回緊急消防援助隊全国合同訓練参加（静岡県）
7月20日	第34回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県大槻市）
	長野県代表 2種目6人 はしご登はん・ロープブリッジ救出
7月29日	高規格救急自動車配置式（塩尻消防署）
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 11人 消防士長 9人 消防副士長 12人
10月13日	第10回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練（茅野市）
10月29日～30日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（水戸市）
12月1日	携帯電話からの119番通報直接受信開始
12月6日	塩尻消防署職員殉職
12月24日	殉職者準公葬挙行
1月10日	毎月6日を「安全管理の日」、12月6日を「安全管理徹底の日」と制定
3月13日	はしご車配置式（渚消防署）

■平成18年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 4人（消防職員数389人）
------	--------------------------

	長野県危機管理局へ研修派遣 1 人 (H18. 4. 1 ～ H21. 3. 31)
	緊急消防援助隊登録 計 17 隊 75 人
4月10日	救急救命士による薬剤投与運用開始
4月24日	連絡車配置式 (消防局)
7月19日～20日	岡谷市湊地区土石流災害発生 死者 7 人
	相互応援協定による災害派遣 3 隊 延べ職員 19 人
7月20日	第 35 回消防救助技術関東地区指導会
	長野県代表 2 種目 9 人 ロープブリッジ救出・障害突破
8月24日	第 35 回全国消防救助技術大会 (札幌市)
	長野県代表 2 種目 2 人 ロープブリッジ渡過・はしご登はん
9月15日	消防庁の消防広域再編アドバイザー制度により、消防広域化推進アドバイザーとして職員 1 人が登録
9月30日	表示マーク制度の猶予期間終了に伴い、暫定適マーク制度廃止
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 7 人 消防士長 12 人 消防副士長 10 人
10月23日～24日	第 11 回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練 (木曽福島町)
10月31日	芳川消防署新庁舎竣工
11月11日～12日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 (宇都宮市)
11月16日	松本広域消防職員意見発表会 (第 1 次)
12月1日	松本広域消防職員意見発表会 (第 2 次)
12月6日	殉職者追悼式挙行
12月17日	芳川消防署新庁舎竣工披露式
2月20日	水槽付消防ポンプ自動車配置式 2 台 (山辺出張所・麻績消防署)
3月12日	「松本広域連合消防計画」改訂
3月15日	本郷消防署山辺出張所庁舎耐震化等改修工事完了

■平成 19 年度

4月1日	総務省消防庁へ研修派遣 1 人 (H19. 4. 1 ～ H21. 3. 31)
	緊急消防援助隊登録 計 20 隊 85 人
4月2日	新規採用職員辞令交付 13 人 (消防職員数 389 人)
5月22日	指揮広報車配置式 (丸の内消防署、梓川消防署)
6月20日～26日	東京都渋谷区の天然ガスを利用した温泉施設の爆発火災を受け、管内 2 か所の施設で緊急特別査察を実施
7月19日	第 36 回消防救助技術関東地区指導会 (新潟県中越沖地震のため中止)
8月22日	第 36 回全国消防救助技術大会 (東京都)
	関東地区代表 1 種目 4 人 ロープブリッジ救出
9月12日～13日	消防広域化職員研修会
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 10 人 消防士長 10 人 消防副士長 11 人
10月20日～21日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練 (前橋市)
10月28日	第 12 回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練 (須坂市)
12月5日	第 15 回松本広域消防職員意見発表会開催
12月15日	木曽郡王滝村おんたけ 2240 スキー場ゴンドラ事故に伴う応援派遣
1月18日	長野県国民保護図上訓練 (長野県庁 長野県防災センター)
2月1日	「消防活動体験集」の発行
2月15日	水槽付消防ポンプ自動車配置式 (芳川消防署、塩尻消防署、山形消防署)
	高規格救急自動車配置式 (豊科消防署、麻績消防署)
2月25日	穂高消防署庁舎増改築及び耐震化等改修工事完了
3月1日	災害放送案内システム機器更新
3月7日	自治体消防制度 60 周年記念式典 (日本武道館)

3月11日 豊科消防署庁舎耐震化等改修工事完了

■平成20年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 16人(消防職員数390人) 緊急消防援助隊登録 計21隊
4月8日	中南信地域消防広域化推進事務局開所式(職員1人派遣)
5月30日	自治体消防60周年長野県大会(長野県民文化会館)
6月25日	指揮広報車配置式(広丘消防署)
7月31日	第37回消防救助技術関東地区指導会(千葉市) 長野県代表 2種目9人 ロープブリッジ救出・障害突破
8月29日	第37回全国消防救助技術大会出場(北九州市) 長野県代表 2種目2人 ロープブリッジ渡過・はしご登はん 関東地区代表 1種目4人 ロープブリッジ救出
9月22日	中南信消防広域化協議会設立
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 7人 消防士長 11人 消防副士長 8人 通信指令システム基本機器交換(延命措置) 携帯電話等発信地表示システム導入(GPS対応)
10月21日	住宅防火対策シンポジウム(松本県民文化会館)
10月26日	第13回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練(小諸市)
11月14日	松本広域消防職員意見発表会(第1次)
11月19日～20日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練(横浜市)
11月26日	長野県国民保護実動訓練(長野市)
12月3日	松本広域消防職員意見発表会(第2次)
1月26日	水槽付消防ポンプ自動車配置式(渚消防署、豊科消防署) 救助工作車(Ⅱ型)配置式(塩尻消防署) 高規格救急自動車配置式(本郷消防署、穂高消防署) ※高規格救急自動車のうち1台はドクターカー兼用
11月27日～28日	消防広域化職員研修会(松本市音楽文化ホール)
2月19日	第30回長野県消防職員意見発表会 松本広域消防局代表 最優秀賞
3月8日	松本広域連合発足10周年・松本広域消防局発足15周年・ふるさと市町村圏 選定20周年記念式典(松本市中央公民館)
3月11日	渚消防署庁舎耐震化等改修工事完了
3月26日	梓川消防署庁舎耐震化等改修工事完了
3月31日	消防音楽隊活動休止

■平成21年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 9人(消防職員数393人) 総務省消防庁へ研修派遣 1人(H21.4.1～H23.3.31)
4月23日	全国消防長会関東支部消防職員意見発表会 松本広域消防局代表 優秀賞
6月22日	消防広域化のあり方検討会(東京消防庁)
7月7日～9日	消防広域化研修会
7月23日	第38回消防救助技術関東地区指導会(横浜市) 長野県代表 1種目5人 引揚救助
8月1日	中南信消防広域化協議会事務局へ派遣 1人(囑託)
8月17日	広域化協議会研修「Fireman Meeting 2009」(伊那市)
8月20日	第38回全国消防救助技術大会(横浜市) 長野県代表 1種目1人 はしご登はん
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 6人 消防士長 7人 消防副士長 10人

	通信指令システム基本機器以外の改修（延命措置）
	タウンページデータによるテナント情報の導入
	住宅地図連動の航空写真表示システムの導入
10月25日	第14回長野県緊急消防援助隊合同訓練及び長野県総合防災訓練（伊那市）
11月6日	松本広域消防職員意見発表会（第1次）
11月14日～15日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（千葉市）
11月24日	高規格救急車配置式（渚消防署、梓川消防署、梓川消防署安曇出張所）
12月2日	松本広域消防職員意見発表会（第2次）
2月18日	第31回長野県消防職員意見発表会（駒ヶ根市）
2月26日	広丘消防署庁舎耐震化等改修工事完了

■平成22年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 13人（消防職員数393人）
4月23日	災害現場用携帯電話導入（20台）
6月4日～5日	第4回緊急消防援助隊全国合同訓練（愛知県）
7月1日	あんしん電話センター装置更新
7月14日	第39回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県消防学校）
	長野県代表 2種目9人 ロープブリッジ救出・障害突破
7月21日	広域化協議会研修「Fireman Meeting 2010」（塩尻市総合文化センター）
8月1日	長野県消防ポンプ操法・ラップ吹奏大会（塩尻市）
8月27日	第39回全国消防救助技術大会（京都市）
	長野県代表 1種目1人 はしご登はん
9月1日	位置情報通知システム（統合型）導入
9月26日	第15回長野県総合防災訓練及び長野県緊急消防援助隊合同訓練（安曇野市）
10月1日	平成23年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練長野県実行委員会事務局 へ派遣 1人（H22.10.1～H24.3.31）
	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 9人 消防士長 10人 消防副士長 7人
11月8日	松本広域消防職員意見発表会（第1次）
11月20日～21日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（東京都）
12月6日～7日	消防広域化研修会（将来ビジョン研修会）
12月13日	松本広域消防職員意見発表会（第2次）
1月27日	水槽付消防ポンプ自動車（兼用救助工作車）車両配置式（麻績村）
2月17日	第32回長野県消防職員意見発表会（飯田市）
3月10日	中南信消防救急無線デジタル化推進委員会設立
3月11日～31日	東日本大震災緊急消防援助隊派遣（宮城県多賀城市ほか）
3月31日	中南信消防広域化協議会休止

■平成23年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 16人（消防職員数392人）
4月1日～2日	東日本大震災緊急消防援助隊派遣（宮城県塩釜市ほか）
6月30日	長野県中部を震源とする地震
	松本市で震度5強を観測（死者1人、負傷者17人）
8月5日	寄贈高規格救急自動車受納式（芳川消防署）
8月29日	資機材搬送車配置（消防局）
9月3日	松本市災害時医療救護活動マニュアル検証訓練
9月23日	第16回長野県総合防災訓練・長野県緊急消防援助隊合同訓練（飯山市）
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付
	消防司令補 11人 消防士長 5人 消防副士長 9人
	信州ドクターヘリ松本運航開始

11月1日～2日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（松本市・塩尻市・安曇野市）
12月6日	松本広域消防職員意見発表会
2月7日	常備消防力整備に係る中長期構想の策定
2月15日	第33回長野県消防職員意見発表会（中野市）
3月	消防救急無線デジタル化基本設計完了

■平成24年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 15人（消防職員数392人）
6月13日	寄贈指揮広報車受納（消防局）
8月7日	第41回全国消防救助技術大会（東京都） 長野県代表 1種目1人 はしご登はん
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 14人 消防士長 11人 消防副士長 10人
10月12日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
10月20日～21日	第17回長野県総合防災訓練・長野県緊急消防援助隊合同訓練（上田市）
11月2日	高規格救急自動車配置（塩尻消防署）
11月29日～30日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（埼玉県）
12月4日	松本広域消防職員意見発表会
12月28日	救急救助支援業務システム改修
1月21日	消防ポンプ自動車配置（梓川消防署）
1月26日	国有財産無償使用消防車両等配置披露式 支援車（Ⅰ型）（芳川消防署神林出張所）、都道府県指揮隊車（消防局） 救助工作車（Ⅲ型）（渚消防署）
2月14日	第34回長野県消防職員意見発表会（須坂市）
3月22日	渚消防署救助訓練塔C塔建替工事完了
3月28日	梓川消防署安曇出張所隣地拡張造成工事完了

■平成25年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 13人（消防職員数392人） 総務省消防庁へ研修派遣（H25.4.1～H27.3.31）
6月1日	新規採用職員辞令交付 1人（消防職員数392人）
8月22日	第42回全国消防救助技術大会（広島市） 長野県代表 1種目1人 はしご登はん 関東地区代表 1種目4人 ロープブリッジ救出
8月30日	指揮広報車配置（芳川消防署）
9月27日	人員輸送車（マイクロバス）配置（消防局）
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 15人 消防士長 10人 消防副士長 13人
10月30日～31日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（山梨県）中止
11月2日～3日	長野県消防防災訓練・長野県消防相互応援隊合同訓練（諏訪市）
11月8日	松本広域消防発足20周年のつどい
11月28日	丸の内消防署庄内出張所救急消毒室等改修工事竣工
12月5日	松本広域消防職員意見発表会
1月30日	圧縮空気泡消火装置（CAFS）付消防ポンプ自動車配置（明科消防署）
1月31日	圧縮空気泡消火装置（CAFS）付消防ポンプ自動車配置（本郷消防署）
2月6日	第35回長野県消防職員意見発表会（諏訪市）
2月8日	関東甲信越地域を中心とする大雪
2月14日～15日	松本地域では最大積雪深75cmを記録
3月1日	消防通信指令システム竣工
3月3日	機動連絡車運用開始（消防局）

3月10日	高規格救急自動車配置（丸の内消防署庄内出張所）
3月12日	屈折はしご付消防自動車配置（塩尻消防署）
3月13日	高規格救急自動車配置（丸の内消防署）
3月21日	消防救急デジタル無線設備竣工
3月26日	消防救急デジタル無線設備・消防通信指令システム等運用開始式

■平成26年度

4月1日	丸の内消防署庄内出張所救急業務運用開始 新規採用職員辞令交付 21人（消防職員数392人） 定年退職者のうち、5人を再任用 （日勤《フルタイム》1人・日勤《短時間勤務》4人） 長野県消防防災航空隊派遣職員 3人→2人に変更
7月1日	新規採用職員辞令交付 1人（消防職員数392人）
8月29日	渚消防署出動表示板改修工事竣工
9月27日	御嶽山噴火災害 県内消防相互応援隊派遣（王滝村ほか） 派遣期間：9月27日～10月17日（21日間） 派遣人員：82隊278人
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 8人 消防士長 13人 消防副士長 13人
11月5日～6日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（静岡県浜松市）
11月22日	長野県神城断層地震 県内消防相互応援隊派遣（白馬村） 派遣期間：11月22日～11月23日（2日間） 派遣人員：6隊19人
12月4日	松本広域消防職員意見発表会
12月11日	塩尻消防署庁舎外壁・バルコニー改修工事竣工
1月21日	御嶽山噴火災害に係る長野県知事表彰
2月12日	第36回長野県消防職員意見発表会（長野市） 松本広域消防局代表 最優秀賞
3月23日	松本広域消防局庁舎敷地舗装工事竣工

■平成27年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 12人（消防職員数391人） 定年退職者のうち、2人を再任用（日勤《短時間勤務》2人） 総務省消防庁へ研修派遣 1人（H27.4.1～H29.3.31）
5月8日	心肺停止前の重度の傷病者に対する特定行為等技能認定（71人）
7月17日	第44回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県富士見市） 長野県代表 3種目14人 引揚救助・ロープブリッジ救出・障害突破
7月28日	御嶽山噴火災害行方不明者再搜索 派遣期間：7月28日～8月7日（11日間） 派遣人員：10人
8月29日	第44回全国消防救助技術大会（兵庫県神戸市） 長野県代表 1種目1人 はしご登はん
9月28日	指揮広報車配置（安曇出張所）
9月30日	消防音楽隊廃止
10月1日	消防吏員階級昇任辞令交付 消防士長 12人
10月22日	御嶽山噴火災害再搜索県知事表彰
10月26日	指揮広報車配置（豊科消防署）
10月3日～4日	長野県消防相互応援隊合同訓練（千曲市）
11月4日～5日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（茨城県）中止
11月6日	丸の内消防署庄内出張所出動表示板設置工事竣工
11月13日～14日	第5回緊急消防援助隊全国合同訓練（千葉県）
12月28日	塩尻消防署敷地舗装改修工事竣工
12月1日	圧縮空気泡消火装置（CAFS）付消防ポンプ自動車配置（山辺出張所）

1月1日	救急隊による医療機関選定試行運用開始
1月8日	松本広域消防職員意見発表会
1月29日～31日	雨水による倒木等被害発生 松本市入山辺及び山形村清水高原において、大量の倒木により道路がふさがれ、 宿泊施設等が一時孤立状態（雨水被害）
2月16日	第37回長野県消防職員意見発表会（大町市）
3月31日	災害弱者緊急通報システム（あんしん電話）事業廃止

■平成28年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 11人（消防職員数393人） 消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 14人 消防副士長 15人 定年退職者等のうち、5人を再任用（日勤《短時間勤務》5人）
7月13日	第45回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県厚木市） 長野県代表 1種目5人 障害突破
8月10日～11日	第1回山の日記念全国大会（上高地）
10月1日～2日	長野県消防相互応援隊合同訓練（佐久市）
10月14日	第25回全国消防操法大会（長野市）
10月17日～18日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（栃木県）
11月1日	指揮支援隊試行運用開始 日本オイルターミナル株式会社から「蘇生法教育人体モデル3体」寄贈
11月4日	指揮広報車配置（神林出張所）
11月15日	長野県衛星系防災行政無線設備更新工事（事業主体：長野県）
12月9日	高規格救急自動車配置（麻績消防署）
1月1日	消防署の管轄区域の見直し 松本市内4地区（桐、清水、美須々及び元町地区）の管轄を丸の内消防署から本郷 消防署へ移管
1月11日	松本広域消防職員意見発表会
2月6日	松本市浅間温泉文化センター屋上防水改修工事竣工（事業主体：松本市）
2月16日	第38回長野県消防職員意見発表会（佐久市）
2月28日	芳川消防署自家用給油取扱所設置工事竣工
3月5日	長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」墜落事故 松本市入山辺地籍の鉢伏山山中にヘリコプターが墜落し、搭乗していた長野県消防 防災航空隊員9人（派遣職員2人含む。）が殉職 救助活動：3月5日～3月6日（2日間） 出動部隊：松本広域消防局 20隊73人 地上部隊：県消防相互応援（長野市、上田広域、佐久広域、北アルプス）6隊35人 自衛隊 33人 警察 17人 航空部隊：広域航空消防応援（埼玉県防災ヘリ、山梨県防災ヘリ、岐阜県防災ヘリ） 長野県警ヘリ
3月15日	梓川消防署安曇出張所ピロティ等改修工事竣工

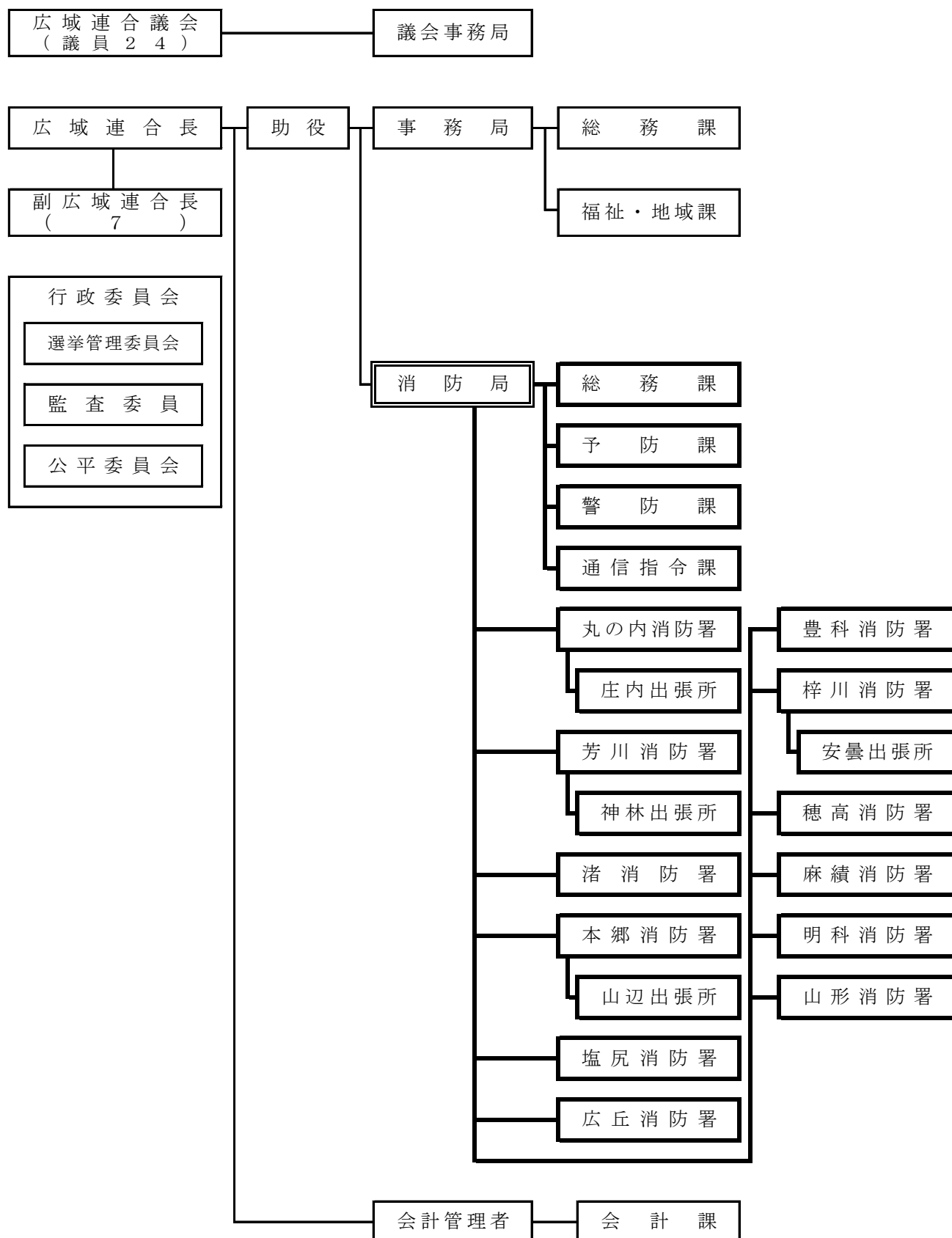
■平成29年度

4月1日	新規採用職員辞令交付 6人（消防職員数390人） 消防吏員階級昇任辞令交付 消防司令補 10人 消防副士長 18人 定年退職者等のうち、6人を再任用（日勤《短時間勤務》6人） 総務省消防庁へ研修派遣 1人（H29.4.1～H31.3.31）
5月30日	長野県消防防災航空隊殉職者合同追悼式（キッセイ文化ホール）
8月18日	指揮広報車配置（本郷消防署山辺出張所、麻績消防署）
8月28日	一般財団法人救急振興財団から、「蘇生法教育人体モデル2体」及び 「蘇生法教育 AED トレーナー1台」寄贈

9月13日	イオンモール松本開店に伴う警防視察
10月6日	指揮広報車配置（塩尻消防署）
10月24日～25日	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（群馬県）
11月4日～5日	長野県消防相互応援隊合同訓練（飯田市）
11月18日	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（岐阜県）
12月7日	高規格救急自動車配置（豊科消防署）
1月9日	松本広域消防職員意見発表会
1月17日	化学消防ポンプ自動車配置（芳川消防署神林出張所）
1月19日	長野県消防職員意見発表会（松本広域消防局代表 最優秀賞受賞）
2月13日	「第2次常備消防力整備に係る中長期構想」策定
2月16日	消防局エレベーター改修工事竣工
3月1日	女性職員専用施設整備工事竣工（本郷消防署）
3月5日	長野県消防防災航空隊殉職者一周年追悼式（ホテルブエナビスタ）
3月28日	水槽付き消防ポンプ自動車配置（丸の内消防署）

4 松本広域連合組織図

(平成30年4月1日現在)



5 消防局・消防署所分布図

松本広域消防局の管内



関係市村

- 松本市
- 塩尻市
- 安曇野市
- 麻績村
- 生坂村
- 山形村
- 朝日村
- 筑北村

6 消防庁舎の状況

(平成30年4月1日現在)

消防庁舎	所在地	構造	規模 (㎡)			建築年月	増改修年月
			敷地面積	建築面積	延べ面積		
消防局	松本市渚1丁目7番12号	SRC造4F 地下1F	1,943.47	524.67	2,238.42	H元.7	H14.3 増築
丸の内消防署	松本市城西2丁目1番23号	RC造3F	1,719.45	385.85	807.54	H4.2	
庄内出張所	松本市出川1丁目2番15号	RC造2F	1,299.00	336.92	512.20	H17.3	H25.11 増築
芳川消防署	松本市村井町南2丁目1番9号	RC造2F 一部鉄骨	2,600.11	608.47	867.15	H18.10	
神林出張所	松本市神林5961番地1	RC造2F	2,865.00	376.24	593.31	H3.1	
渚消防署	松本市渚1丁目7番12号	RC造3F	1,943.47	462.61	934.94	S49.3	H21.3 耐震改修
本郷消防署	松本市浅間温泉2丁目6番1号	RC造2F	1,707.72	635.94	931.41	S50.6	H12.4 移転
山辺出張所	松本市里山辺1434番地1	RC造2F	1,068.22	318.02	453.17	S52.3	H19.3 耐震改修
塩尻消防署	塩尻市広丘高出1486番地802	RC造3F	3,735.94	1,521.06	2,161.42	H3.11	
広丘消防署	塩尻市広丘原新田575番地9	LS造 平屋建	1,379.81	474.80	446.04	S63.6	H22.2 耐震改修
豊科消防署	安曇野市豊科5705番地6	RC造2F	2,446.81	668.49	1,271.11	S54.1	H20.3 耐震改修
梓川消防署	松本市梓川倭65番地2	R C造2F	1,478.96	454.79	536.93	S47.12	H21.3 耐震改修
安曇出張所	松本市安曇2819番地1	RC造2F 一部鉄骨	1,213.33	228.63	428.95	H5.3	H29.3 増築
穂高消防署	安曇野市穂高5075番地2	RC造2F	1,629.19	442.68	529.93	S47.12	H20.3 耐震改修
麻績消防署	東筑摩郡麻績村麻10389番地3	RC造2F 一部鉄骨	1,371.60	489.09	720.95	H5.2	
明科消防署	安曇野市明科東川手271番地4	RC造2F 一部鉄骨	1,200.03	422.00	649.80	H5.2	
山形消防署	東筑摩郡山形村5997番地3	RC造2F 一部鉄骨	1,200.00	424.00	648.87	H5.2	

7 事務分掌

■総務課

1 総務事項

- (1) 消防局の重要施策に係る企画、調査及び研究に関すること。
- (2) 消防局の事務事業に係る総合調整に関すること。
- (3) 組織に関すること。
- (4) 消防職員の定数に関すること。
- (5) 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。
- (6) 業務改善その他事務の効率化に関すること。
- (7) 監察に関すること。
- (8) 消防局内の連絡調整に関すること。

2 庶務事項

- (1) 文書及び公印に関すること。
- (2) 儀式及び渉外に関すること。
- (3) 消防表彰に関すること。
- (4) 消防関係諸会議に関すること。
- (5) 消防関係諸機関との連絡に関すること。
- (6) 消防局の予算及び決算に関すること。
- (7) 物品の購入、支給及び保管に関すること。
- (8) 消防庁舎並びに附帯設備及び諸設備の維持管理に関すること。
- (9) 財産管理に関すること。
- (10) 広報及び広聴に関すること。

3 職員事項

- (1) 消防職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。
- (2) 消防職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (3) 消防職員の配置に関すること。
- (4) 消防職員の勤務成績の評価に関すること。
- (5) 消防職員の表彰に関すること。
- (6) 消防職員の研修に関すること。
- (7) 消防職員の公務災害及び賞じゅつに関すること。
- (8) 消防職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (9) 消防職員委員会に関すること。

4 情報管理事項

- (1) 消防統計に関すること（他課の所管に属するものを除く。）。
- (2) 情報システムの管理及び運用に関すること。

■予防課

1 火災予防事項

- (1) 火災予防の対策に関すること。
- (2) 火災予防に係る指導及び広報に関すること。
- (3) 防火管理者等の育成、指導及び資格管理に関すること。
- (4) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (5) 火災報告に関すること。
- (6) 火災統計及び分析に関すること。
- (7) リ災証明に関すること。
- (8) 関係団体との連絡調整に関すること。
- (9) その他火災予防に関すること。

2 防火対象物事項

- (1) 建築物の消防同意に関すること。
- (2) 消防用設備等の設置及び維持管理に関すること。
- (3) 防火対象物の立入検査及び違反処理に関すること。
- (4) 防火対象物に係る消防計画の指導に関すること。
- (5) 火気使用設備等に関すること。
- (6) 防火対象物定期点検報告制度に関すること。
- (7) 防火対象物の実態調査に関すること。
- (8) 防火安全に係る意見書等の交付に関すること。

3 危険物等規制事項

- (1) 危険物施設に係る許可、認可、届出及び承認等に関すること。
- (2) 危険物取扱者及び危険物保安監督者等に関すること。
- (3) 危険物タンクの水張り等の検査に関すること。
- (4) 危険物規制事務報告に関すること。

- (5) 危険物施設の立入検査及び違反処理に関すること。
- (6) 危険物の流出その他の事故に係る行政措置に関すること。
- (7) 危険物の規制、指導等に関すること。
- (8) 火薬類の譲渡、譲受及び消費の許可等に関すること。
- (9) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく意見書の交付に関すること。

■警防課

1 警防事項

- (1) 警防業務全般の総合調整に関すること。
- (2) 消防戦術に関すること。
- (3) 中高層建築物火災の消防活動対策に関すること。
- (4) 特殊災害の消防活動対策に関すること。
- (5) 災害現場の指揮統制に関すること。
- (6) 消防計画及び地域防災計画に関すること。
- (7) 国民保護計画に関すること。
- (8) 大規模な訓練等の総合調整に関すること。
- (9) 消防活動技術の向上に関すること。
- (10) 消防応援、受援に関すること。
- (11) 消防施設整備及び実態調査に関すること。
- (12) 消防水利に関すること。
- (13) 消防活動、訓練の安全管理対策に関すること。
- (14) 災害統計及び分析に関すること。
- (15) 消防用車両等の購入及び保守管理に関すること。
- (16) 消防機械器具の購入及び保守管理に関すること。
- (17) 車両用燃料の配当に関すること。
- (18) 消防用車両等の事故処理に関すること。
- (19) 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- (20) 住民に対する防災教育訓練に関すること。

2 救急事項

- (1) 救急に関する活動基準及び訓練に関すること。
- (2) 救急技術の向上に関すること。
- (3) 救急統計及び分析に関すること。
- (4) 救急証明に関すること。
- (5) 救急用資器材及び医薬品の購入及び保守

管理に関すること。

- (6) メディカルコントロールに関すること。
- (7) 救急指導医に関すること。
- (8) 救急医療機関等との連絡調整に関すること。
- (9) ドクターカーに関すること。
- (10) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (11) 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。

3 救助事項

- (1) 特別救助隊に関すること。
- (2) 国際消防救助隊に関すること。
- (3) 救助に関する活動基準及び訓練に関すること。
- (4) 救助技術の向上に関すること。
- (5) 救助統計及び分析に関すること。
- (6) 救助用資器材の購入及び保守管理に関すること。
- (7) 救助関係機関との連絡調整に関すること。

■通信指令課

1 通信事項

- (1) 災害発生通報の受付及び出動指令に関すること。
- (2) 消防隊の運用及び救急管制に関すること。
- (3) 災害通信の運用、通信統制及び指導に関すること。
- (4) 消防無線局に関すること。
- (5) 消防通信施設の整備、保守管理に関すること。
- (6) 災害情報等の収集及び伝達に関すること。
- (7) 消防関係機関との連絡調整に関すること。
- (8) 緊急情報システムに関すること。

2 情報管理事項

- (1) 情報システムの総合的な企画及び調整に関すること。
- (2) 情報システムの管理及び運用に関すること（総務課の所管に属するものを除く。）。
- (3) 情報システムの整備及び維持管理に関すること。

■消防署・出張所

1 庶務事項

- (1) 文書及び公印に関すること。
- (2) 諸手数料その他収入に関すること。
- (3) 物品の保管及び備品の管理に関すること。
- (4) 庁舎の維持管理に関すること。
- (5) 消防職員の服務等に関すること。
- (6) 消防職員の教養訓練に関すること。
- (7) 消防職員の保健衛生及び福利厚生に関すること。
- (5) 火災出動報告書等の処理及び統計に関すること。
- (6) 消防用車両の保守管理に関すること。
- (7) 消防機械器具の維持管理及び整備に関すること。
- (8) 消防団員の訓練指導に関すること。
- (9) 自主防災組織等の訓練指導に関すること。

2 予防事項

- (1) 火災予防に係る指導及び広報に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (3) 火災報告に関すること。
- (4) 火災証明に関すること。
- (5) 火災協力者表彰の内申に関すること。
- (6) 建築物等の消防同意及び防災指導に関すること。
- (7) 消防用設備等の設置及び維持管理に関すること。
- (8) 防火対象物の立入検査及び違反処理に関すること。
- (9) 防火対象物に係る消防計画の審査及び指導に関すること。
- (10) 火気使用設備等に関すること。
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関すること。
- (12) 危険物施設の立入検査に関すること。
- (13) 火薬類の譲渡、譲受及び消費の許可等に関すること。
- (14) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく意見書の交付に関すること。
- (15) 液化石油ガス設備工事の届出等に関すること。
- (16) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (17) 関係団体の運営協力に関すること。
- (4) 救急事項
 - (1) 救急隊の運用に関すること。
 - (2) 救急業務に関わる教育及び訓練に関すること。
 - (3) 救急出動報告書の処理及び統計に関すること。
 - (4) 救急証明に関すること。
 - (5) 救急用薬品及び資器材に関すること。
 - (6) 応急手当講習会の実施に関すること。
- (5) 救助事項
 - (1) 救助隊の運用に関すること。
 - (2) 救助業務に関わる教育及び訓練に関すること。
 - (3) 救助出動報告書の処理及び統計に関すること。
 - (4) 救助用資機材の維持管理及び整備に関すること。
- (6) 一般事項
 - (1) 火災防御活動に関すること。
 - (2) 救急活動及び救助活動に関すること。
 - (3) 風水害及びその他の災害活動に関すること。
 - (4) 火災等の警戒に関すること。
 - (5) 災害通報及び情報通信に関すること。
 - (6) 消防無線局に関すること。

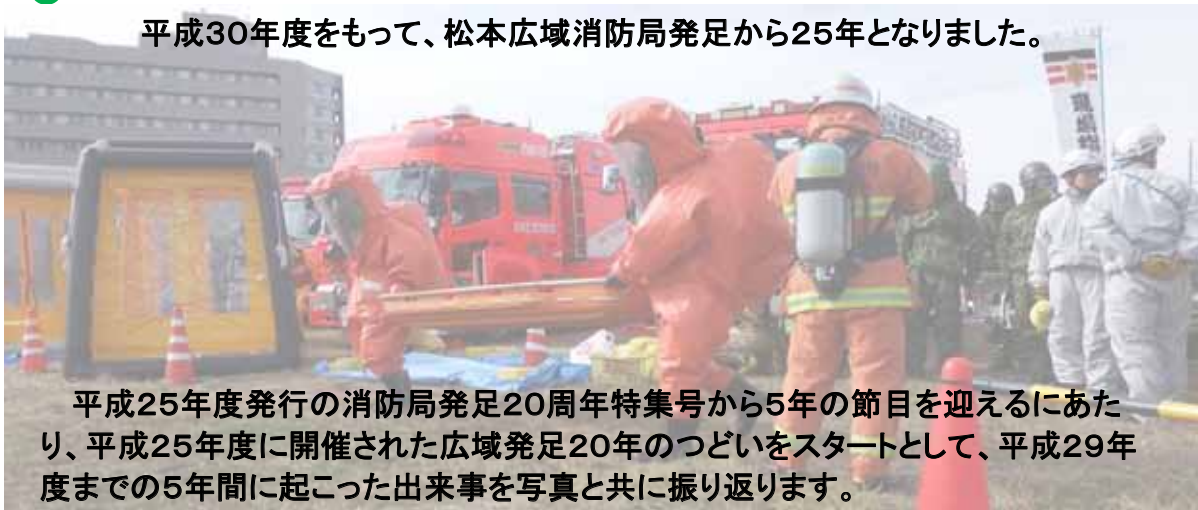
3 警防事項

- (1) 消防隊等の運用に関すること。
- (2) 警防業務に関わる教育及び訓練に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 消防水利に関すること。

写真で振り返る5年間

平成25年度 ▶ 平成29年度

平成30年度をもって、松本広域消防局発足から25年となりました。



平成25年度発行の消防局発足20周年特集号から5年の節目を迎えるにあたり、平成25年度に開催された広域発足20年のつどいをスタートとして、平成29年度までの5年間に起こった出来事を写真と共に振り返ります。

25年度

松本広域消防発足20周年のつどい

平成25年、松本広域消防発足20周年を迎えたことを記念して、11月8日に「松本広域消防発足20周年のつどい」が松本市内において開催されました。歴代の消防局長・事務局長を始めとした消防職員・事務局関係OB等多くの来賓をお迎えし、20年を振り返りました。

20年のあゆみ

広域消防発足からの20年の歴史を映像と共に振り返りました。

多くの職員OBの方に参加いただき、盛大に開催されました。



25年度

消防救急デジタル無線設備・ 消防通信指令システム等運用開始

平成26年3月26日、出動指令や情報支援・災害活動を、より正確・迅速に実施するため、最新鋭の消防通信指令システムと消防救急デジタル無線の運用を開始しました。



運用開始式の様子

広域連合長や議会議員、構成市村の消防団長等をお迎えし、システムの概要説明を行いました。

通信指令室内の様子



26年度

丸の内消防署庄内出張所救急業務運用開始

平成26年4月1日、出動頻度の多い松本市中心部での出動体制強化を目的に、丸の内消防署庄内出張所に救急車を新たに配備し、運用を開始しました。



救急隊を増隊したことにより、松本市内の救急車の現場到着時間、病院収容時間は大幅に減少しました。

平成27年から平成29年まで、年間1,400件以上出動があります。

26年度

御嶽山噴火災害

平成26年9月27日午前11時52分頃、長野県と岐阜県の県境に位置する、御嶽山(標高3,067m)が噴火しました。紅葉が始まり、週末の好天という条件であったため、多くの登山客で賑わっていた日中に突然噴火。県内外から消防、警察、自衛隊が集結し捜索・救助にあたりましたが、死者58人、負傷者69人という戦後最大規模の火山噴火災害となりました。



煙を上げる御嶽山と入山する捜索隊
県内外の消防、警察、自衛隊員が連日捜索活動にあたりました。

自衛隊のヘリに乗り込む消防隊員

入山は徒歩及び自衛隊の輸送ヘリによって行われました。ヘリでの入山によって、活動隊員の負担は大きく軽減されました。





搜索地点へ向かう隊員

火山灰の堆積した斜面を登る搜索隊員。写真手前と奥を比較すると、火山灰が山肌を覆っていることがよく分かります。



搜索を行う隊員

堆積した火山灰を掘り起こす、岩の下を確認する等により、行方不明者の搜索を行いました。





被災した山小屋

壁や屋根は噴石によって損壊し、内部にまで火山灰等が侵入しています。

集結する捜索隊

一ノ池が輸送ヘリの離着陸場となり、隊員の集結場所にもなりました。



松本広域消防局の捜索活動概要

9月27日	長野県消防相互応援協定に基づく要請がなされ、指揮隊、救助隊、救急隊、後方支援隊が出動
28日	3:45 県内の応援隊全隊が集結完了 9:56 王滝登山口から入山開始 救助・捜索活動実施
29日	6:55 王滝登山口から入山開始 活動中、火山性ガス濃度上昇に伴い8合目まで退避の後、活動再開するもガス濃度がさらに上昇し下山決定
30日	火山性微動の増加に伴い活動中止
10月 1日	自衛隊ヘリにて入山 救助・捜索活動実施
2日	6:00 王滝登山口から入山開始 活動開始するも降雨のため11:35活動中止決定
3日	天候不良のため活動中止
4日	7:50 王滝登山口から入山開始 救助・捜索活動実施
5～6日	台風接近による荒天のため活動中止
7～8日	自衛隊ヘリにて入山 救助・捜索活動実施
9日	天候不良のため活動中止
10日	6:00 王滝登山口から入山開始 救助・捜索活動実施
11～12日	自衛隊ヘリにて入山 救助・捜索活動実施
13～14日	台風の接近により活動中止
15日	8:55 王滝登山口から入山開始 天候不良により11:00活動中止決定
16日	6:08 王滝登山口から入山開始 救助・捜索活動実施 20:30 応援要請の解除に基づき全活動終了
17日	10:00 長野県相互応援隊解散式

27年度

雨氷倒木被害

平成28年1月29日、松本市入山辺地区及び山形村清水高原において、雨氷現象による倒木被害が発生。大量の倒木は宿泊施設に通じる道路をふさぎ、宿泊客らが一時孤立状態となりました。そのため隊員は徒歩にて現地に向かい、関係機関と連携し、宿泊客の徒歩での下山に対し、安全管理や誘導を実施。全員を無事に下山させることができました。



雨氷により倒れた電柱

木や電線が氷の重みで倒れ道路を塞ぎ、孤立先では停電が発生しました。



孤立先へ向かう隊員

民間企業の協力も得ながら、倒木の枝等を除去。進行経路を確保しながら孤立先へ向かいました。



下山する宿泊客ら

負傷者等発生することなく、下山は完了しました。

28年度

消防防災ヘリコプター「アルプス」事故

平成29年3月5日、長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」が松本市入山辺鉢伏山の雪深い山中に墜落する事故が発生しました。

3月5日・6日の二日間にわたり、地上部隊と航空部隊による懸命な捜索、救助活動が行われましたが、残念ながら、当消防局から派遣の2人を含む計9人の尊い命が犠牲となる最悪の結果となってしまいました。

私たちは、この悲しい出来事を、決して忘れてはならない教訓として、松本広域消防局が一丸となって、更なる危機管理の徹底に努めてまいります。



装備・資機材を整え、事故現場へ向かう救助隊

県内外の消防、警察、自衛隊員が協力し、事故現場での救助活動にあたりました。

事故現場へ向かい歩を進める救助隊

3月の鉢伏山は雪が残り、場所によっては膝まで埋まるほどでしたが、「一刻も早く救出したい」その一心で事故現場へ向かいました。



解散式の様子

全員の願いも虚しく、9人の尊い命が犠牲となる最悪の結果となってしまいました。

合同追悼式

平成29年5月30日、松本市のキッセイ文化ホールに於いて、長野県主催による合同追悼式が執り行われました。

会場は悲しみに包まれ、この事故は決して忘れてはならない教訓として全職員の胸に刻まれました。



28年度

自家用給油取扱所設置

平成29年2月28日、芳川消防署敷地内に災害対策用自家用給油取扱所が完成しました。

東日本大震災の被災地では、全国から集結した応援隊が、燃料の不足、ライフライン途絶等の厳しい環境下で、広範な地域にわたり長期に及ぶ消防活動を求められました。この教訓を踏まえ、災害活動拠点施設としての機能の充実強化を目的として設置されました。

消防本部が給油取扱所を所有するのは、県内初となります。



着工時の様子



タンク埋設のため掘削



タンク据付

地下タンクの据付けを見ることが出来る機会はまれなため、職員研修として各所属から職員が集まり、施工の流れを確認しました。



タンク埋め戻し



キャノピー骨組み



キャノピー・防火壁完成、計量器設置



完成検査

完成検査時にも、職員研修を実施し、給油取扱所の立入検査を行う際の注意点等も併せて確認しました。

29年度

女性消防職員専用施設の整備

松本広域消防局では現在5人の女性消防職員が活躍し、そのうち、4人の職員が救急救命士として活動しています。そこで、女性職員の更なる活躍の場を広げるため、ドクターカーが配備されている本郷消防署に、5署目となる女性専用施設を整備しました。

今後も女性が勤務しやすい職場づくりに努めていきます。



女性専用設備

新たに整備した女性専用仮眠室には、室内にトイレ・シャワーを備えています。



統計で見る5年

1 総務編

(1) 管内人口

(各年度4月1日現在)

年度	面積 (km ²)	人口 (人)			世帯数 (世帯)	人口密度 (人/km ²)
			男	女		
H25年度	1,869.19	433,521	212,405	221,116	167,383	231.93
H26年度	1,869.19	432,485	211,778	220,707	168,266	231.38
H27年度	1,868.73	430,854	210,956	219,898	175,406	230.56
H28年度	1,868.73	429,108	210,104	219,004	176,122	229.63
H29年度	1,868.73	428,636	210,090	218,546	177,977	229.37

(2) 消防職員数

(各年度4月1日現在、単位：人)

年度	総数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
H25年度	392	1	2	14	78	165	43	10	76	3
H26年度	392	1	2	14	67	169	38	13	85	3
H27年度	391	1	2	14	66	167	41	12	85	3
H28年度	393	1	2	14	71	164	44	15	79	3
H29年度	390	1	3	13	72	166	49	18	65	3

(3) 人口及び世帯あたりの消防予算額

年度	消防予算額 (千円)	人口 (人)		世帯 (世帯)	
			1人当たり (円)		1世帯当たり (円)
H25年度	4,175,530	433,521	9,632	167,383	24,946
H26年度	4,034,160	432,485	9,328	168,266	23,975
H27年度	3,994,710	430,854	9,272	175,406	22,774
H28年度	4,087,180	429,108	9,525	176,122	23,207
H29年度	4,224,690	428,636	9,856	177,977	23,737

(4) 表 彰

■消防職員表彰

表彰種別 年度	消防庁長官表彰		全国消防協会 優良消防職員 表彰	全国消防協会 関東支部 優良消防職員 表彰	全国消防長会 永年勤続功労 表彰	計
	功労章	永年勤続 功労章				
H25年度	—	6	1	1	3	11
H26年度	—	5	1	1	3	10
H27年度	—	5	1	1	7	14
H28年度	—	5	1	1	9	16
H29年度	—	5	1	1	7	14

■一般協力者表彰

(単位：人、団体)

表彰種別 年度	火災協力者		救急救助協力者	
	個 人	団 体	個 人	団 体
H25年度	19	—	3	—
H26年度	1	—	15	2
H27年度	—	—	—	—
H28年度	2	—	—	—
H29年度	—	—	3	—

■ 叙位・叙勲

(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

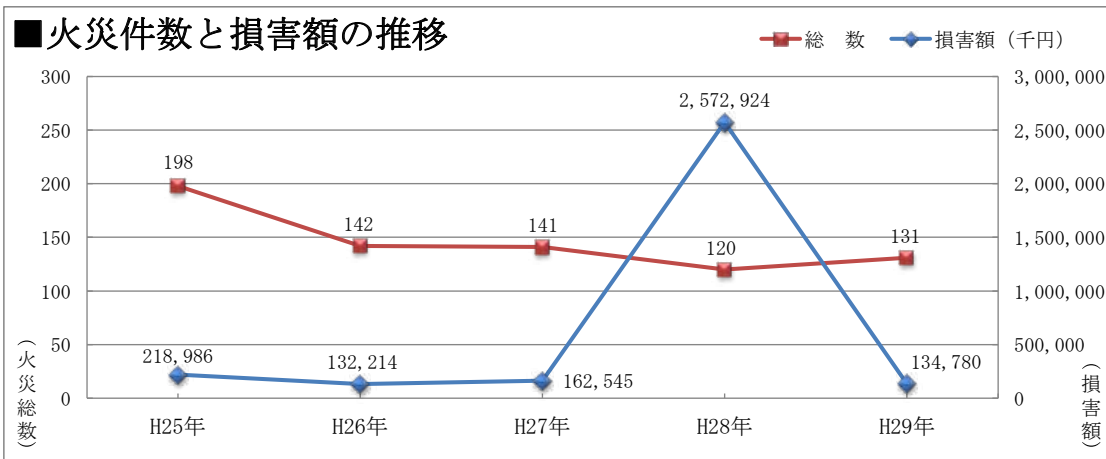
受章年月日	氏名	階級	叙位・叙勲
H25. 4. 29	御 子 柴 威 雄	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H25. 4. 29	山 下 睦 成	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H25. 5. 8	山 田 榮 次	元松本広域連合消防司令	叙 位 ・ 死 亡 叙 勲
H25. 11. 3	原 敬 一	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H25. 11. 3	福 嶋 忠	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H26. 4. 29	中 林 伸 行	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H26. 4. 29	田 野 尻 詔 雄	元松本広域連合消防司令	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H26. 11. 3	小 野 治 良	元松本広域連合消防監	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H26. 11. 3	石 井 恒 彦	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H27. 4. 29	古 澤 孝 雄	元松本広域連合消防司令	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H27. 4. 29	西 村 尚 文	元松本広域連合消防司令	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H27. 11. 3	増 澤 尚 徳	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H27. 11. 3	平 出 賢 一	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H27. 12. 21	富 成 秀 明	元松本地域広域行政事務組合消防監	叙 位
H27. 12. 26	横 山 義 定	元松本市消防監	叙 位
H28. 4. 29	赤 羽 章 朋	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H28. 4. 29	細 井 利 英	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H28. 6. 4	小 松 喜 代 春	元松本広域連合消防司令	叙 位
H28. 11. 3	笠 井 宏	元松本広域連合消防監	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H28. 11. 3	矢 嶋 悦 男	元松本広域連合消防監	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H29. 3. 5	小 口 浩	元松本広域連合消防司令長	緊 急 叙 勲
H29. 3. 5	高 嶋 典 俊	元松本広域連合消防司令長	緊 急 叙 勲
H29. 4. 19	横 山 良 孝	元松本広域連合消防司令長	叙 位
H29. 4. 29	松 野 好 央	元松本広域連合消防司令長	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H29. 9. 21	横 山 進	元松本広域連合消防監	叙 位
H29. 11. 3	飯 田 年 治	元松本広域連合消防司令	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H29. 11. 3	中 嶋 敏 夫	元松本広域連合消防司令	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲
H30. 3. 6	上 條 恵 嗣	元松本市消防司令長	叙 位

2 予 防 編

(1) 火災の概要

(単位：件)

区 分		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	合計
火災種別	総 数	198	142	141	120	131	732
	建 物 火 災	79	65	67	64	57	332
	林 野 火 災	3	—	1	—	5	9
	車 両 火 災	20	15	15	9	16	75
	その他の火災	96	62	58	47	53	316
焼損程度	総 数	115	85	99	93	80	472
	全 焼	38	24	41	26	28	157
	半 焼	6	4	6	5	3	24
	部 分 焼	41	34	26	35	25	161
	ば や	30	23	26	27	24	130
焼損面積	床面積 (㎡)	4,296	2,527	3,900	7,568	2,764	21,055
	表面積 (㎡)	239	256	96	198	202	991
	林 野 (a)	21	—	20	—	108	149
死 傷 者	死 者 (人)	5	5	2	9	7	28
	負傷者 (人)	27	17	18	13	26	101
り災世帯 (世帯)		70	48	51	47	46	262
り災人員 (人)		166	139	124	113	113	655
損害額 (千円)	計	218,986	132,214	162,545	2,572,924	134,780	3,221,449
	建 物 火 災	205,757	119,488	150,227	2,560,970	110,636	3,147,078
	林 野 火 災	87	—	—	—	—	87
	車 両 火 災	10,113	11,952	1,902	7,655	23,163	54,785
	その他の火災	3,029	774	10,416	4,299	981	19,499



(2) 主な出火原因の推移

順 位	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
1 位	た き 火	た き 火	た き 火	た き 火	た き 火
2 位	こ ん ろ	こ ん ろ	放 火	こ ん ろ	こ ん ろ ストーブ 放火の疑い
3 位	放 火	た ば こ ストーブ	こ ん ろ	放 火	
4 位	た ば こ 枯草焼き 放火の疑い		あぜ焼き等	ス ト ー ブ	
5 位		放火の疑い	火 あ そ び	た ば こ	火 入 れ 配 線 器 具

(3) 防火対象物の状況

(単位：件)

区 分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
防火対象物数	12, 206	12, 237	12, 331	12, 320	12, 363
査察実施件数	4, 492	3, 562	3, 293	3, 369	4, 016
消防同意件数	498	616	598	540	514
新 築	434	437	448	486	458
増 築	41	142	106	37	39
改 築	9	13	5	—	5
そ の 他	14	24	39	17	12

(4) 予防関係届出状況

■消防法関係

(単位：件)

届 出 種 別	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
防 火 管 理 者 選 任 ・ 解 任 届	1,279	1,219	1,286	872	990
消 防 計 画 作 成 ・ 変 更 届	1,141	1,204	1,141	1,214	1,326
消 防 用 設 備 等 着 工 届	347	413	347	473	593
消 防 用 設 備 等 設 置 届	596	708	600	815	1,024
圧縮アセチレン等の貯蔵・取扱届	118	160	114	126	201
合 計	3,481	3,704	3,488	3,500	4,134

■火災予防条例関係

(単位：件)

届 出 種 別	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
防 火 責 任 者 選 任 ・ 解 任 届	425	153	425	560	537
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	358	308	360	373	402
炉・かまど・ボイラー等設置届	72	42	55	46	61
発電・変電・蓄電池設備設置届	132	129	133	107	147
ネオン管灯設備設置届	—	—	—	—	—
水素ガスを充填する気球の届出	—	—	—	—	—
火災とまぎわらしい発煙届	1,690	2,277	2,357	2,357	2,456
煙火打上げ・仕掛け届	150	190	216	224	197
催 物 開 催 届	151	122	75	71	66
指 定 洞 道 等 届 出	—	—	—	—	—
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届	190	186	191	132	153
合 計	3,168	3,407	3,812	3,870	4,019

(5) 防火管理者資格取得状況

(単位：件)

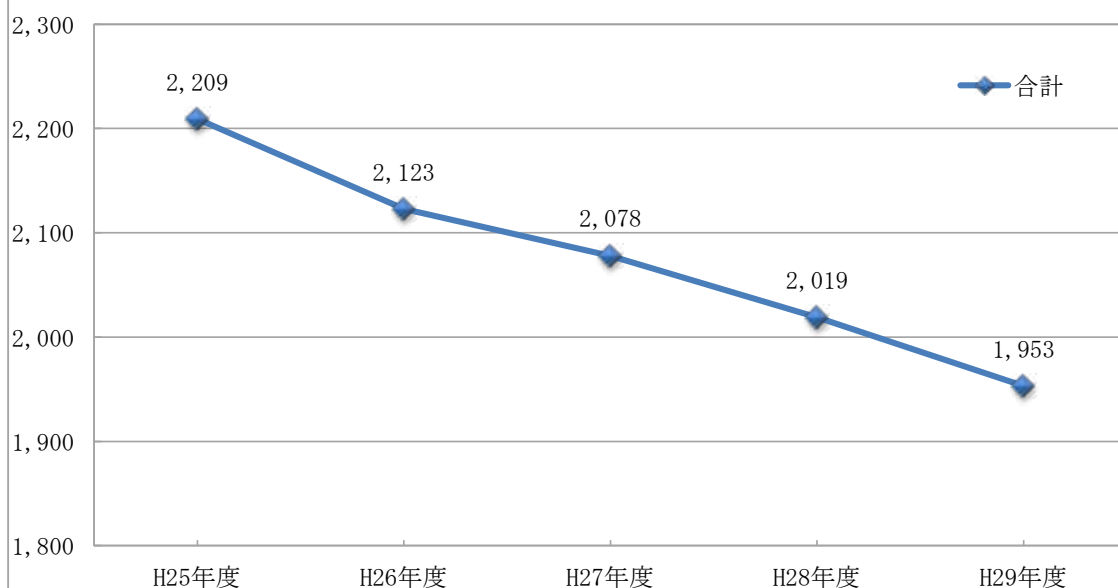
講 習 区 分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
防火管理者資格取得講習会(新規)	588	576	626	594	550
防火管理者資格取得講習会(再講習)	74	44	57	54	60
合 計	662	620	683	648	610

(6) 危険物施設の状況

(各年度4月1日現在、単位：件)

施 設 区 分		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
製 造 所		3	3	3	4	4
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	159	156	156	155	150
	屋外タンク貯蔵所	204	195	192	188	172
	屋内タンク貯蔵所	38	36	34	35	33
	地下タンク貯蔵所	722	679	667	642	619
	簡易タンク貯蔵所	—	—	—	—	—
	移動タンク貯蔵所	489	475	463	443	437
	屋 外 貯 蔵 所	28	25	24	25	20
	計	1,640	1,566	1,536	1,488	1,431
取 扱 所	給 油 取 扱 所	185	179	170	165	165
	自家用給油取扱所	118	116	118	114	114
	第1種販売取扱所	2	2	1	1	1
	第2種販売取扱所	3	3	3	3	3
	一 般 取 扱 所	258	254	247	244	235
	計	566	554	539	527	518
合 計		2,209	2,123	2,078	2,019	1,953

■ 危険物施設数の推移



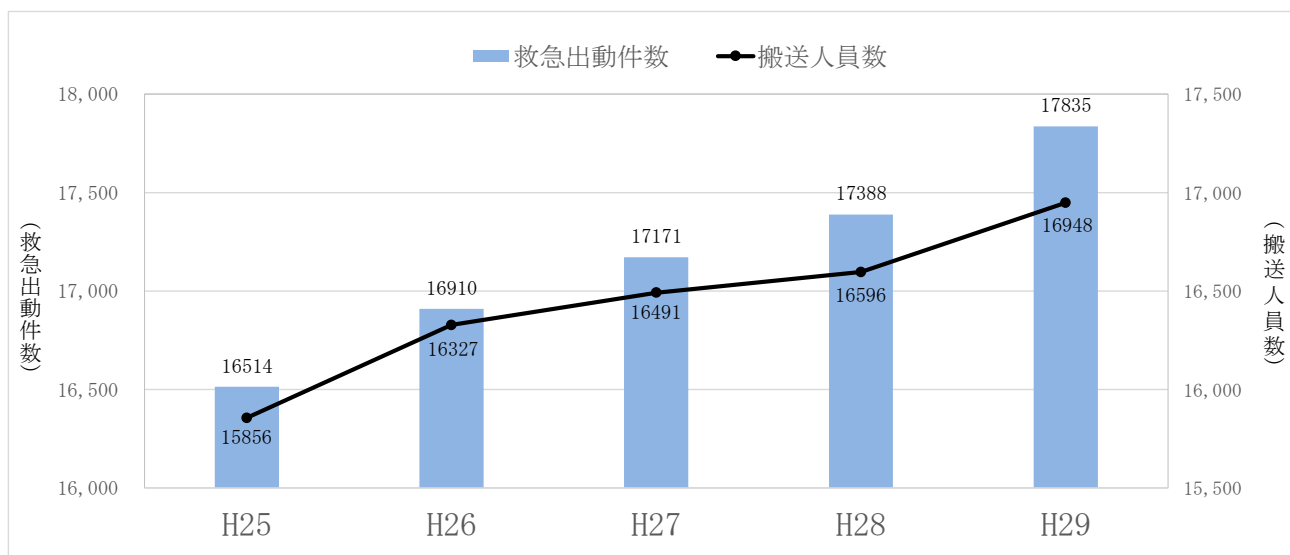
3 警 防 編

(1) 救急出動状況

(単位：件)

区分		火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	合 計
H25年	救急件数	83	—	9	1,454	109	120	2,289	55	178	10,530	1,687	16,514
	搬送人員	26	—	4	1,592	104	123	2,204	50	132	9,984	1,637	15,856
H26年	救急件数	65	1	3	1,468	98	96	2,359	58	172	10,985	1,605	16,910
	搬送人員	15	1	—	1,632	92	102	2,266	52	118	10,504	1,545	16,327
H27年	救急件数	70	—	9	1,453	134	123	2,356	61	144	11,166	1,655	17,171
	搬送人員	16	—	3	1,599	125	122	2,264	50	102	10,612	1,598	16,491
H28年	救急件数	73	2	9	1,426	121	126	2,589	41	156	11,163	1,682	17,388
	搬送人員	13	—	4	1,544	113	124	2,467	36	115	10,562	1,618	16,596
H29年	救急件数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,674	17,835
	搬送人員	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,598	16,948

(2) 救急出動件数と搬送人員数の推移



(3) ドクターカーの出動状況

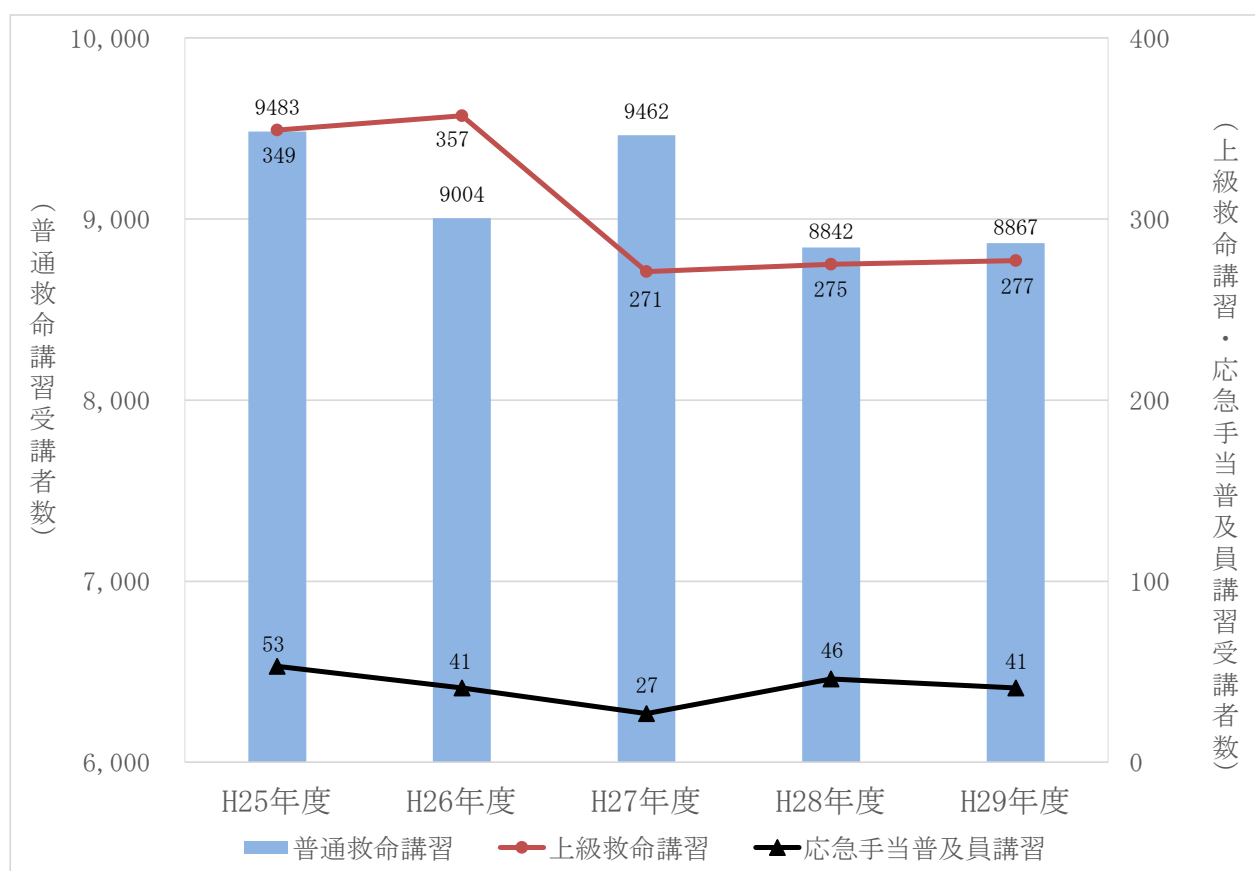
(単位：件)

区分 年	火 災	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	合 計
H25年	—	2	36	3	—	5	—	1	5	23	75
H26年	1	—	36	5	1	9	—	5	10	29	96
H27年	—	—	24	5	—	7	1	2	16	30	85
H28年	2	—	23	6	—	10	1	3	13	47	105
H29年	3	—	21	—	—	5	—	6	24	48	107
合計	6	2	140	19	1	36	2	17	68	177	468

(4) 応急手当普及啓発活動の状況

(単位：人)

区分 年度	合 計	救命入門コース	普通救命講習	上級救命講習	応 急 手 当 普 及 員 講 習
H25年度	10,111	226	9,483	349	53
H26年度	9,759	357	9,004	357	41
H27年度	10,037	277	9,462	271	27
H28年度	9,216	53	8,842	275	46
H29年度	9,336	151	8,867	277	41



(5) 救助出動状況

(単位：件、人)

区 分		総 数	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス ・ 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他
H25年	出動件数	194	65	79	11	—	4	2	1	—	32
	活動件数	62	6	36	7	—	3	1	1	—	8
	救助人員	90	1	70	6	—	3	1	1	—	8
H26年	出動件数	188	51	68	7	—	4	5	1	—	52
	活動件数	84	5	36	4	—	2	4	1	—	32
	救助人員	82	—	38	3	—	2	2	1	—	36
H27年	出動件数	221	52	98	6	—	8	4	—	—	53
	活動件数	90	6	33	5	—	5	3	—	—	38
	救助人員	93	1	38	5	—	7	4	—	—	38
H28年	出動件数	250	64	92	13	1	11	30	1	—	38
	活動件数	99	8	37	10	1	6	19	—	—	18
	救助人員	103	2	45	10	1	7	17	—	—	21
H29年	出動件数	227	56	74	12	—	6	27	1	—	51
	活動件数	94	6	28	10	—	2	12	1	—	35
	救助人員	100	4	40	9	—	1	12	1	—	33
合 計	出動件数	1080	288	411	49	1	33	68	4	—	226
	活動件数	429	31	170	36	1	18	39	3	—	131
	救助人員	468	8	231	33	1	20	36	3	—	136

(6) 救助技術大会出場状況

区分 年度	大会種別	個人 団体	出場種目	人員	結果(秒)	
H25年度	全 国 消 防 救 助 技 術 大 会	団体	ロープブリッジ救出	4	入賞	53.0
		個人	はしご登はん	1	入賞	14.9
	消 防 救 助 技 術 会 関 東 地 区 指 導 会	団体	ロープブリッジ救出	4	入賞	50.0
H26年度	全 国 消 防 救 助 技 術 大 会	個人	はしご登はん	広島市土石流災害のため、開催中止		
H27年度	全 国 消 防 救 助 技 術 大 会	個人	はしご登はん	1	入賞	14.8
	消 防 救 助 技 術 会 関 東 地 区 指 導 会	団体	引揚救助	5	—	79.6
			ロープブリッジ救出	4	入賞	55.9
			障害突破	5	入賞	115.2
H28年度	消 防 救 助 技 術 会 関 東 地 区 指 導 会	団体	障害突破	5	入賞	99.2
H29年度	消 防 救 助 技 術 会 関 東 地 区 指 導 会	団体	引揚救助	参加辞退		
			障害突破			

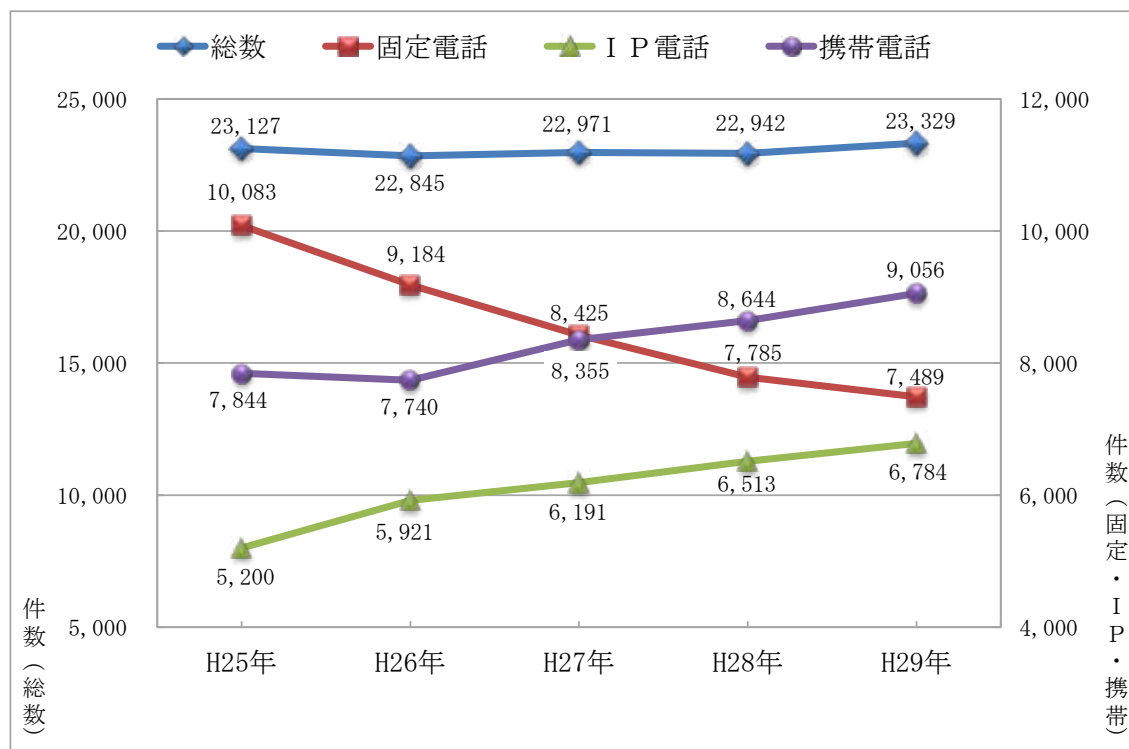
4 通信指令編

1 1 9 番通報受信状況

(単位：件)

区分 年		総 数	災 害	試 験	当番医 照 会	悪 戯	訓 練	その他
H25年		23,127	16,290	820	1,055	48	860	4,054
	内	固定電話 10,083	7,287	728	256	25	632	1,155
	訳	I P 電話 5,200	4,154	17	258	3	185	583
		携帯電話 7,844	4,849	75	541	20	43	2,316
H26年		22,845	16,799	950	912	53	613	3,518
	内	固定電話 9,184	6,636	834	205	28	467	1,014
	訳	I P 電話 5,921	4,924	33	243	4	123	594
		携帯電話 7,740	5,239	83	464	21	23	1,910
H27年		22,971	17,138	1,178	806	64	594	3,191
	内	固定電話 8,425	6,000	1,039	129	20	441	796
	訳	I P 電話 6,191	5,215	49	210	29	128	560
		携帯電話 8,355	5,923	90	467	15	25	1,835
H28年		22,942	17,281	1,184	673	21	654	3,129
	内	固定電話 7,785	5,418	1,049	118	10	464	726
	訳	I P 電話 6,513	5,588	48	163	2	159	553
		携帯電話 8,644	6,275	87	392	9	31	1,850
H29年		23,329	17,888	1,177	581	30	600	3,053
	内	固定電話 7,489	5,161	1,137	95	11	430	655
	訳	I P 電話 6,784	5,964	20	112	4	144	540
		携帯電話 9,056	6,763	20	374	15	26	1,858

1 1 9 番通報受信状況の推移



平成30年度消防年報



総務編

総務編



活躍する女性消防吏員

1 人事

(1) 職員配置状況

(平成30年4月1日現在)

(単位：人)

階 級 所 属		総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
条 例 定 数		395	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 員 総 数		392	1	2	14	69	174	52	17	60	3
消 防 局	消 防 局 長	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	消 防 局 次 長	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	総 務 課	15	-	-	-	3	8	1	-	-	3
	課 長	(1)	-	(1)	-	-	-	-	-	-	-
	総 務 担 当	7	-	-	-	2	4	1	-	-	-
	長野県派遣	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	事務局出向	3	-	-	-	1	2	-	-	-	-
	そ の 他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	予 防 課	7	-	(1)	-	2	2	3	-	-	-
	警 防 課	7	-	-	1	3	3	-	-	-	-
	通 信 指 令 課	16	-	-	1	6	7	2	-	-	-
	小 計	48	1	2	2	14	20	6	-	-	3
消 防 署	丸の内消防署	24	-	-	1	3	11	4	1	4	-
	庄内出張所	16	-	-	-	5	6	2	1	2	-
	芳川消防署	21	-	-	1	3	10	2	-	5	-
	神林出張所	13	-	-	-	4	6	1	1	1	-
	渚消防署	33	-	-	1	3	16	8	1	4	-
	本郷消防署	21	-	-	1	3	10	2	2	3	-
	山辺出張所	13	-	-	-	4	6	2	1	-	-
	塩尻消防署	34	-	-	1	3	20	3	1	6	-
	広丘消防署	21	-	-	1	3	7	2	3	5	-
	豊科消防署	29	-	-	1	3	14	6	1	4	-
	梓川消防署	21	-	-	1	3	9	3	2	3	-
	安曇出張所	16	-	-	-	4	8	1	1	2	-
	穂高消防署	21	-	-	1	4	6	2	1	7	-
	麻績消防署	21	-	-	1	4	7	4	-	5	-
	明科消防署	20	-	-	1	3	8	2	1	5	-
	山形消防署	20	-	-	1	3	10	2	-	4	-
	小 計	344	-	-	12	55	154	46	17	60	-

1 他自治体への派遣職員は、定数外のため除いています。(松本市・塩尻市・安曇野市へ各1人)

2 短時間勤務再任用職員は、定数外のため除いています。(通信指令課・芳川・渚・豊科・明科・山形消防署に各1人)

3 総務課総務担当のうち、1人を総務省消防庁へ研修派遣しています。

(2) 年齢・階級別職員数

(平成30年4月1日現在)

(単位：人)

階 級 年 齢	総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
18 歳	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-
19 歳	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
20 歳	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-
21 歳	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
22 歳	16	-	-	-	-	-	-	3	13	-
23 歳	7	-	-	-	-	-	-	4	3	-
24 歳	10	-	-	-	-	-	-	1	9	-
25 歳	10	-	-	-	-	-	3	4	3	-
26 歳	16	-	-	-	-	-	9	2	5	-
27 歳	11	-	-	-	-	1	8	-	2	-
28 歳	11	-	-	-	-	2	7	1	-	1
29 歳	12	-	-	-	-	2	9	1	-	-
30 歳	12	-	-	-	-	4	6	1	1	-
31 歳	11	-	-	-	-	5	6	-	-	-
32 歳	10	-	-	-	-	8	2	-	-	-
33 歳	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-
34 歳	8	-	-	-	-	8	-	-	-	-
35 歳	10	-	-	-	-	9	1	-	-	-
36 歳	11	-	-	-	-	11	-	-	-	-
37 歳	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-
38 歳	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-
39 歳	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
40 歳	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-
41 歳	14	-	-	-	-	14	-	-	-	-
42 歳	13	-	-	-	-	13	-	-	-	-
43 歳	17	-	-	-	-	17	-	-	-	-
44 歳	14	-	-	-	-	14	-	-	-	-
45 歳	13	-	-	-	-	13	-	-	-	-
46 歳	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
47 歳	11	-	-	-	3	8	-	-	-	-
48 歳	7	-	-	-	4	3	-	-	-	-
49 歳	6	-	-	-	4	2	-	-	-	-
50 歳	15	-	-	-	12	3	-	-	-	-
51 歳	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-
52 歳	13	-	-	-	13	-	-	-	-	-
53 歳	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-
54 歳	5	-	-	-	4	-	-	-	-	1
55 歳	7	-	-	-	6	-	-	-	-	1
56 歳	6	-	-	3	3	-	-	-	-	-
57 歳	8	-	1	2	5	-	-	-	-	-
58 歳	7	-	1	6	-	-	-	-	-	-
59 歳	7	1	-	3	3	-	-	-	-	-
60 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	392	1	2	14	69	174	52	17	60	3
平均年齢	38.0	59.0	57.5	57.6	52.2	40.0	28.5	24.8	22.2	45.7

(3) 勤続年数・階級別職員数

(平成30年4月1日現在)

(単位:人)

階級 勤続年数	総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
1年未満	14	—	—	—	—	—	—	—	13	1
1年以上	6	—	—	—	—	—	—	—	6	—
2年以上	12	—	—	—	—	—	—	—	11	1
3年以上	13	—	—	—	—	—	1	1	11	—
4年以上	19	—	—	—	—	—	3	8	8	—
5年以上	13	—	—	—	—	—	3	3	7	—
6年以上	14	—	—	—	—	2	6	2	4	—
7年以上	15	—	—	—	—	1	11	3	—	—
8年以上	13	—	—	—	—	1	12	—	—	—
9年以上	9	—	—	—	—	3	6	—	—	—
10年以上	13	—	—	—	—	8	5	—	—	—
11年以上	13	—	—	—	—	9	4	—	—	—
12年以上	4	—	—	—	—	4	—	—	—	—
13年以上	6	—	—	—	—	6	—	—	—	—
14年以上	7	—	—	—	—	7	—	—	—	—
15年以上	13	—	—	—	—	13	—	—	—	—
16年以上	13	—	—	—	—	12	1	—	—	—
17年以上	10	—	—	—	—	10	—	—	—	—
18年以上	14	—	—	—	—	14	—	—	—	—
19年以上	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—
20年以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21年以上	7	—	—	—	—	7	—	—	—	—
22年以上	5	—	—	—	—	5	—	—	—	—
23年以上	10	—	—	—	1	9	—	—	—	—
24年以上	11	—	—	—	2	9	—	—	—	—
25年以上	21	—	1	—	5	15	—	—	—	—
26年以上	40	—	—	1	17	21	—	—	—	1
27年以上	6	—	—	—	—	6	—	—	—	—
28年以上	7	—	—	—	2	5	—	—	—	—
29年以上	4	—	—	—	2	2	—	—	—	—
30年以上	5	—	—	—	3	2	—	—	—	—
31年以上	9	—	—	—	8	1	—	—	—	—
32年以上	7	—	—	—	7	—	—	—	—	—
33年以上	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—
34年以上	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—
35年以上	5	—	1	—	4	—	—	—	—	—
36年以上	6	—	—	1	5	—	—	—	—	—
37年以上	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
38年以上	6	—	—	2	4	—	—	—	—	—
39年以上	5	—	—	4	1	—	—	—	—	—
40年以上	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—
41年以上	5	1	—	3	1	—	—	—	—	—
総 数	392	1	2	14	69	174	52	17	60	3

(4) 職員研修状況

■派遣研修

(平成29年度)

派遣研修名		人員	期 間	研修職員階級	場 所
消防大学校	査察業務マネジメントコース	1	5月24日～5月30日	消防司令	東京都調布市「消防大学校」
	予 防 科	1	8月24日～10月13日	消防司令補	〃
	N B C コ ー ス	1	2月26日～3月16日	消防司令補	〃
長野県消防学校	操 法 指 導 員 講 習	2	4月6日～4月7日	消防司令補	長野市篠ノ井「長野県消防学校」
	初 任 科	10	4月13日～10月8日	消 防 士	〃
	救 助 科	3	5月10日～6月13日	消防司令補 消 防 士 長	〃
	特 殊 災 害 科	3	9月24日～11月2日	消 防 士 長	〃
	火 災 調 査 科	5	11月8日～11月21日	消防司令補 消 防 士 長 消防副士長	〃
	危 険 物 科	3	11月27日～12月1日	消防司令補 消防副士長	〃
	上 級 幹 部 科	2	12月6日～12月8日	消防司令長 消 防 司 令	〃
	救 急 科	5	1月9日～3月6日	消 防 士	〃
	幹 部 科	2	1月15日～1月26日	消防司令補	〃
	予 防 査 察 科	4	1月29日～2月9日	消防司令補 消 防 士 長	〃
	救 急 高 度 化 研 修	3	3月12日～3月16日	消 防 士 長 消防副士長 消 防 士	〃
救急救命研修所	救急救命士研修課程	1	9月1日～3月12日	消 防 士 長	大阪府東大阪市「高度専門教育訓練センター」
		1	9月1日～3月12日	消防副士長	東京都八王子市「東京研修所」
	指導救命士養成研修	1	6月28日～8月9日	消防司令補	福岡県北九州市「九州研修所」

■実務研修

(平成29年度)

実務研修名		人員	期 間	研修職員階級	場 所
総務関係	消防職員安全衛生研修会	1	1月18日 ～ 1月19日	消 防 司 令	東京都港区 「三田NNホール」
	消 防 実 務 講 習 会	1	9月21日	消 防 司 令	神奈川県横浜市 「横浜市社会福祉 センターホール」
予防関係	調 査 技 術 会 議	1	6月16日	消 防 司 令	愛知県名古屋市中区役所ホール
	査 察 実 務 研 修	1	6月19日 ～ 6月30日	消防士長	神奈川県横浜市 「横浜市消防局」
	火 薬 類 取 締 法 研 修	1	6月12日 ～ 6月16日	消防司令補	東京都東村山市 「経済産業省経済産業研修所」
	関 東 支 部 違 反 是 正 事 例 発 表 会	4	11月17日	消防司令長 消 防 司 令 消防司令補 消 防 士 長	長野県長野市 「ホテルメトロポリタン長野」
	長 野 県 消 防 法 令 違 反 是 正 研 究 会	3	2月2日	消防司令補 消 防 士 長	長野県長野市 「ホテルメトロポリタン長野」
	危険物保安技術講習会	1	7月13日 ～ 7月14日	消 防 士 長	東京都千代田区 「科学技術館サイエンスホール」
警防関係	日 本 臨 床 救 急 医 学 会 総 会 ・ 学 術 集 会	1	5月27日 ～ 5月28日	消防司令補	東京都江東区 「東京ビッグサイト」
	安全運転中央研修所 消防・救急緊急自動車 運 転 技 能 者 課 程	2	10月2日 ～ 10月5日	消 防 士 長	茨城県ひたちなか市 「安全運転中央研修所」
	救 急 救 命 士 研 修 会	21	11月11日	消 防 司 令 消防司令補 消 防 士 長 消防副士長	長野県木曽郡 「木曽町文化交流センター」
	日 本 救 急 医 学 会 中 部 地 方 総 会 ・ 学 術 集 会	2	11月18日	消防司令補	岐阜県高山市 「高山市民文化会館」
	全 国 消 防 救 助 シ ン ポ ジ ウ ム	1	12月12日	消防司令補	東京都文京区 「響きの森文京公会堂」
	全国救急隊員シンポジウム 及び全国メディカル コ ン ト ロ ー ル 協 議 会	1	11月21日 ～ 11月22日	消防司令補	千葉県千葉市 「幕張メッセ国際会議場 ・ 国際展示場」
	日本救急医学会関東地方会 救 急 隊 員 学 術 研 究 会	1	1月28日	消防司令補	東京都文京区 「東京大学本郷キャンパス」
	国際消防救助隊セミナー	1	2月21日 ～ 2月23日	消防司令補	滋賀県大津市 「全国市町村国際文化研修所」

2 財 政

(1) 消防費当初予算額

■歳 入

(単位：千円)

科 目	H 3 0 年度	H 2 9 年度	比 較	構成比(%)
消 防 費 負 担 金	3,908,450	3,955,940	△ 47,490	93.2
消 防 費 手 数 料	4,890	4,660	230	0.1
財 産 収 入	640	330	310	0.0
消 防 費 繰 入 金	-	50,000	△ 50,000	0.0
消 防 費 繰 越 金	64,770	93,490	△ 28,720	1.6
消 防 費 雑 入	46,910	56,270	△ 9,360	1.1
広 域 連 合 債	167,400	64,000	103,400	4.0
合 計	4,193,060	4,224,690	△ 31,630	100.0

■歳 出

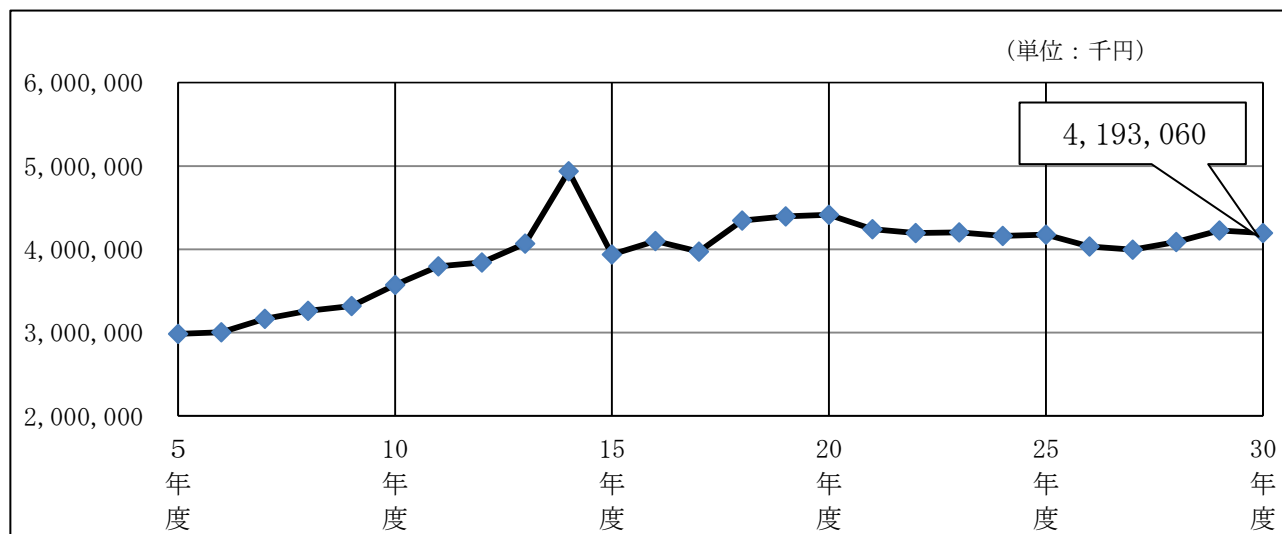
(単位：千円)

科 目	H 3 0 年度	H 2 9 年度	比 較	構成比(%)
一 般 管 理 費	3,522,610	3,465,950	56,660	84.0
職 員 厚 生 費	16,910	16,910	0	0.4
職 員 研 修 費	15,640	14,600	1,040	0.4
常 備 消 防 費	291,050	299,540	△ 8,490	6.9
消 防 施 設 費	224,110	162,260	61,850	5.4
基 金 積 立 金	42,080	42,890	△ 810	1.0
公 債 費	57,890	199,980	△ 142,090	1.4
予 備 費	22,770	22,560	210	0.5
合 計	4,193,060	4,224,690	△ 31,630	100.0

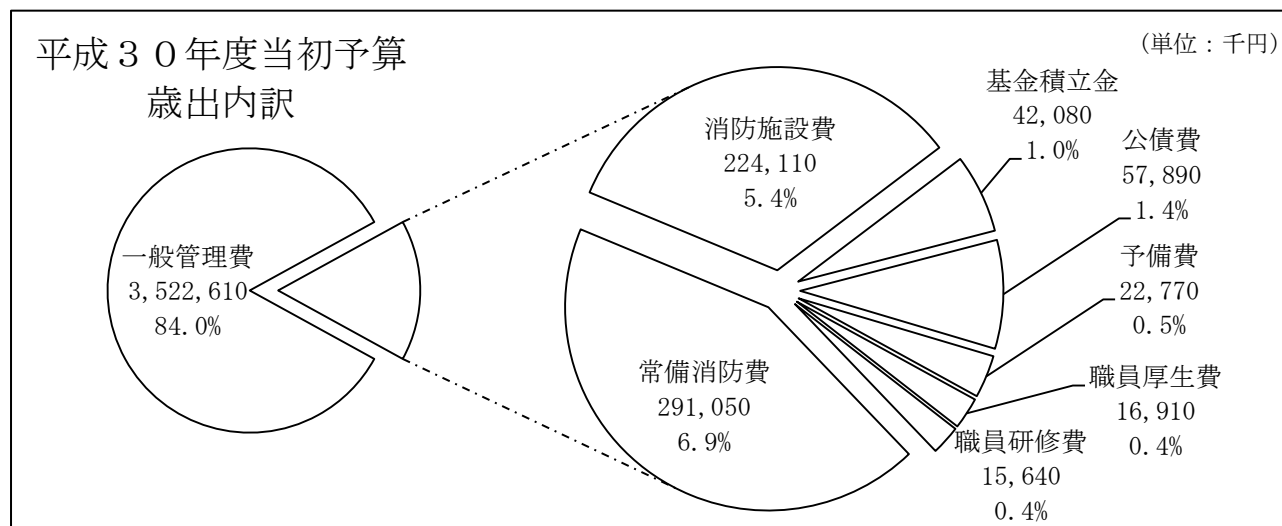
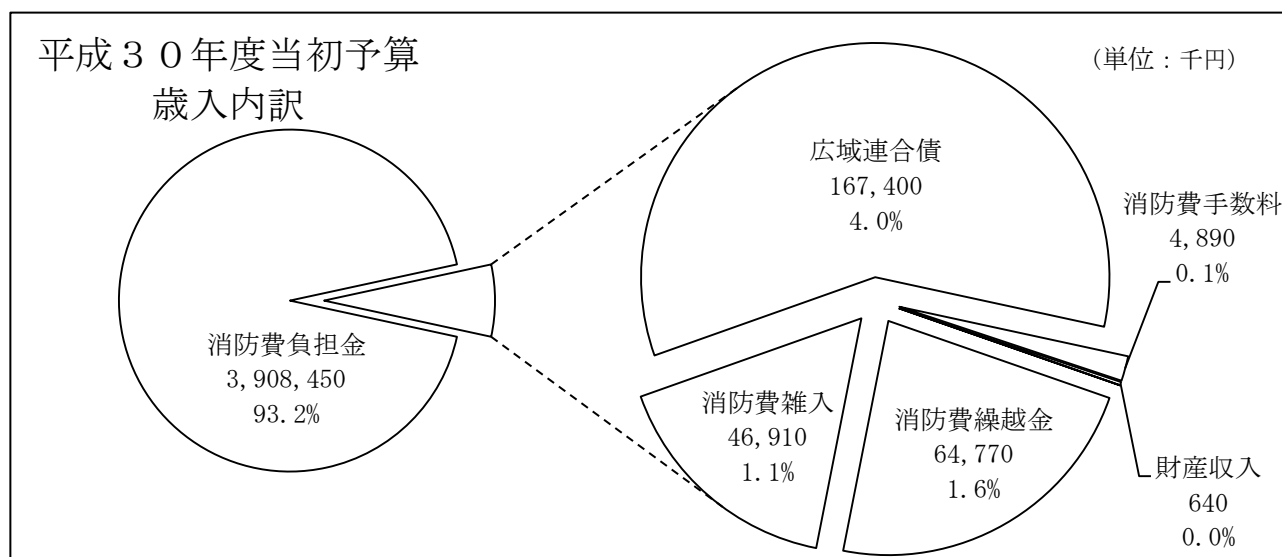
■人口及び世帯当たり消防費予算額

年 度 別	消防予算額 (千円)	人 口 (人)		世帯数 (世帯)	
			一人当たり (円)		一世帯当たり (円)
平 成 3 0 年 度	4,193,060	427,660	9,805	179,652	23,340
平 成 2 9 年 度	4,224,690	428,636	9,856	177,977	23,737

■ 消防費当初予算額の推移



■ 消防費当初予算の内訳



(2) 関係市村消防費負担金

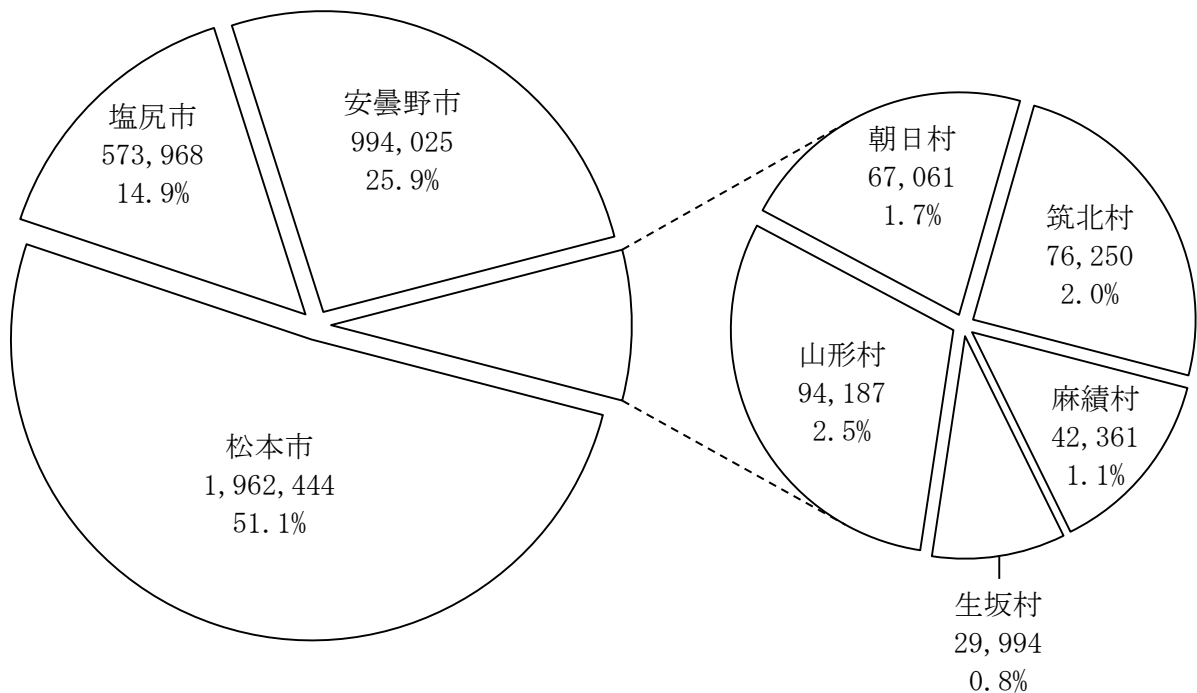
(平成30年度)

(単位：千円)

関係市村	共通経費			高速道路 救急業務 特 交 分	ドクター カー 特 交 分	新設署所 設置経費	退職手当 特別 負担金	合 計
	基準財政 需要額割	特 別 負担金	小 計					
松 本 市	1,732,026	230,417	1,962,444	5,180	4,410	—	16,170	1,988,204
塩 尻 市	516,364	57,604	573,968	5,180	—	—	6,140	585,288
安曇野市	898,018	96,007	994,025	5,180	—	—	—	999,205
麻 績 村	42,361	—	42,361	5,180	—	—	—	47,541
生 坂 村	29,994	—	29,994	5,180	—	—	—	35,174
山 形 村	94,187	—	94,187	5,180	—	—	—	99,367
朝 日 村	67,061	—	67,061	5,180	—	—	—	72,241
筑 北 村	76,250	—	76,250	5,180	—	—	—	81,430
総 額	3,456,261	384,029	3,840,290	41,440	4,410	0	22,310	3,908,450

関係市村消防費負担金 共通経費

(単位：千円)



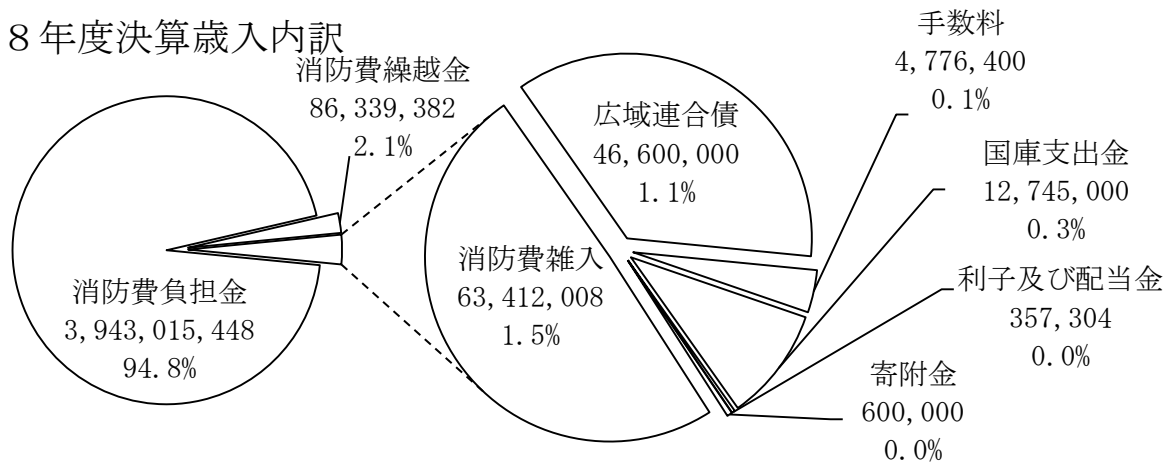
(3) 消防費決算額

■歳入

(単位：円)

科 目	H 2 8 年度	H 2 7 年度	比 較	構成比(%)
消 防 費 負 担 金	3,943,015,448	3,845,216,464	97,798,984	94.8
手 数 料	4,776,400	5,321,150	△ 544,750	0.1
国 庫 支 出 金	12,745,000	—	12,745,000	0.3
利子及び配当金	357,304	252,547	104,757	0.0
物 品 売 払 収 入	—	1,200,000	△ 1,200,000	0.0
寄 附 金	600,000	100,000	500,000	0.0
基 金 繰 入 金	—	10,000,000	△ 10,000,000	0.0
消 防 費 繰 越 金	86,339,382	74,902,375	11,437,007	2.1
消 防 費 雑 入	63,412,008	44,545,708	18,866,300	1.5
広 域 連 合 債	46,600,000	27,100,000	46,600,000	1.1
合 計	4,157,845,542	4,008,638,244	149,207,298	100.0

平成 2 8 年度決算歳入内訳



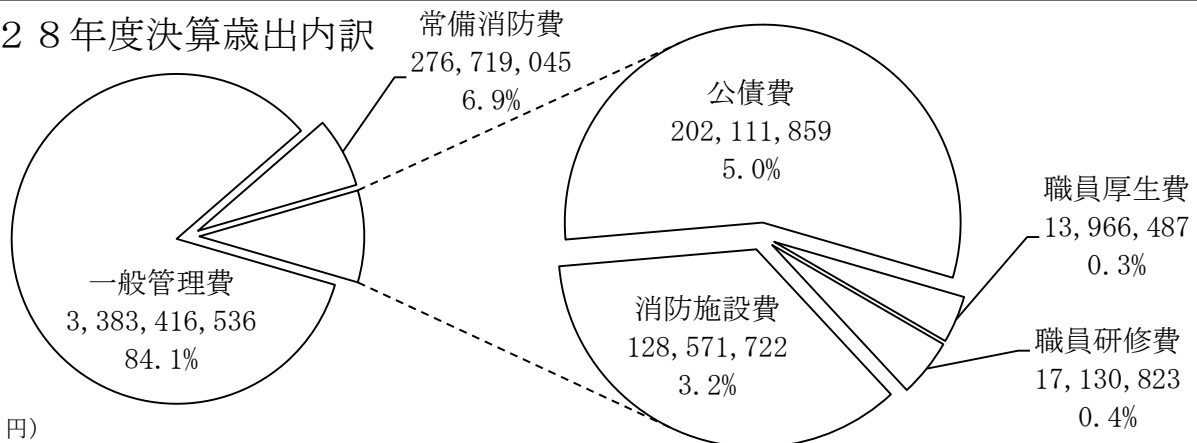
(単位：円)

■歳出

(単位：円)

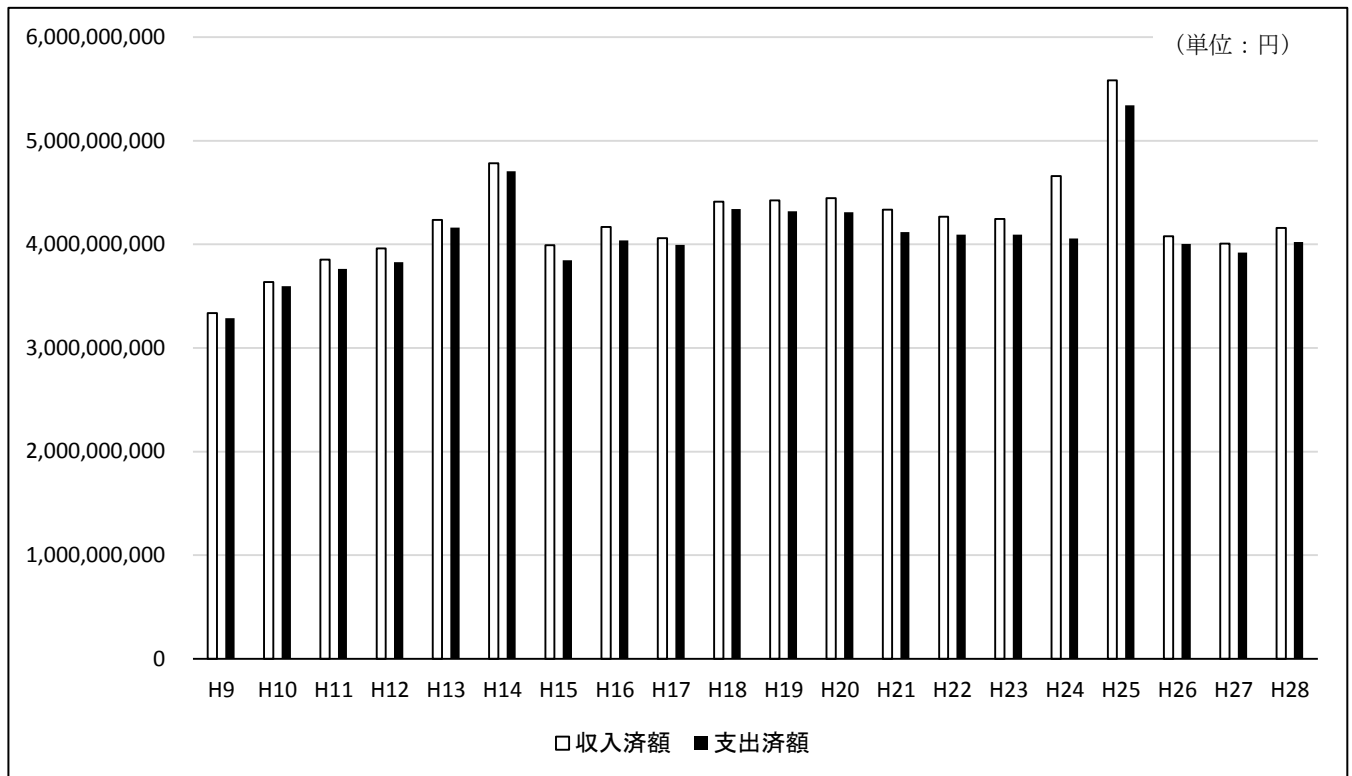
科 目	H 2 8 年度	H 2 7 年度	比 較	構成比(%)
一 般 管 理 費	3,383,416,536	3,328,259,443	55,157,093	84.1
職 員 厚 生 費	13,966,487	14,795,406	△ 828,919	0.3
職 員 研 修 費	17,130,823	15,157,654	1,973,169	0.4
常 備 消 防 費	276,719,045	290,504,355	△ 13,785,310	6.9
消 防 施 設 費	128,571,722	64,735,734	63,835,988	3.2
公 債 費	202,111,859	208,846,270	△ 6,734,411	5.0
合 計	4,021,916,472	3,922,298,862	99,617,610	100.0

平成 2 8 年度決算歳出内訳

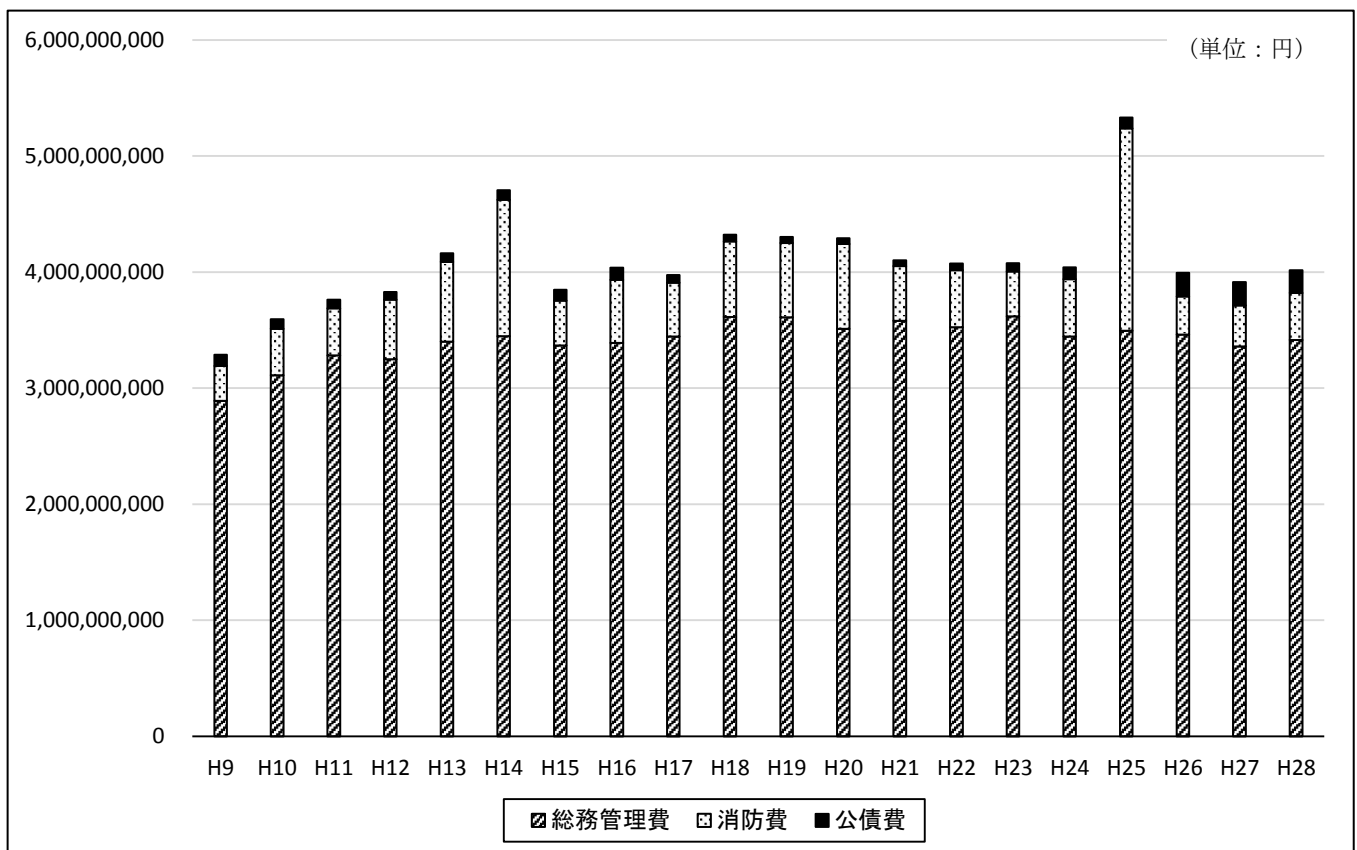


(単位：円)

■収入済額・支出済額推移



■支出済額内訳推移



3 その他

(1) 関係市村消防団の現況

(平成30年4月1日現在)

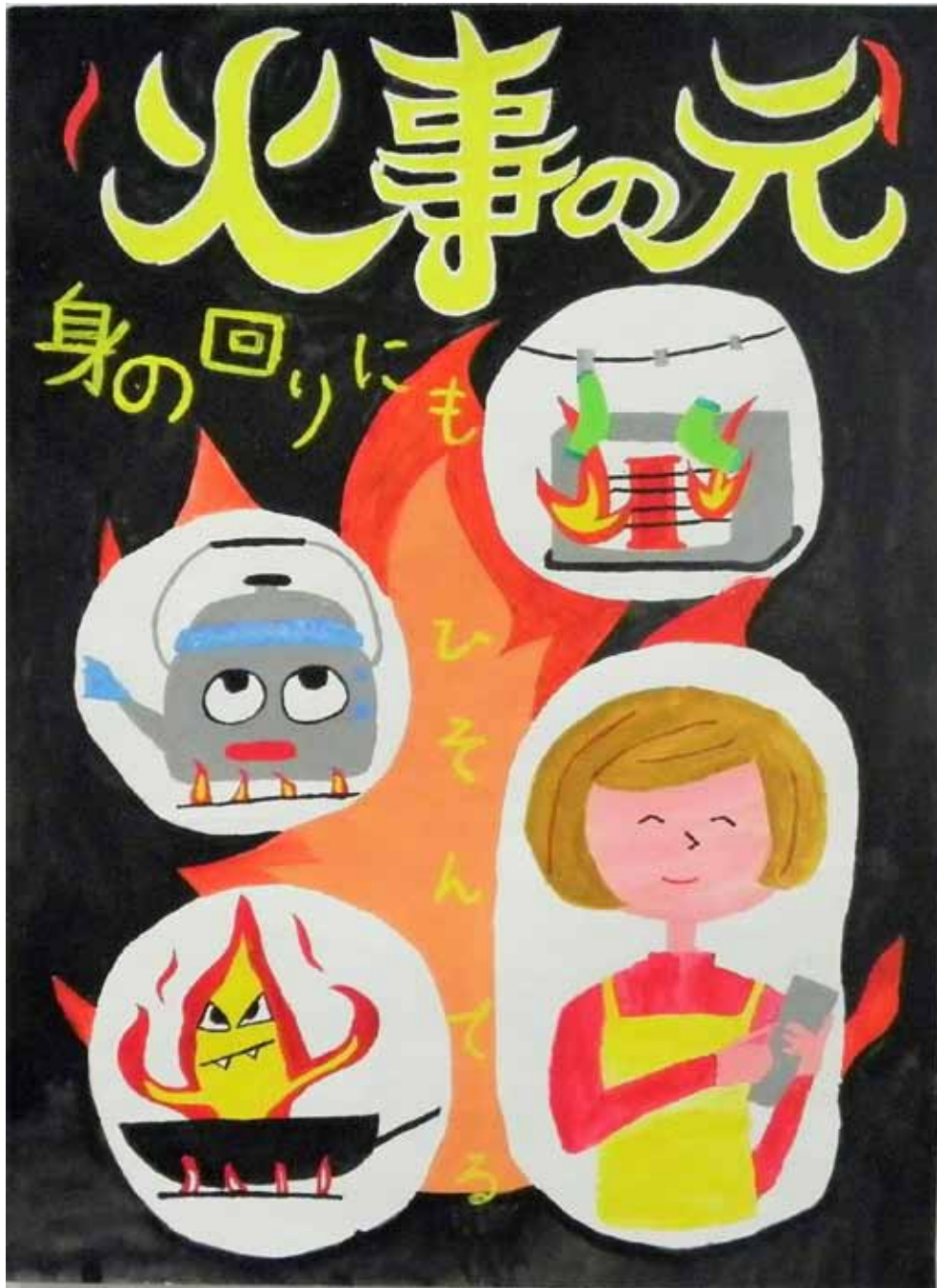
関係市村	組 織							
	本 部 所 在 地	消 防 団 長	団	分団	定員 (人)	実員 (人)		
						総数	男性	女性
松 本 市	松本市丸の内3番7号 松本市危機管理部消防防災課	上 條 博 文	1	39	2,169	2,004	1,922	82
塩 尻 市	塩尻市大門七番町3番3号 塩尻市総務部危機管理課	吉 池 昇 一	1	7	870	870	851	19
安曇野市	安曇野市豊科6000番地 安曇野市総務部危機管理課	二 木 弘	1	16	1,090	923	878	45
麻 績 村	東筑摩郡麻績村麻3837番地 麻績村総務課	塚 原 賢 司	1	4	180	142	129	13
生 坂 村	東筑摩郡生坂村5493番地2 生坂村総務課	寺 島 慶 次	1	3	120	120	114	6
山 形 村	東筑摩郡山形村2030番地1 山形村総務課	堤 博 彦	1	6	183	169	169	-
朝 日 村	東筑摩郡朝日村大字古見1555番地1 朝日村総務課	小 林 弘 之	1	5	170	135	135	-
筑 北 村	東筑摩郡筑北村西条4195番地 筑北村総務課	関 森 伊 織	1	9	250	207	202	5
総 数			8	89	5,032	4,570	4,400	170

※朝日村役場は平成30年5月7日から上記住所にて業務開始

(2) 歴代消防局長

区 分	氏 名	在 任 期 間
初 代	百瀬 文雄	平成5年4月1日 ～ 平成6年3月31日 (1年)
二 代	三沢 敦	平成6年4月1日 ～ 平成8年3月31日 (2年)
三 代	小山 安雄	平成8年4月1日 ～ 平成10年3月31日 (2年)
四 代	小川 博通	平成10年4月1日 ～ 平成12年3月31日 (2年)
五 代	宮澤 孝紀	平成12年4月1日 ～ 平成14年3月31日 (2年)
六 代	藤岡 泰	平成14年4月1日 ～ 平成15年3月31日 (1年)
七 代	中西 康雄	平成15年4月1日 ～ 平成17年3月31日 (2年)
八 代	村上 幸雄	平成17年4月1日 ～ 平成19年3月31日 (2年)
九 代	原 昭佳	平成19年4月1日 ～ 平成21年3月31日 (2年)
十 代	中沼 博史	平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日 (2年)
十一代	角田 啓蔵	平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日 (1年)
十二代	櫻井 貞文	平成24年4月1日 ～ 平成26年3月31日 (2年)
十三代	有賀 俊幸	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日 (1年)
十四代	清水 哲弥	平成27年4月1日 ～ 平成30年3月31日 (3年)
十五代	百瀬 渉	平成30年4月1日 ～ 現在

予 防 編



平成29年度防火ポスター最優秀賞作品

1 火災統計

(1) 概要

平成29年中の火災発生件数は131件と、前年より11件増加していますが、広域発足以来2番目に少ない件数となりました。

火災種別で見ると、建物火災が57件で全体の43.5%を占め、広域発足以来最も少ない件数となりました。また林野火災が5件(3.8%)、車両火災は16件(12.2%)、その他の火災は53件(40.5%)となっています。

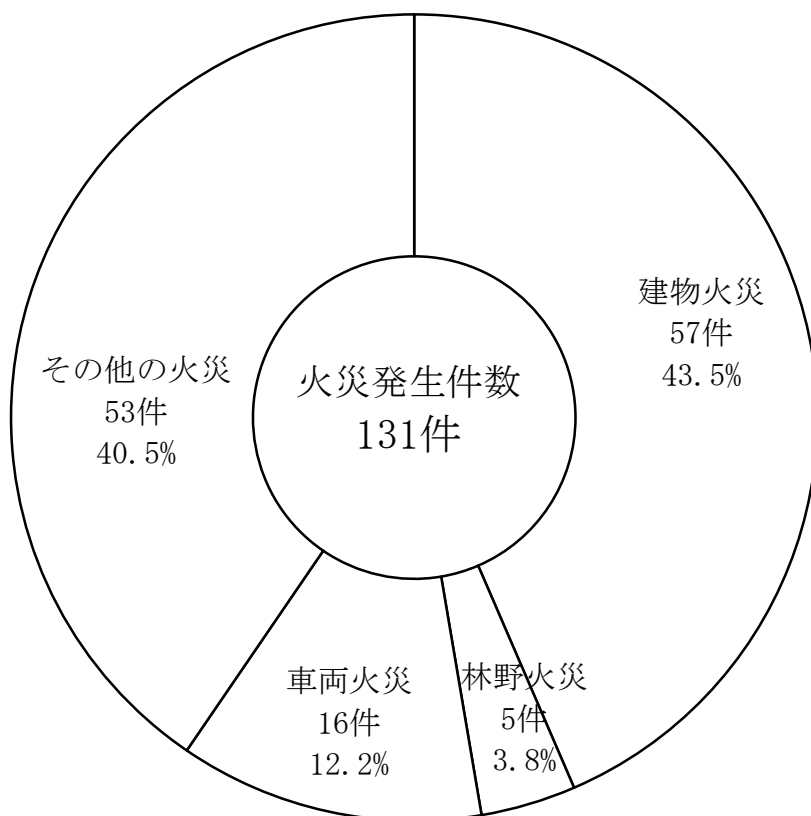
出火原因は、たき火が29件(22.1%)で最も多く、こんろ、ストーブ、放火の疑いが7件(5.3%)、火入れ、配線器具が5件(3.8%)となっています。

死者は7人で前年より2人減少し、負傷者は26人で前年と比べ13人の増加となっています。

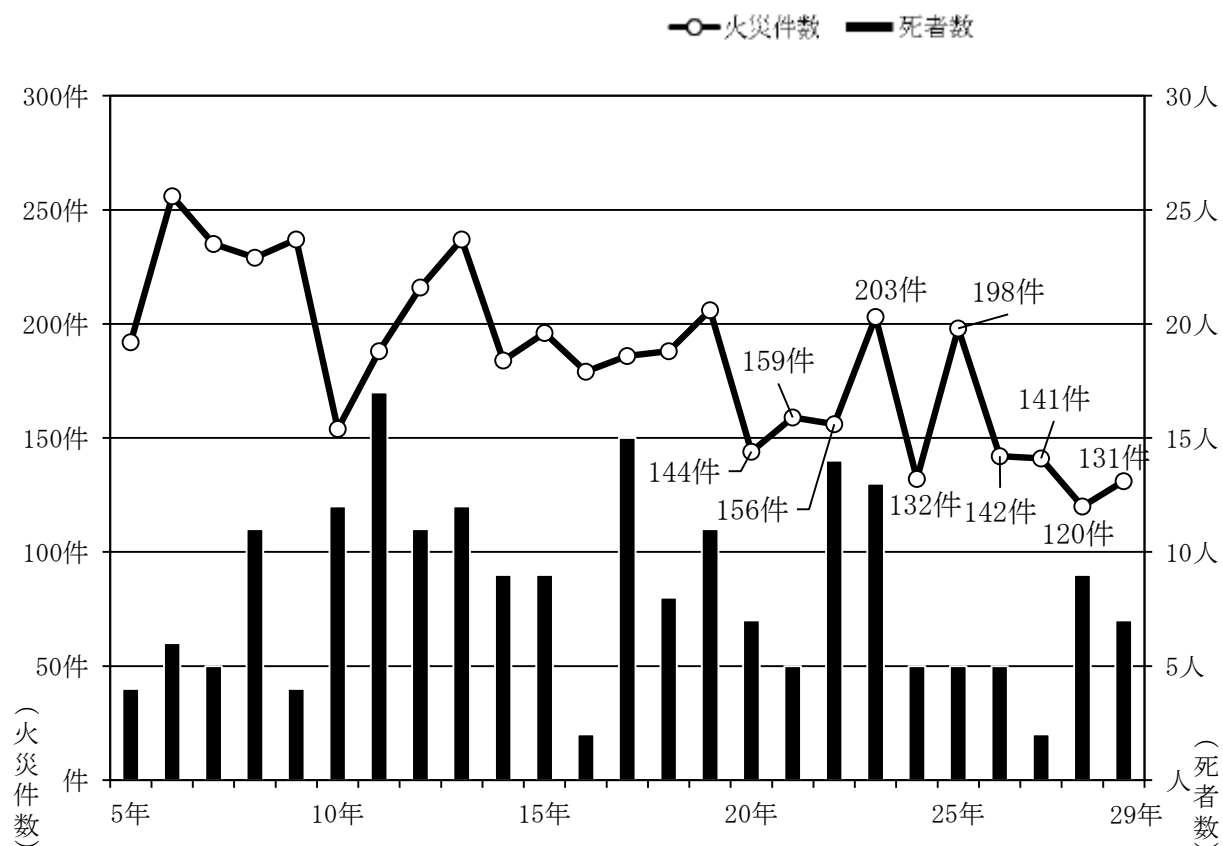
(2) 火災発生状況前年比較

区 分		平成29年	平成28年	比 較
火 災 件 数 (件)		131	120	11
火 災 種 別	建 物 火 災	57	64	△ 7
	林 野 火 災	5	—	5
	車 両 火 災	16	9	7
	そ の 他 の 火 災	53	47	6
焼 損 棟 数 (棟)		80	93	△ 13
焼 損 程 度	全 焼	28	26	2
	半 焼	3	5	△ 2
	部 分 焼	25	35	△ 10
	ぼ や	24	27	△ 3
焼 損 面 積	焼 損 床 面 積 (㎡)	2,764	7,568	△ 4,804
	焼 損 表 面 積 (㎡)	202	198	4
	林野焼損面積 (a)	108	—	108
死 者 (人)		7	9	△ 2
負 傷 者 (人)		26	13	13
り 災 世 帯 数 (世 帯)		46	47	△ 1
り 災 人 員 (人)		113	113	0
損 害 額 (千 円)		134,780	2,572,924	△ 2,438,144
火 災 種 別	建 物 火 災	110,636	2,560,970	△ 2,450,334
	林 野 火 災	—	—	—
	車 両 火 災	23,163	7,655	15,508
	そ の 他 の 火 災	981	4,299	△ 3,318

■平成29年火災種別の比率



■火災件数と死者数の推移



(3) 市村別火災発生状況

区 分 市 村	火 災 件 数					死傷者		建物火災			
	総 数	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	死 者	負 傷 者	焼損程度（棟）			
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や
松本市	67	25	3	8	31	5	6	15	1	13	10
塩尻市	30	13	—	5	12	—	11	3	1	4	5
安曇野市	20	11	—	1	8	2	4	7	1	6	6
麻績村	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
生坂村	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
山形村	3	2	1	—	—	—	1	—	—	1	1
朝日村	2	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1
筑北村	7	3	1	2	1	—	4	1	—	1	1
総 数	131	57	5	16	53	7	26	28	3	25	24

(4) 消防署・出張所別火災発生状況

区 分 消防署	火 災 件 数					死傷者		建物火災			
	総 数	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	死 者	負 傷 者	焼損程度（棟）			
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や
丸の内消防署	3	1	—	—	2	1	—	1	—	—	—
庄内出張所	3	2	—	—	1	—	—	—	—	2	—
芳川消防署	8	7	—	—	1	1	2	3	—	3	5
神林出張所	7	2	—	1	4	—	2	2	—	—	2
渚消防署	16	7	—	2	7	—	—	8	—	6	—
本郷消防署	10	3	—	3	4	—	—	1	—	2	1
山辺出張所	7	1	—	2	4	1	1	—	1	—	—
塩尻消防署	23	12	—	3	8	—	11	3	1	4	4
広丘消防署	5	1	—	—	4	—	—	—	—	—	1
豊科消防署	11	5	—	—	6	1	2	4	—	2	6
梓川消防署	9	3	1	—	5	2	—	—	—	1	2
安曇出張所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
穂高消防署	7	5	—	1	1	1	2	3	1	3	—
麻績消防署	8	3	1	2	2	—	4	1	—	1	1
明科消防署	4	1	2	—	1	—	—	1	—	—	—
山形消防署	8	4	1	—	3	—	2	1	—	1	2
※委託区域分	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
総 数	131	57	5	16	53	7	26	28	3	25	24

(単位：人、㎡、a、千円)

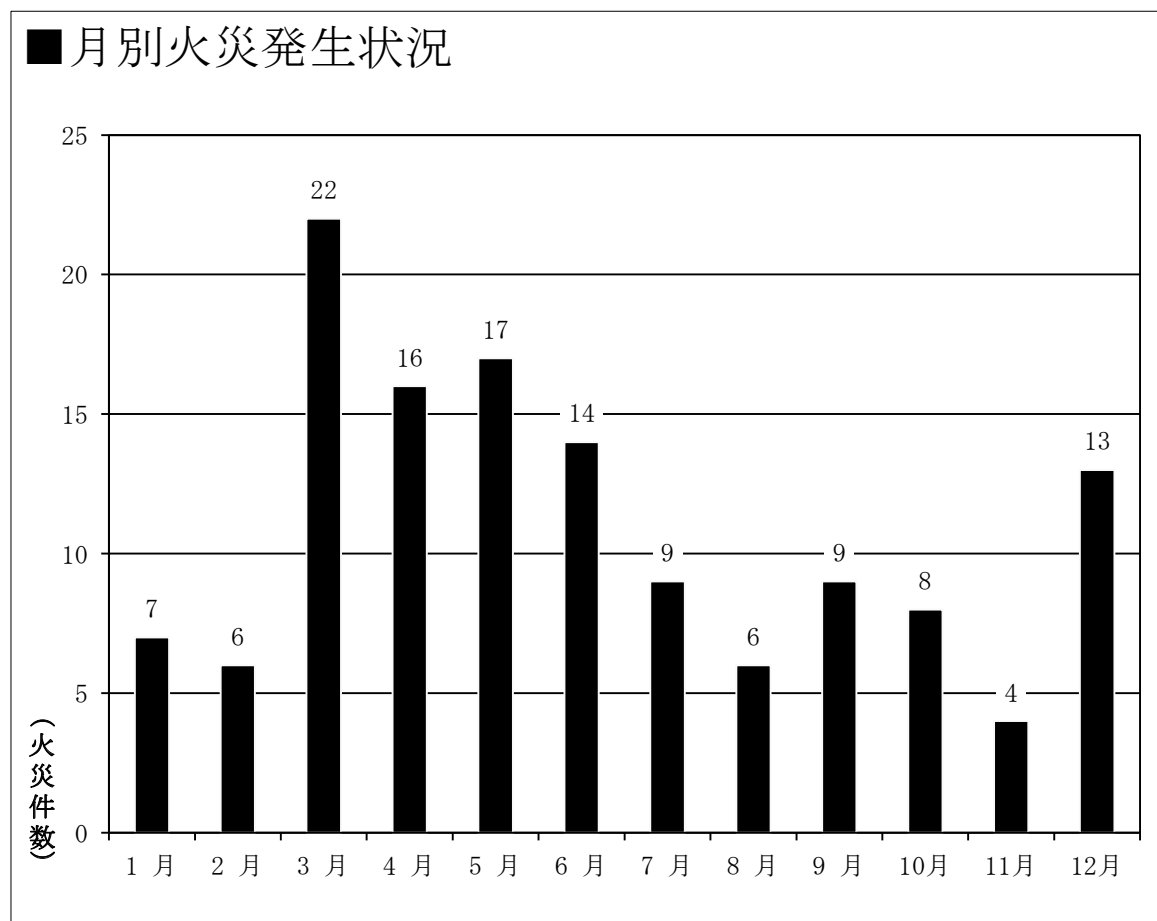
				林 野 焼 損 面 積	損 害 額					
り 災 世 帯	り 災 人 員	焼損面積			総 額	建 物		林 野	車 両	そ の 他
		床 面 積	表 面 積			建 物	収 容 物			
19	44	1,142	43	102	45,714	35,400	7,602	—	2,159	553
10	25	360	71	—	29,732	7,967	1,953	—	19,782	30
13	32	636	88	—	37,484	29,839	6,370	—	877	398
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	26	—	—	118	118	—	—	—	—
1	2	25	—	3	660	622	38	—	—	—
—	—	549	—	—	19,990	5,568	14,422	—	—	—
3	10	26	—	3	1,082	619	118	—	345	—
46	113	2,764	202	108	134,780	80,133	30,503	—	23,163	981

(単位：人、㎡、a、千円)

				林 野 焼 損 面 積	損 害 額					
り 災 世 帯	り 災 人 員	焼損面積			総 額	建 物		林 野	車 両	そ の 他
		床 面 積	表 面 積			建 物	収 容 物			
1	1	64	—	—	1,025	973	51	—	—	1
—	—	33	1	—	5,032	4,791	241	—	—	—
4	7	219	11	—	3,862	957	2,905	—	—	—
3	9	341	5	—	7,517	4,379	2,778	—	350	10
4	10	387	23	—	19,472	18,043	1,177	—	7	245
3	7	63	3	—	5,261	3,297	380	—	1,584	—
2	6	35	—	—	3,275	2,960	69	—	218	28
10	25	360	71	—	10,030	7,967	1,948	—	92	23
—	—	—	—	—	12	—	5	—	—	7
9	25	437	75	—	25,817	19,678	5,771	—	—	368
3	5	2	—	3	353	82	3	—	—	268
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	6	197	13	—	11,553	10,079	597	—	877	—
3	10	26	—	3	1,082	619	118	—	345	—
—	—	26	—	99	148	118	—	—	—	30
1	2	574	—	3	20,651	6,190	14,460	—	—	1
—	—	—	—	—	19,690	—	—	—	19,690	—
46	113	2,764	202	108	134,780	80,133	30,503	—	23,163	981

(5) 月別火災発生状況

区分 月	火災件数					死傷者		建物火災			
	総 数	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	死 者	負 傷 者	焼損程度（棟）			
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や
1 月	7	3	—	1	3	1	—	—	—	2	1
2 月	6	1	1	—	4	1	—	—	—	—	1
3 月	22	11	—	1	10	1	10	6	1	5	2
4 月	16	7	—	2	7	1	2	2	—	4	1
5 月	17	9	2	1	5	1	2	6	1	3	3
6 月	14	2	—	2	10	—	3	2	—	—	—
7 月	9	3	—	3	3	1	—	—	—	1	2
8 月	6	5	—	—	1	—	1	3	—	—	5
9 月	9	6	—	1	2	—	2	1	1	2	2
10月	8	3	—	2	3	—	1	—	—	1	2
11月	4	3	—	1	—	1	1	3	—	2	5
12月	13	4	2	2	5	—	4	5	—	5	—
総 数	131	57	5	16	53	7	26	28	3	25	24

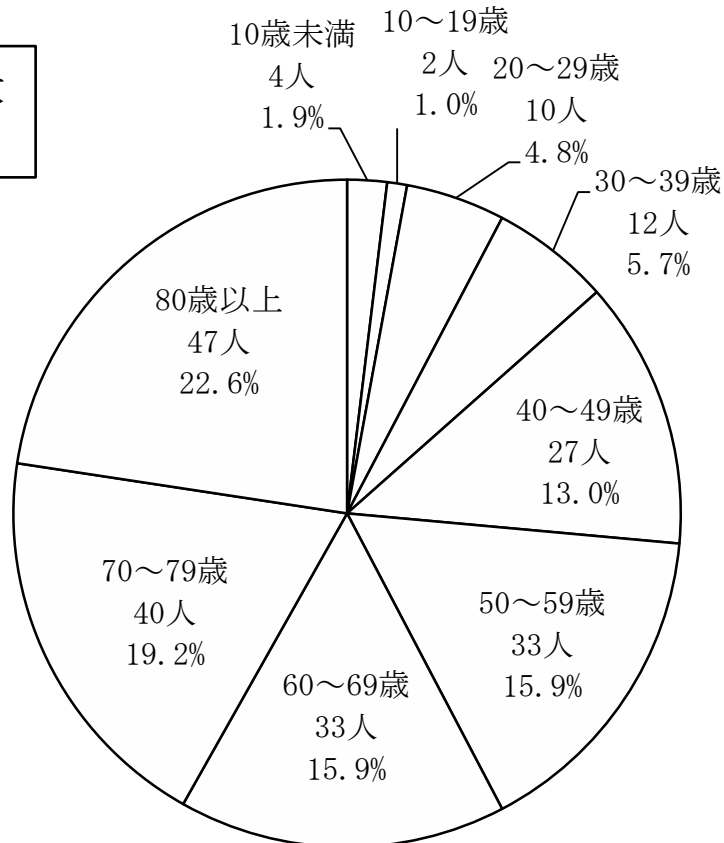


(単位：人、㎡、a、千円)

				林 野 焼 損 面 積	損 害 額					
り 災 世 帯	り 災 人 員	焼損面積			総 額	建 物		林 野	車 両	そ の 他
		床 面 積	表 面 積			建 物	収 容 物			
1	1	50	—	—	23,470	3,154	604	—	19,690	22
—	—	—	—	3	33	—	5	—	—	28
11	26	815	69	—	27,836	11,923	15,538	—	280	95
5	11	97	11	—	2,477	1,586	441	—	104	346
4	9	538	10	99	17,614	13,589	4,025	—	—	—
—	—	126	—	—	1,516	865	13	—	630	8
2	3	—	9	—	1,536	14	177	—	1,077	268
5	14	399	8	—	10,724	7,651	3,063	—	—	10
5	12	136	6	—	5,884	5,128	756	—	—	—
4	9	5	7	—	983	870	18	—	71	24
6	17	317	70	—	22,257	16,796	5,454	—	7	—
3	11	281	12	6	20,450	18,557	409	—	1,304	180
46	113	2,764	202	108	134,780	80,133	30,503	—	23,163	981

■年齢別死者の状況（平成5年～平成29年）

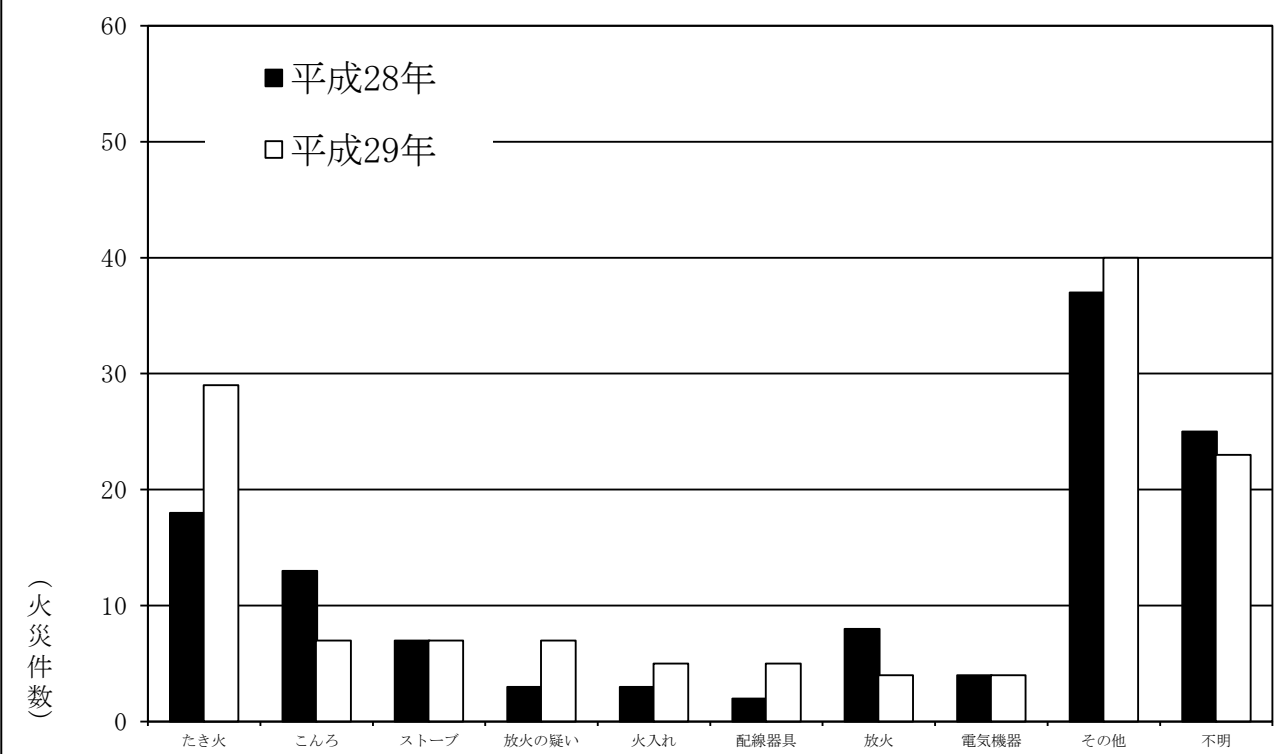
累計死者数
208人



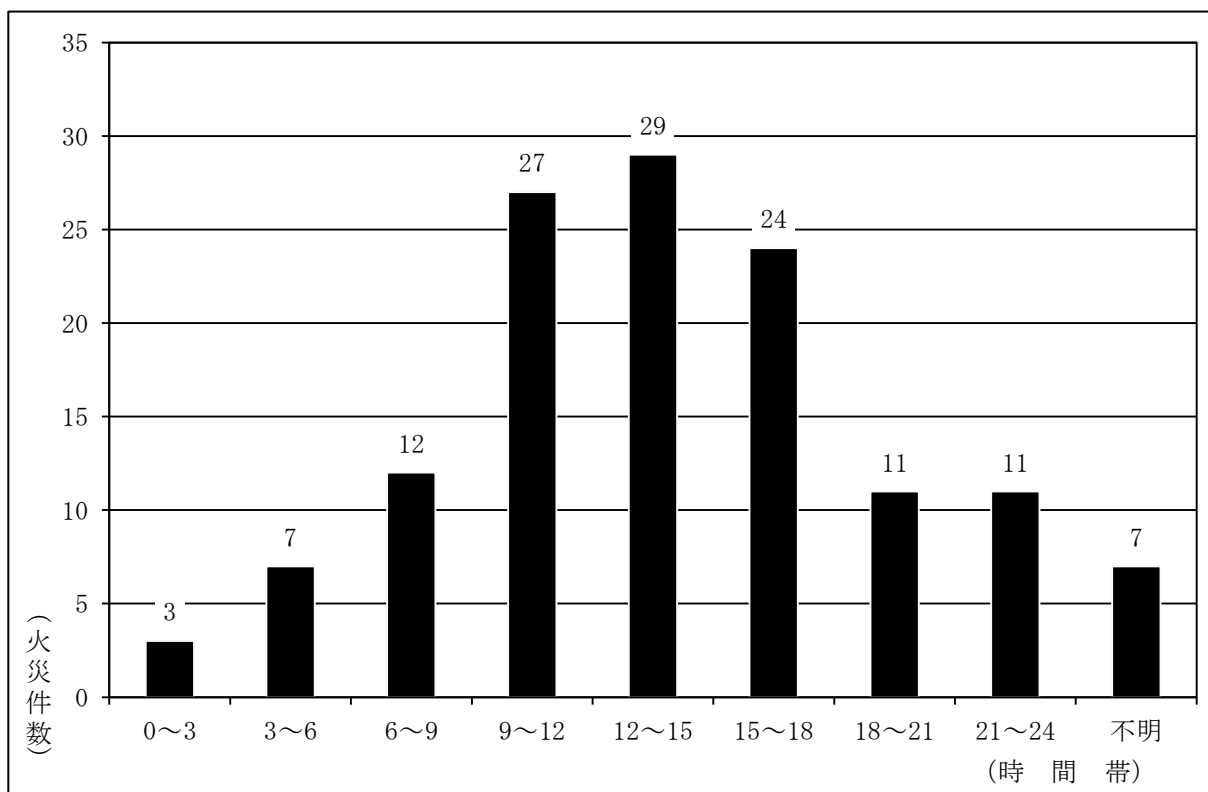
(6) 出火原因別火災発生状況

順位	長野県				順位	松本広域消防局				
	平成29年		平成28年			平成29年		平成28年		
	原因	件数	原因	件数		原因	件数	原因	件数	
1位	たき火	143	たき火	123	1位	たき火	29	たき火	18	
2位	火入れ	68	こんろ	42	2位	こんろ	7	こんろ	13	
3位	放火の疑い	42	火入れ	40	2位	ストーブ	7	放火	8	
4位	ストーブ	40	たばこ	38	2位	放火の疑い	7	ストーブ	7	
5位	たばこ	39	放火	37	5位	火入れ	5	たばこ	5	
5位	こんろ	39	ストーブ	28	5位	配線器具	5	電気機器	4	
7位	電灯電話等の配線	23	放火の疑い	28	7位	放火	4	排気管	3	
7位	放火	20	マッチ・ライター	25	7位	電気機器	4	取灰	3	
9位	取灰	20	電灯電話等の配線	24				火入れ	3	
10位	マッチ・ライター	19	取灰	22				放火の疑い	3	
	その他	255	その他	249		その他	40	その他	28	
	不明・調査中	135	不明・調査中	130		不明・調査中	23	不明・調査中	25	
総数		843	総数	786	総数		131	総数	120	

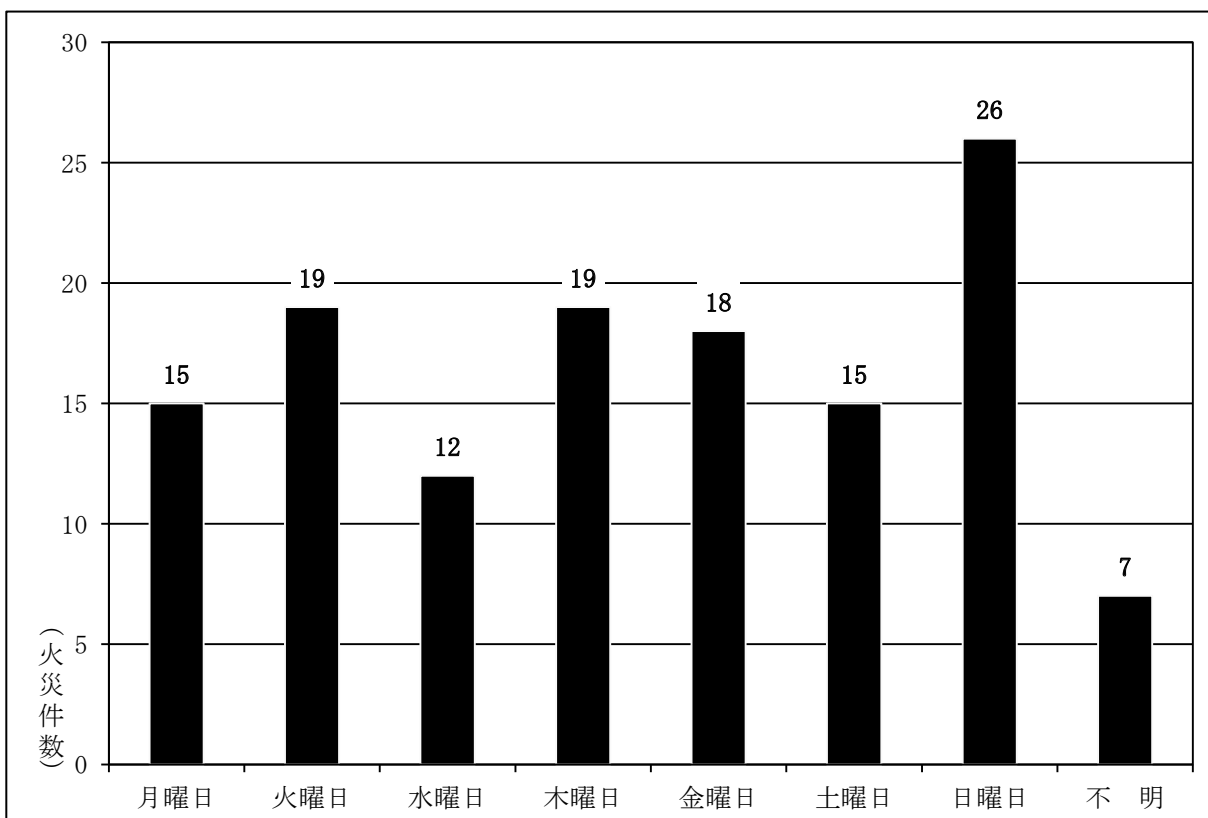
■ 主な出火原因前年比較



(7) 時間帯別火災発生状況



(8) 曜日別火災発生状況



2 防火対象物

(平成30年4月 1 日現在)

(1) 市村別防火対象物の概要

(単位：件)

市 村 用 途			松 本 市	塩 尻 市	安 曇 野 市	麻 績 村	生 坂 村	山 形 村	朝 日 村	筑 北 村	総 数
1 項	イ	劇 場 等	9	2	2	—	—	—	—	—	13
	ロ	集 会 場	287	67	106	10	3	8	15	16	512
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等	4	—	1	—	—	—	—	—	5
	ロ	遊 戯 場 等	17	8	11	—	—	—	—	—	36
	ハ	風 俗 店 等	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	ニ	カ ラ オ ケ 店 等	8	—	3	—	—	—	—	—	11
3 項	イ	料 理 店 等	2	—	4	—	—	—	—	—	6
	ロ	飲 食 店 等	252	72	81	1	—	3	2	2	413
4 項		百 貨 店 等	379	112	147	3	—	13	3	5	662
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	278	21	124	1	3	1	2	2	432
	ロ	共 同 住 宅 等	2,901	654	494	2	—	14	1	1	4,067
6 項	イ	病 院 等	173	35	68	1	—	3	—	—	280
	ロ	特別養護老人ホーム等	107	17	42	2	—	5	3	—	176
	ハ	デイサービスセンター等	146	32	88	5	8	5	6	7	297
	ニ	幼 稚 園 等	23	2	1	—	—	—	—	—	26
7 項		学 校 等	93	20	23	1	2	1	2	3	145
8 項		図 書 館 等	22	4	10	1	—	1	1	2	41
9 項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公 衆 浴 場 等	14	1	2	—	—	—	—	—	17
10 項		停 車 場 等	5	2	—	—	—	—	—	—	7
11 項		神 社 ・ 寺 院 等	101	21	33	1	—	3	1	3	163
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場	686	259	392	16	8	36	17	19	1,433
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ	1	—	—	—	—	—	—	—	1
13 項	イ	自 動 車 車 庫	25	3	7	—	1	1	1	—	38
	ロ	飛 行 機 等 格 納 庫	4	—	—	—	—	—	—	—	4
14 項		倉 庫	454	117	97	2	2	19	10	3	704
15 項		そ の 他 の 事 業 所	896	171	193	18	9	22	15	18	1,342
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	725	110	142	7	5	8	1	10	1,008
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)	330	67	66	2	1	7	3	2	478
16 の 2 項		地 下 街	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16 の 3 項		準 地 下 街	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17 項		文 化 財 建 造 物 等	21	8	2	3	—	—	1	10	45
18 項		ア ー ケ ー ド	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数			7,964	1,805	2,139	76	42	150	84	103	12,363

(平成30年4月1日現在)

(2) 消防署・出張所別防火対象物の概要

(単位：件)

消防署 用 途			丸 の内 消 防 署	庄 内 出 張 所	芳 川 消 防 署	神 林 出 張 所	渚 消 防 署	本 郷 消 防 署	山 辺 出 張 所	塩 尻 消 防 署	広 丘 消 防 署	豊 科 消 防 署	梓 川 消 防 署	安 曇 出 張 所	穂 高 消 防 署	麻 績 消 防 署	明 科 消 防 署	山 形 消 防 署	総 数
1 項	イ	劇 場 等	1	—	—	2	1	3	—	2	—	1	—	—	1	—	1	1	13
	ロ	集 会 場	21	13	44	40	67	20	24	52	15	39	36	13	39	26	22	41	512
2 項	イ	キャバレー等	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	5
	ロ	遊 戯 場 等	1	1	4	4	5	—	1	5	3	7	1	—	3	—	—	1	36
	ハ	風 俗 店 等	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	ニ	カラオケ店等	2	1	1	1	3	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	11
3 項	イ	料 理 店 等	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—	—	6
	ロ	飲 食 店 等	90	21	41	7	52	11	3	44	28	44	14	15	28	3	3	9	413
4 項		百 貨 店 等	61	53	77	21	93	11	16	69	43	72	36	3	57	8	9	33	662
5 項	イ	旅館・ホテル等	24	3	10	—	7	33	22	13	8	13	3	173	107	3	7	6	432
	ロ	共 同 住 宅 等	413	309	528	148	657	411	328	322	332	278	86	13	146	3	15	78	4,067
6 項	イ	病 院 等	34	18	28	10	48	10	10	22	13	29	14	4	26	1	5	8	280
	ロ	特別養護老人ホーム等	8	7	16	8	24	10	11	13	4	19	14	1	12	2	9	18	176
	ハ	デイサービスセンター等	10	11	27	15	33	8	9	21	11	31	28	6	30	12	24	21	297
	ニ	幼 稚 園 等	6	1	6	2	3	3	1	2	—	—	—	—	1	—	—	1	26
7 項		学 校 等	19	10	11	5	22	7	9	13	7	9	5	3	7	4	8	6	145
8 項		図 書 館 等	5	—	2	1	4	—	1	4	—	4	3	5	5	3	1	3	41
9 項	イ	蒸気・熱気浴場等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公 衆 浴 場 等	6	—	1	—	2	2	1	1	—	1	—	1	1	—	—	1	17
10 項		停 車 場 等	1	—	1	1	—	—	—	1	1	—	—	2	—	—	—	—	7
11 項		神 社 ・ 寺 院 等	27	8	11	9	19	9	5	17	4	8	10	1	14	4	10	7	163
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場	33	37	146	168	173	14	21	169	90	155	82	10	144	35	60	96	1,433
	ロ	テレビスタジオ	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
13 項	イ	自 動 車 車 庫	9	3	3	1	6	1	1	2	1	3	—	1	4	—	1	2	38
	ロ	飛行機等格納庫	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
14 項		倉 庫	36	19	99	114	123	9	15	71	46	38	28	2	35	5	21	43	704
15 項		その他の事業所	137	82	118	79	318	23	28	104	67	75	64	26	72	36	44	69	1,342
16 項	イ	複合用途（特定）	319	56	87	26	107	44	23	80	30	56	18	27	64	17	25	29	1,008
	ロ	複合用途（非特定）	85	38	55	17	78	24	16	40	27	32	5	5	25	4	10	17	478
16の2項		地 下 街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16の3項		準 地 下 街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17 項		文化財建造物等	6	5	3	1	1	—	2	6	2	—	1	—	2	13	1	2	45
18 項		ア ー ケ ード	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数			1,361	696	1,319	683	1,847	653	548	1,073	732	920	448	311	825	179	276	492	12,363

(平成29年度)

(3) 消防同意件数及び査察実施状況

(単位：件)

用 途			同 意 区 分					防 火 対 象 物 総 数	査 察 実 施 数
			受 付 件 数	新 築	増 築	改 築	そ の 他		
1 項	イ	劇 場 等	—	—	—	—	—	13	8
	ロ	集 会 場 等	2	1	1	—	—	512	95
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等	—	—	—	—	—	5	—
	ロ	遊 戯 場 等	—	—	—	—	—	36	15
	ハ	風 俗 店 等	—	—	—	—	—	1	1
	ニ	カ ラ オ ケ 店 等	—	—	—	—	—	11	7
3 項	イ	料 理 店 等	—	1	—	—	—	6	3
	ロ	飲 食 店 等	11	8	—	—	3	413	130
4 項		百 貨 店 等	20	19	1	—	—	662	275
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	—	1	—	—	1	432	270
	ロ	共 同 住 宅 等	89	88	—	—	1	4,067	653
6 項	イ	病 院 等	24	10	12	2	—	280	67
	ロ	特別養護老人ホーム等	21	19	1	—	1	176	112
	ハ	デイサービスセンター等	19	15	2	—	2	297	153
	ニ	幼 稚 園 等	2	1	1	—	—	26	11
7 項		学 校 等	25	23	2	—	—	145	188
8 項		図 書 館 等	2	1	1	—	—	41	21
9 項	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公 衆 浴 場 等	1	1	—	—	—	17	3
10 項		停 車 場 等	—	—	—	—	—	7	—
11 項		神 社 ・ 寺 院 等	5	2	3	—	—	163	72
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場	41	31	8	—	2	1,433	486
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ	—	—	—	—	—	1	—
13 項	イ	自 動 車 車 庫	15	14	1	—	—	38	53
	ロ	飛 行 機 等 格 納 庫	—	—	—	—	—	4	—
14 項		倉 庫	15	55	2	1	1	704	365
15 項		そ の 他 の 事 業 所	87	80	4	2	1	1,342	521
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	12	12	—	—	—	1,008	331
	ロ	複 合 用 途 (非 特 定)	5	5	—	—	—	478	114
16の2項		地 下 街	—	—	—	—	—	—	—
16の3項		準 地 下 街	—	—	—	—	—	—	—
17 項		文 化 財 建 造 物 等	—	—	—	—	—	45	62
18 項		ア ー ケ ー ド	—	—	—	—	—	—	—
一 般 住 宅 等 (建 築 設 備 含 む)			71	71	—	—	—	—	—
総 数			514	458	39	5	12	12,363	4,016

(平成29年度)

(4) 各種届出状況

(単位：件)

届出種別	消防法関係	火災予防条例関係	備考
消防計画作成(変更)届	1,326	—	
防火管理者選任(解任)届	990	—	
消防用設備等着工届	593	—	
消防用設備等設置届	1,024	—	
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱届	201	—	
防火責任者選任(解任)届	—	537	
防火対象物使用開始届	—	402	
炉・かまど・ボイラー等設置届	—	61	
発電・変電・蓄電池設備設置届	—	147	
ネオン管灯設備設置届	—	—	
水素ガスを充填する気球の届	—	—	
火災とまぎらわしい煙等届	—	2,456	
煙火打ち上げ・仕掛け届	—	197	
催物開催届	—	66	
指定洞道等届(新規・変更)	—	—	
少量危険物・指定可燃物届	—	153	
総数	4,134	4,019	

(5) 防火管理者資格取得講習受講状況

■ 新規講習(甲種)

実施日	修了者数(人)	講習会場	主催	備考
6月22日・23日	78	松本市	松本市防火管理協会	
7月13日・14日	91	安曇野市	安曇野市防火管理者協議会	
8月17日・18日	56	塩尻市	塩尻市防火管理協会	
9月14日・15日	62	安曇野市	安曇野市防火管理者協議会	
10月19日・20日	66	松本市	東筑摩郡防火管理協会	
11月16日・17日	46	塩尻市	塩尻市防火管理協会	
12月7日・8日	64	松本市	松本市防火管理協会	
2月15日・16日	65	松本市	松本市防火管理協会	
総数	528			

■ 新規講習(乙種)

実施日	修了者数(人)	講習会場	主催	備考
7月26日	22	松本市	松本広域防火管理連合会	

■ 再講習

実施日	修了者数(人)	講習会場	主催	備考
10月18日	60	松本市	松本広域防火管理連合会	

3 危険物施設

(1) 危険物施設の概要

(平成30年4月1日現在)

■市村別

(単位：件)

区 分 市 村	製 造 所	貯蔵所							取扱所					総 数
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	給 油 (自家用) 取扱所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
松 本 市	1	73	89	26	311	-	196	11	91	58	1	3	121	981
塩 尻 市	1	34	27	-	97	-	64	2	24	19	-	-	28	296
安 曇 野 市	2	37	40	4	154	-	94	4	38	23	-	-	64	460
麻 績 村	-	-	1	-	11	-	1	-	1	1	-	-	1	16
生 坂 村	-	-	3	-	1	-	3	-	3	2	-	-	5	17
山 形 村	-	2	1	-	13	-	69	-	3	7	-	-	2	97
朝 日 村	-	3	1	1	8	-	4	4	1	3	-	-	4	29
筑 北 村	-	4	2	-	9	-	9	-	3	-	-	-	5	32
総 数	4	153	164	31	604	-	440	21	164	113	1	3	230	1,928

■消防署・出張所別

(単位：件)

丸の内消防署	-	4	-	10	24	-	17	-	7	-	-	-	17	79
庄内出張所	-	10	2	-	13	-	6	-	9	3	-	-	9	52
芳川消防署	-	10	33	1	34	-	42	5	10	9	-	-	23	167
神林出張所	-	23	10	1	31	-	36	3	10	19	-	1	7	141
渚消防署	-	21	11	6	82	-	46	3	27	18	1	-	26	241
本郷消防署	-	-	-	-	28	-	4	-	3	1	-	-	6	42
山辺出張所	-	-	2	2	17	-	10	-	7	1	-	2	7	48
塩尻消防署	1	21	19	-	65	-	24	1	16	11	-	-	15	173
広丘消防署	-	13	8	-	32	-	40	1	8	8	-	-	13	123
豊科消防署	-	18	18	1	70	-	48	2	16	6	-	-	31	210
梓川消防署	2	6	11	2	34	-	28	-	12	2	-	-	14	111
安曇出張所	-	1	23	5	46	-	10	-	4	1	-	-	9	99
穂高消防署	1	16	16	1	56	-	21	2	12	8	-	-	23	156
麻績消防署	-	4	3	-	20	-	10	-	4	1	-	-	6	48
明科消防署	-	1	6	1	19	-	13	-	10	10	-	-	11	71
山形消防署	-	5	2	1	33	-	85	4	9	15	-	-	13	167
総 数	4	153	164	31	604	-	440	21	164	113	1	3	230	1,928

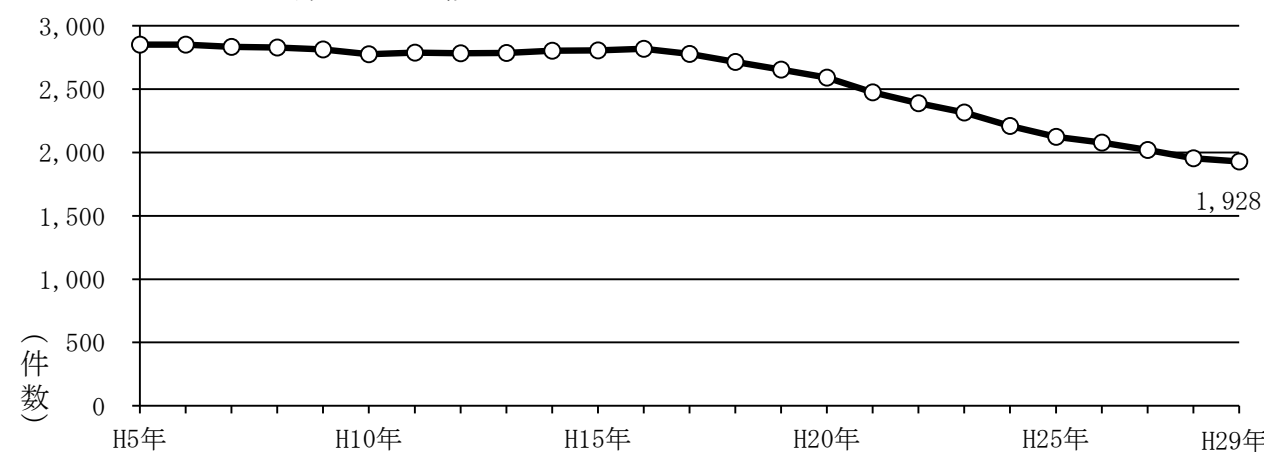
(平成29年度)

(2) 許可・完成検査等の状況

(単位：件)

区 分	製 造 所	貯蔵所							取扱所					そ の 他	総 数
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	給 油 (自 家 用) 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
設 置 許 可	-	5	-	-	2	-	18	2	1	1	-	-	3	-	32
変 更 許 可	-	-	1	1	6	-	2	-	26	12	-	-	10	-	58
完 成 検 査 (設 置)	-	5	-	-	3	-	18	2	1	1	-	-	3	-	33
完 成 検 査 (変 更)	-	-	1	1	6	-	2	-	26	12	-	-	10	-	58
仮 使 用	-	-	-	-	2	-	-	-	26	5	-	-	4	-	37
水 圧 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	6
水 張 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
品 数 名 量 変 更	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4
譲 渡 引	-	2	2	-	8	-	6	-	-	1	-	-	1	-	20
廃 止	-	2	9	2	20	-	25	3	3	3	-	-	8	-	75
保 安 監 督 者 選 解 任	-	15	9	-	17	-	-	1	44	11	-	-	16	-	113
査 察 実 施 数	3	68	110	15	312	-	336	5	113	83	-	2	129	-	1176
総 数	3	99	132	19	376	-	408	13	245	130	0	2	185	3	1,615

■ 危険物施設数の推移



警 防 編



芳川消防署神林出張所 化学消防ポンプ自動車

1 救急統計

(1) 概要

平成29年の救急出動件数は17,835件、搬送人員は16,948人で、前年より出動件数が447件（2.6%）、搬送人員が352人（2.1%）増加しています。

これは、1日平均49件（29分に1回）の割合で救急隊が出動し、管轄地域住民の25人に1人の割合で病院に搬送されたことになります。

事故種別で見ると、急病が11,745件（65.9%）と最も多く、次いで一般負傷が2,480件（13.9%）、転院搬送が1,596件（8.9%）となっています。

(2) 救急出動状況 (単位：件)

区 分	事故種別												総 数
	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
救急出動件数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835
搬 送 人 員	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,590	8	16,948

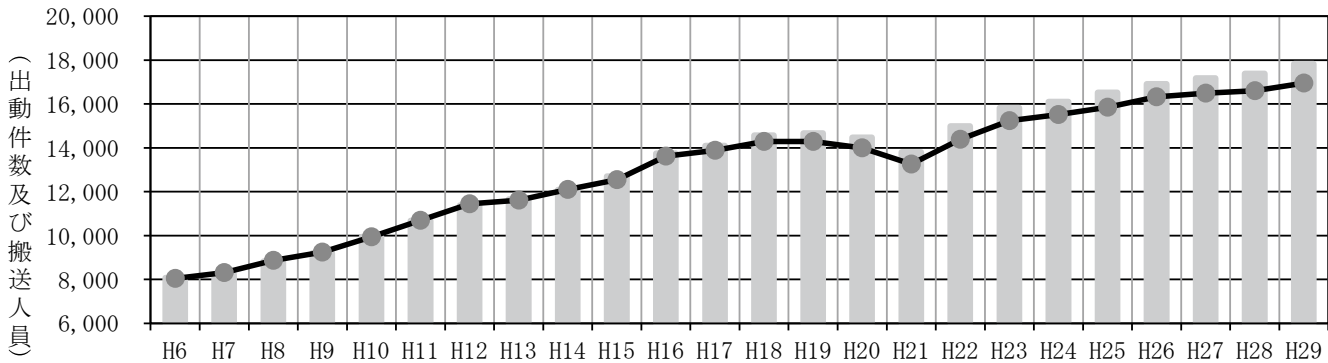
■ 救急出動件数 前年比 (単位：件)

平成29年	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835
平成28年	73	2	9	1,426	121	126	2,589	41	156	11,163	1,602	80	17,388
比 較	2	△ 2	△ 4	44	△ 13	△ 47	△ 109	15	△ 13	582	△ 6	△ 2	447

■ 搬送人員総数 前年比 (単位：件)

平成29年	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,590	8	16,948
平成28年	13	—	4	1,544	113	124	2,467	36	115	10,562	1,596	22	16,596
比 較	8	—	0	54	△ 6	△ 43	△ 107	13	△ 22	475	△ 6	△ 14	352

■ 救急出動件数の推移 救急出動件数 搬送人員

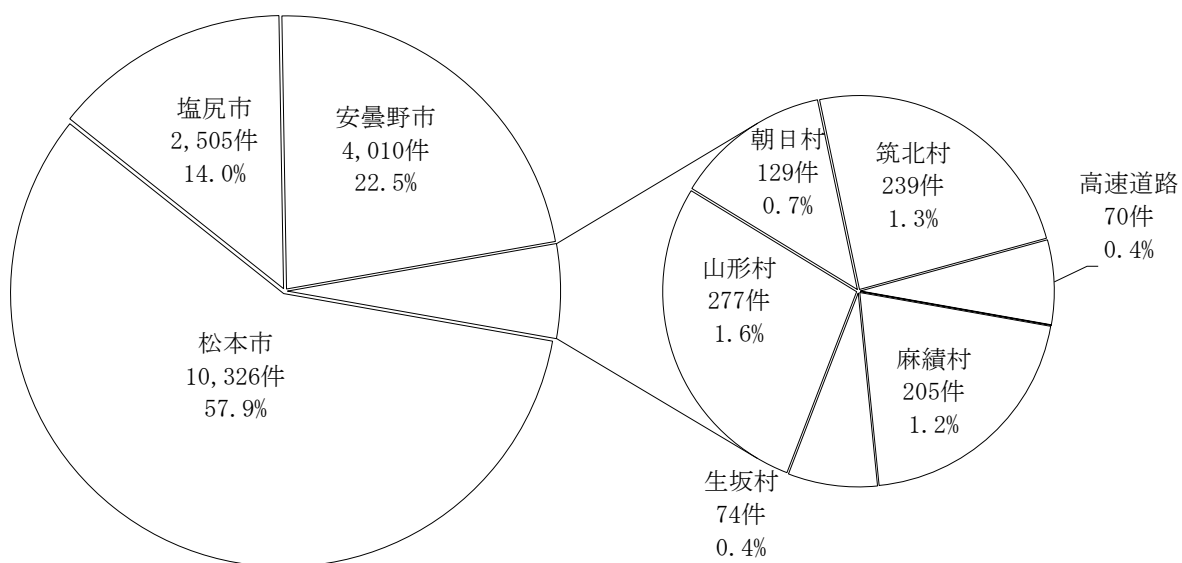


(3) 市村別救急出動状況

(単位：件)

区 分		事故種別												総 数
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
松 本 市	出動件数	34	—	2	881	51	55	1,438	42	79	6,750	941	53	10,326
	搬送人員	5	—	1	946	50	57	1,366	36	51	6,325	939	3	9,779
塩 尻 市	出動件数	14	—	—	196	17	7	343	8	31	1,649	235	5	2,505
	搬送人員	9	—	—	209	17	7	330	7	20	1,560	233	2	2,394
安曇野市	出動件数	16	—	2	312	32	11	560	4	27	2,692	338	16	4,010
	搬送人員	2	—	2	350	32	11	528	4	17	2,527	337	3	3,813
麻 績 村	出動件数	1	—	—	5	2	—	31	—	—	157	9	—	205
	搬送人員	1	—	—	6	2	—	31	—	—	152	9	—	201
生 坂 村	出動件数	—	—	—	6	1	1	13	1	—	52	—	—	74
	搬送人員	—	—	—	8	1	1	14	1	—	51	—	—	76
山 形 村	出動件数	2	—	1	12	3	2	44	—	1	190	22	—	277
	搬送人員	1	—	1	14	3	2	42	—	1	179	22	—	265
朝 日 村	出動件数	1	—	—	6	—	—	20	—	2	96	4	—	129
	搬送人員	—	—	—	6	—	—	20	—	1	88	4	—	119
筑 北 村	出動件数	4	—	—	9	2	3	25	1	2	144	47	2	239
	搬送人員	3	—	—	13	2	3	23	1	2	140	46	—	233
高速道路	出動件数	3	—	—	43	—	—	6	—	1	15	—	2	70
	搬送人員	—	—	—	46	—	—	6	—	1	15	—	—	68
管 外	出動件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	搬送人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数	出動件数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835
	搬送人員	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,590	8	16,948

市村別救急出動状況

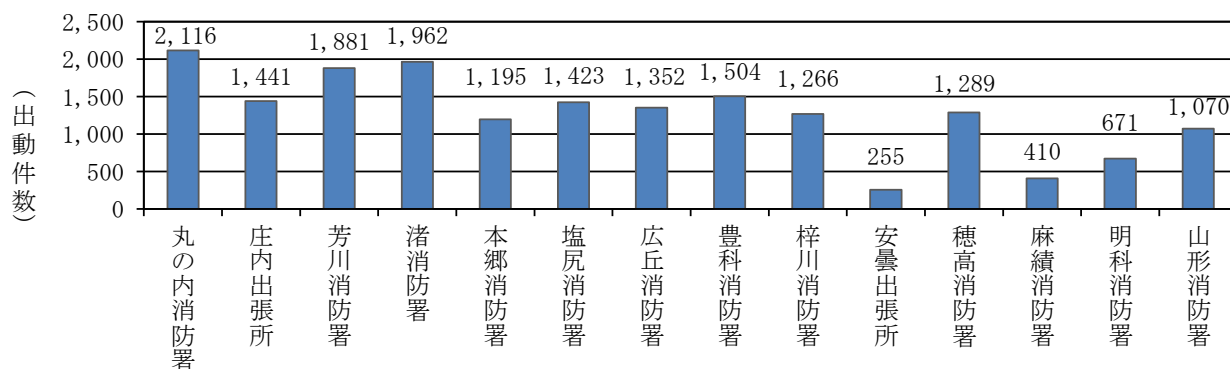


(4) 消防署・出張所別救急出動状況

(単位：件)

区	分	事故種別												総 数
		火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
丸の内消防署	出動件数	15	—	—	185	6	6	312	18	20	1,380	163	11	2,116
	搬送人員	3	—	—	187	6	9	298	15	13	1,275	163	—	1,969
庄内出張所	出動件数	6	—	—	115	6	5	207	5	9	963	124	1	1,441
	搬送人員	1	—	—	132	6	5	198	3	5	921	124	—	1,395
芳川消防署	出動件数	4	—	—	171	8	9	220	5	15	1,220	226	3	1,881
	搬送人員	2	—	—	172	8	9	204	4	11	1,106	225	2	1,743
渚消防署	出動件数	5	—	—	191	12	6	218	8	11	1,303	205	3	1,962
	搬送人員	—	—	—	214	12	7	213	9	8	1,242	205	1	1,911
本郷消防署	出動件数	2	—	—	82	2	15	169	2	17	823	42	41	1,195
	搬送人員	1	—	—	87	2	15	161	2	13	774	41	—	1,096
塩尻消防署	出動件数	4	—	—	103	7	2	210	7	17	918	153	2	1,423
	搬送人員	4	—	—	107	7	2	203	6	10	875	153	2	1,369
広丘消防署	出動件数	16	—	—	118	13	4	166	1	12	898	123	1	1,352
	搬送人員	6	—	—	130	13	4	155	1	8	853	121	—	1,291
豊科消防署	出動件数	8	—	1	148	17	5	179	4	10	990	136	6	1,504
	搬送人員	—	—	1	163	17	5	170	4	6	933	135	2	1,436
梓川消防署	出動件数	5	—	2	104	5	3	206	1	8	822	105	5	1,266
	搬送人員	1	—	2	118	5	2	198	1	5	774	105	1	1,212
安曇出張所	出動件数	—	—	—	16	3	1	72	1	1	134	27	—	255
	搬送人員	—	—	—	15	3	1	66	—	—	121	27	—	233
穂高消防署	出動件数	2	—	—	83	9	2	206	—	11	883	92	1	1,289
	搬送人員	1	—	—	100	9	2	192	—	5	814	92	—	1,215
麻績消防署	出動件数	1	—	—	19	2	2	51	1	2	285	46	1	410
	搬送人員	1	—	—	17	2	2	49	1	2	278	45	—	397
明科消防署	出動件数	5	—	1	43	7	3	101	1	1	442	66	1	671
	搬送人員	1	—	1	55	7	3	100	1	1	427	66	—	662
山形消防署	出動件数	2	—	1	92	11	16	163	2	9	684	88	2	1,070
	搬送人員	—	—	—	101	10	15	153	2	6	644	88	—	1,019
総 数	出動件数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835
	搬送人員	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,590	8	16,948

消防署・出張所別救急出動状況

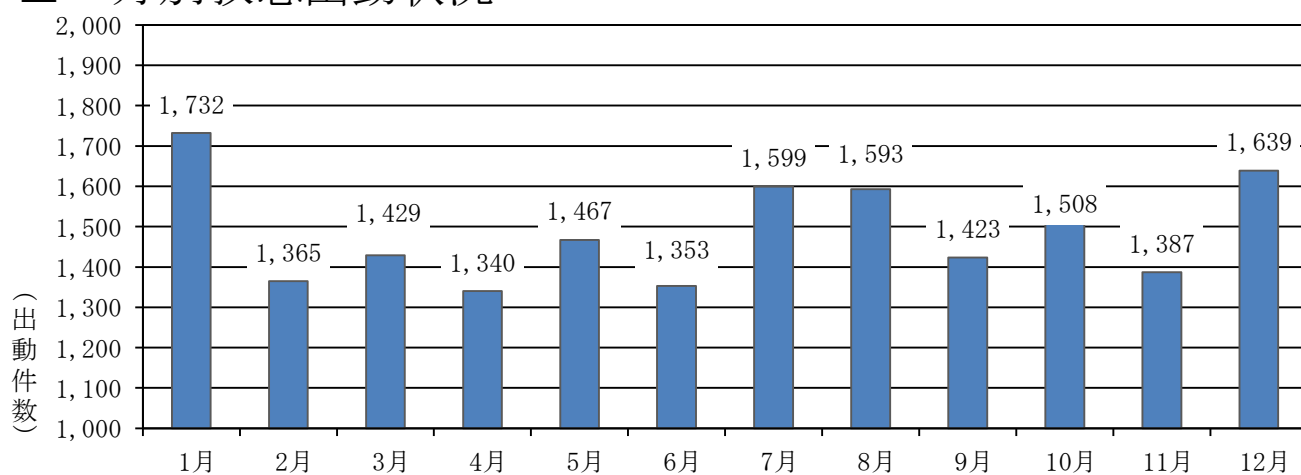


(5) 月別救急出動状況

(単位：件)

区分 月	事故種別												総 数
	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
1月	5	—	—	91	8	—	212	4	13	1,254	139	6	1,732
2月	1	—	—	87	6	2	179	6	12	916	151	5	1,365
3月	17	—	—	124	5	5	215	3	7	933	111	9	1,429
4月	7	—	—	117	8	10	166	11	10	898	110	3	1,340
5月	9	—	—	125	8	8	209	3	16	958	124	7	1,467
6月	7	—	—	122	5	14	189	1	9	875	126	5	1,353
7月	3	—	—	151	7	4	207	4	10	1,081	125	7	1,599
8月	3	—	1	155	8	11	205	3	17	1,018	168	4	1,593
9月	7	—	1	119	13	12	212	5	15	889	145	5	1,423
10月	3	—	1	124	18	7	228	4	9	965	138	11	1,508
11月	5	—	1	106	13	4	224	7	18	880	120	9	1,387
12月	8	—	1	149	9	2	234	5	7	1,078	139	7	1,639
総数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835

■ 月別救急出動状況

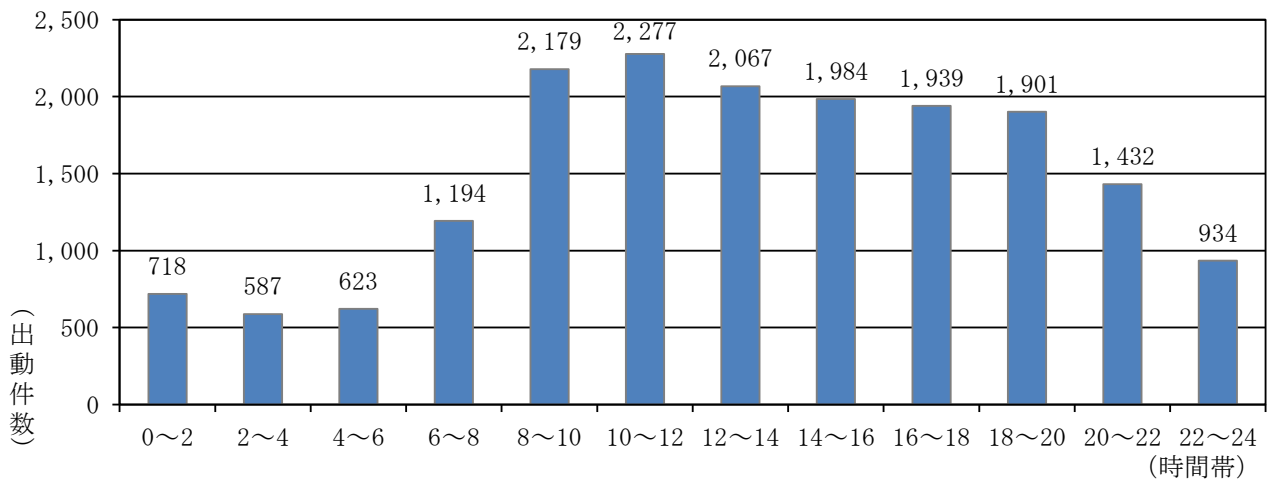


(6) 時間帯別救急出動状況

(単位：件)

区分 時間帯	事故種別												総 数
	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他	
0～2	1	—	—	28	2	—	79	8	6	576	14	4	718
2～4	3	—	—	20	—	—	60	7	7	473	14	3	587
4～6	7	—	—	20	1	—	79	1	7	496	9	3	623
6～8	5	—	—	118	5	—	175	1	14	849	18	9	1,194
8～10	10	—	—	203	19	6	333	5	9	1,390	199	5	2,179
10～12	4	—	—	177	28	22	317	1	10	1,306	408	4	2,277
12～14	6	—	—	162	14	22	290	3	14	1,249	300	7	2,067
14～16	10	—	3	187	15	15	300	4	14	1,215	215	6	1,984
16～18	10	—	2	211	15	7	281	3	11	1,144	239	16	1,939
18～20	2	—	—	187	3	3	282	5	28	1,298	81	12	1,901
20～22	8	—	—	104	3	3	172	7	14	1,052	64	5	1,432
22～24	9	—	—	53	3	1	112	11	9	697	35	4	934
総 数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835

■ 時間帯別救急出動状況

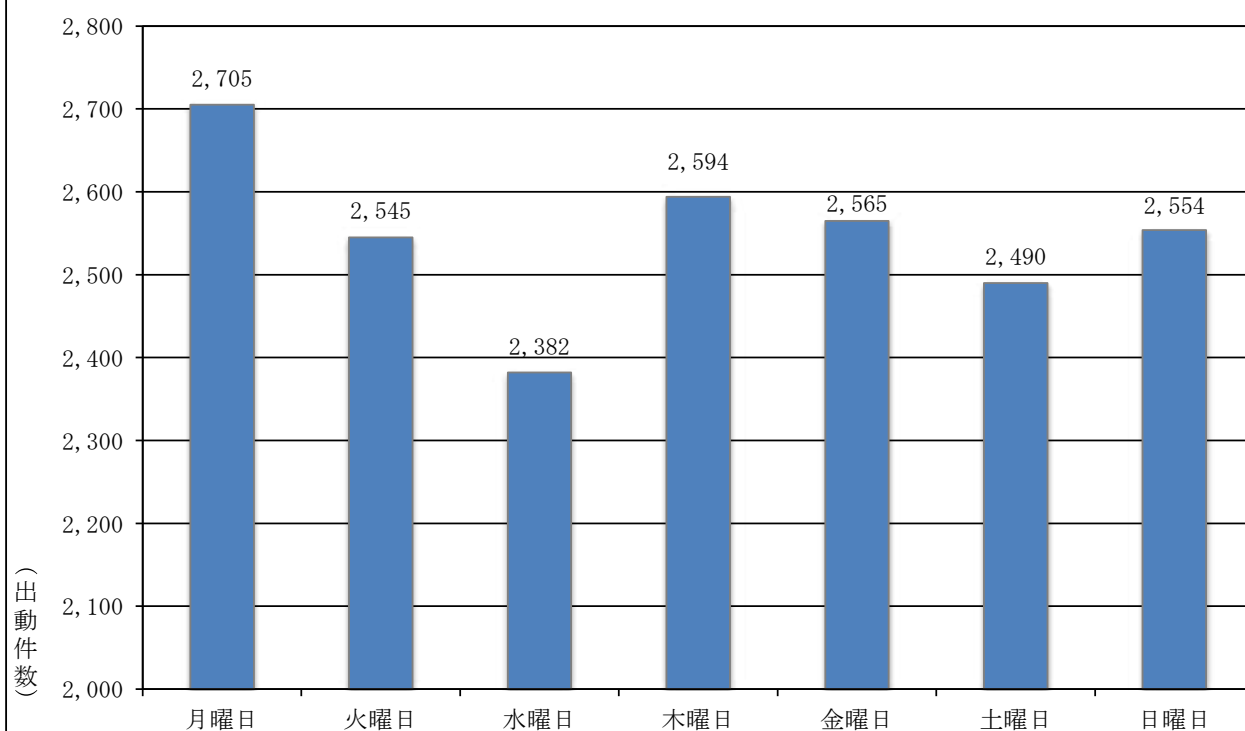


(7) 曜日別救急出動状況

(単位：件)

区分 曜日	事故種別												総 数
	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
月曜日	13	—	2	236	18	6	393	6	29	1,719	272	11	2,705
火曜日	8	—	1	228	17	6	312	7	15	1,669	274	8	2,545
水曜日	10	—	—	220	13	3	309	8	18	1,544	245	12	2,382
木曜日	10	—	—	209	16	6	362	6	21	1,714	235	15	2,594
金曜日	13	—	2	222	21	6	336	9	20	1,656	267	13	2,565
土曜日	8	—	—	194	16	10	378	10	13	1,653	200	8	2,490
日曜日	13	—	—	161	7	42	390	10	27	1,790	103	11	2,554
総数	75	—	5	1,470	108	79	2,480	56	143	11,745	1,596	78	17,835

■ 曜日別救急出動状況



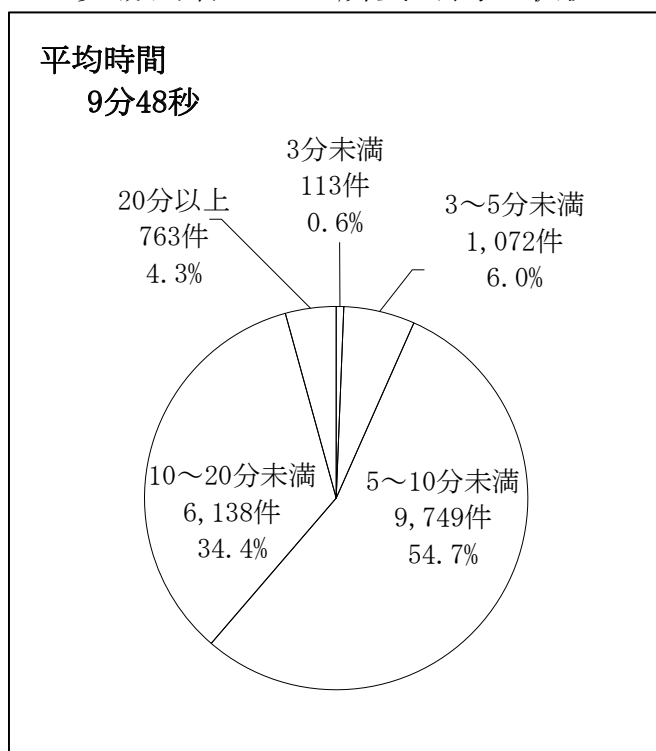
(8) 搬送人員の状況

■ 傷病程度別搬送人員の状況

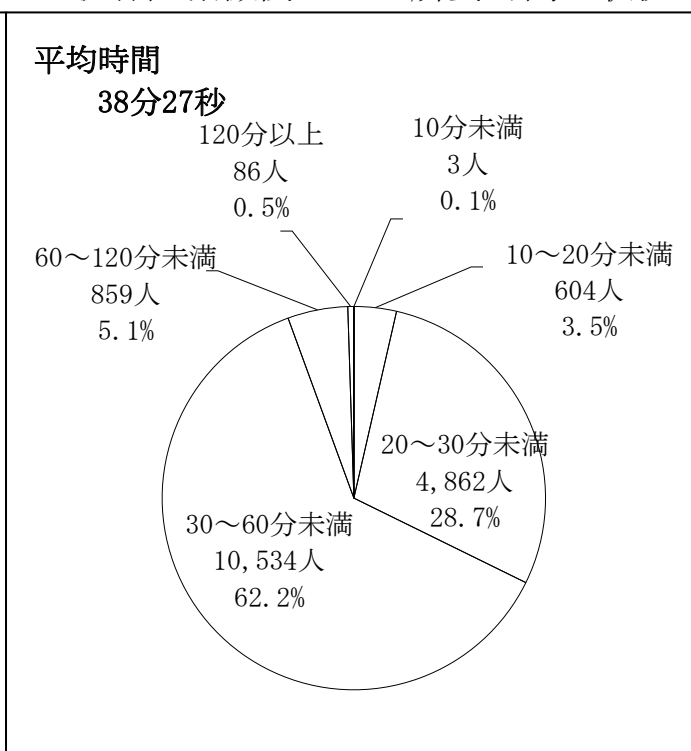
(単位：人)

区 分		事故種別											総 数
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
新生児	死 亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	重 症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3
	中等症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	11	13
	軽 症	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	2
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	1	—	—	4	13	18
乳幼児	死 亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	重 症	—	—	—	1	—	—	2	—	—	4	1	8
	中等症	—	—	—	3	—	—	8	—	—	114	15	140
	軽 症	—	—	—	39	—	—	108	—	—	290	10	447
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	43	—	—	118	—	—	409	26	596
少 年	死 亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	重 症	—	—	—	4	—	3	1	—	—	4	1	13
	中等症	—	—	—	30	—	7	23	—	2	52	9	123
	軽 症	—	—	—	127	—	33	83	1	—	185	9	438
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	161	—	43	107	1	2	241	19	574
成 人	死 亡	—	—	—	2	1	—	1	—	4	13	—	21
	重 症	2	—	—	20	3	—	10	—	9	102	32	178
	中等症	1	—	—	145	35	11	120	6	31	854	298	1,501
	軽 症	6	—	—	805	51	26	301	37	27	1,923	84	3,260
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	9	—	—	972	90	37	432	43	71	2,892	414	4,960
高齢者	死 亡	—	—	—	1	—	—	22	—	5	141	1	170
	重 症	2	—	2	16	3	—	65	1	5	505	112	711
	中等症	5	—	2	80	7	—	798	—	5	3,987	890	5,774
	軽 症	5	—	—	325	7	1	817	4	5	2,858	123	4,145
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	12	—	4	422	17	1	1,702	5	20	7,491	1,126	10,800
総 数	死 亡	—	—	—	3	1	—	23	—	9	155	1	192
	重 症	4	—	2	41	6	3	78	1	14	616	148	913
	中等症	6	—	2	258	42	18	949	6	38	5,009	1,223	7,551
	軽 症	11	—	—	1,296	58	60	1,310	42	32	5,257	226	8,292
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	21	—	4	1,598	107	81	2,360	49	93	11,037	1,598	16,948

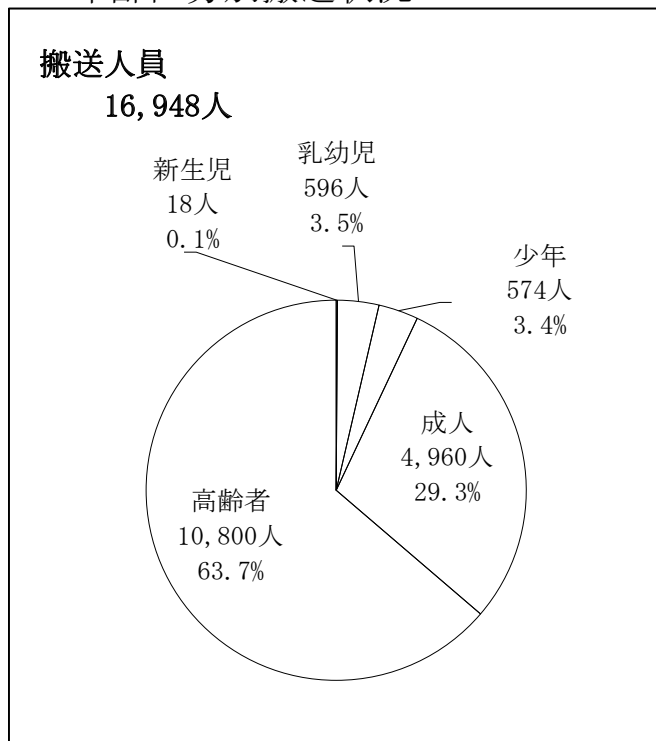
■ 現場到着までの所要時間の状況



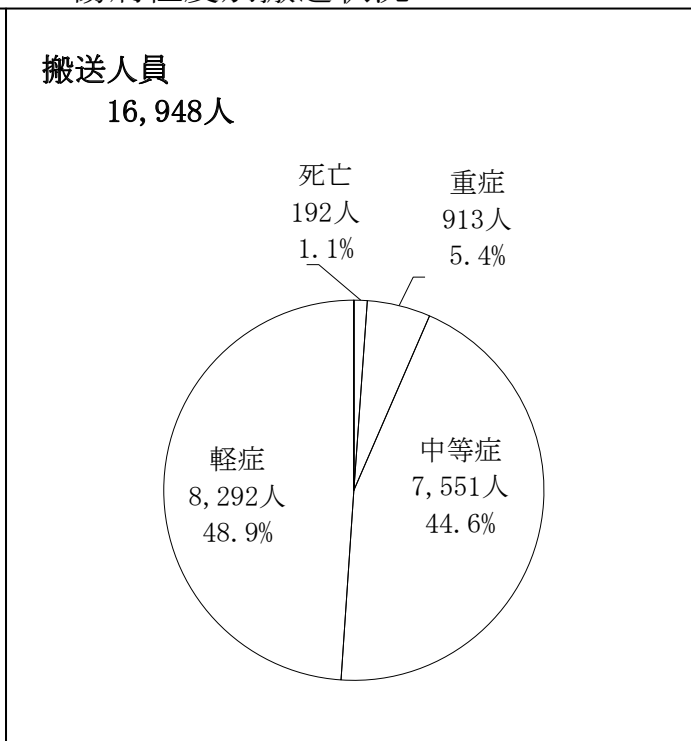
■ 収容医療機関までの所要時間の状況



■ 年齢区分別搬送状況

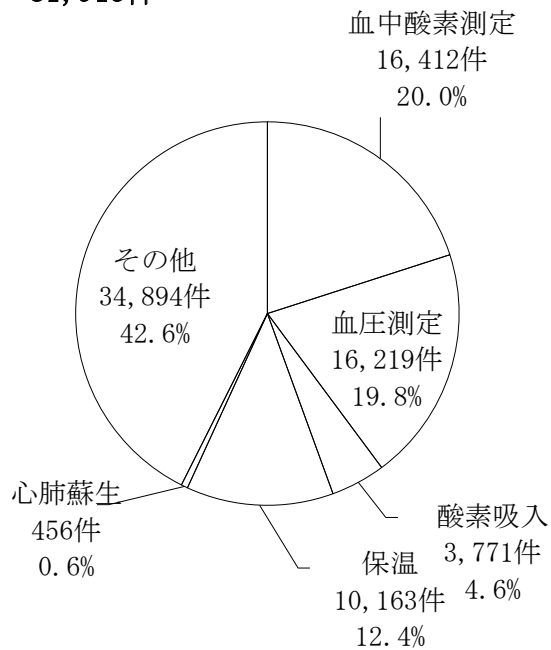


■ 傷病程度別搬送状況



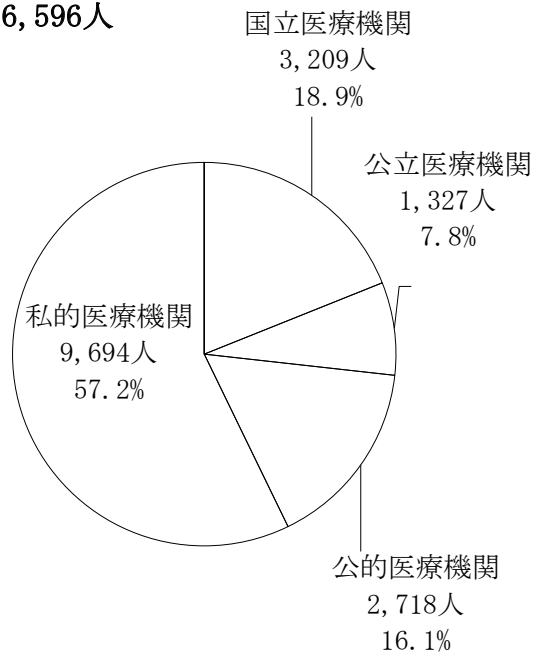
■ 応急処置実施状況

応急処置実施件数
81,915件

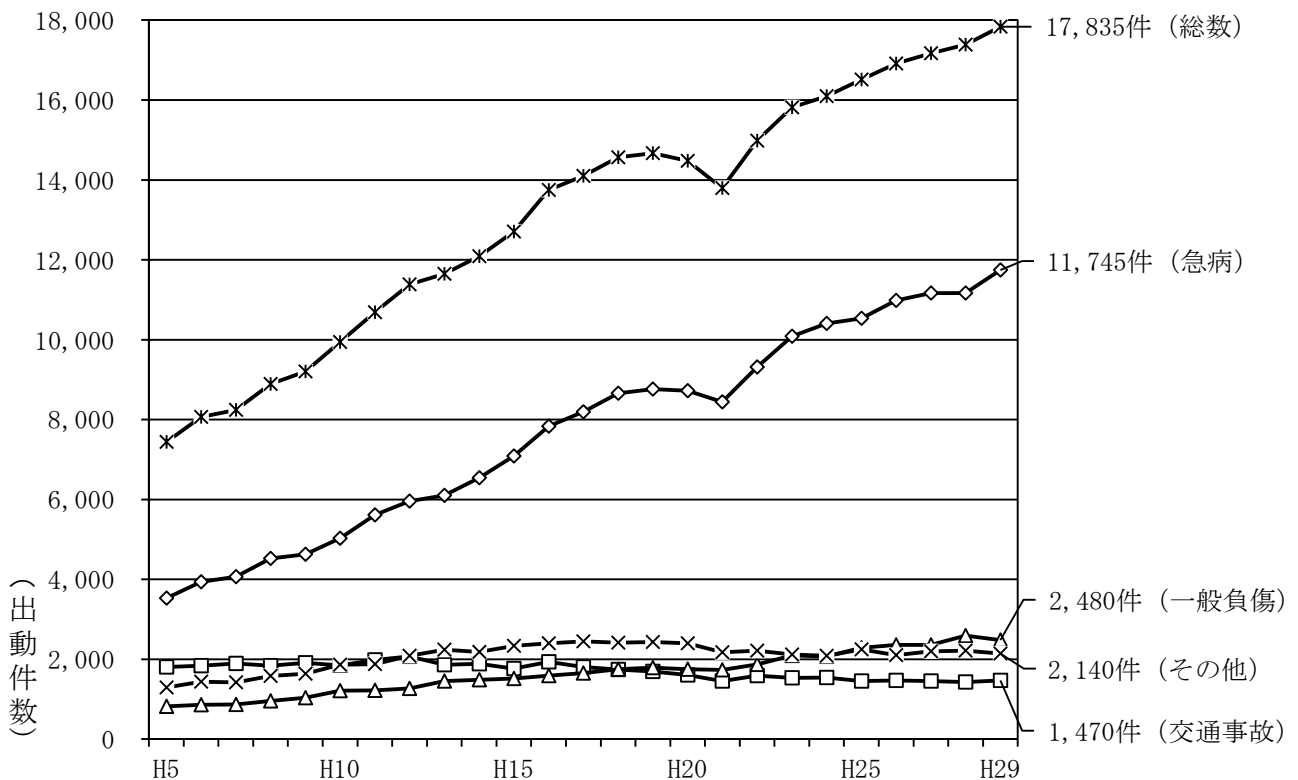


■ 医療機関別搬送状況

医療機関搬送人員
16,596人



■ 救急出動件数の推移

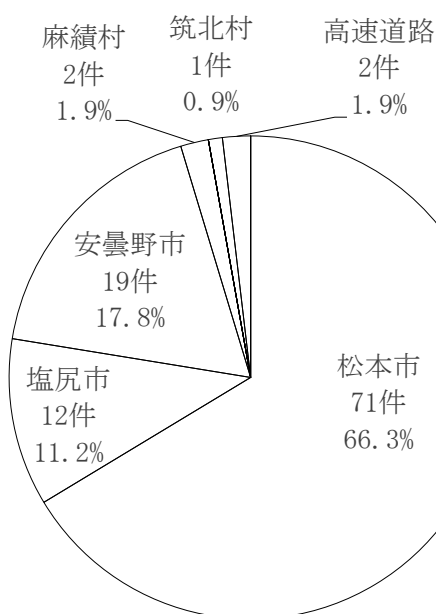


(9) ドクターカー出動状況

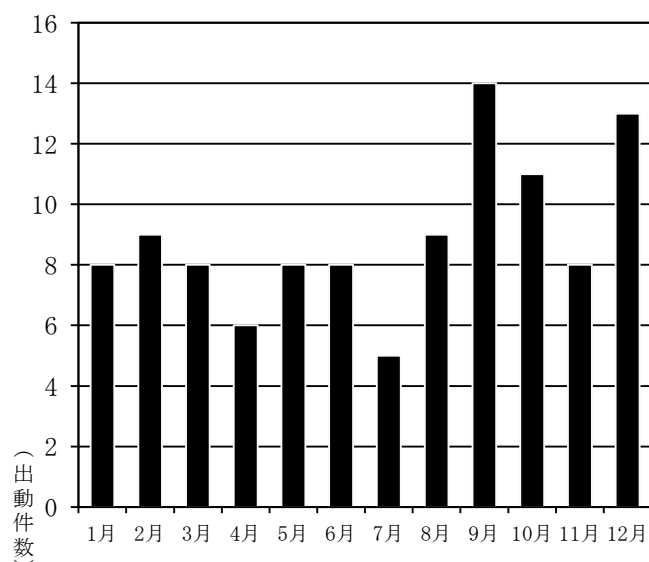
(単位：件)

区 分	事故種別												総 数
	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
出 動 件 数	3	—	—	21	—	—	5	—	6	24	2	46	107
搬 送 人 員	2	—	—	15	—	—	4	—	5	18	1	—	45

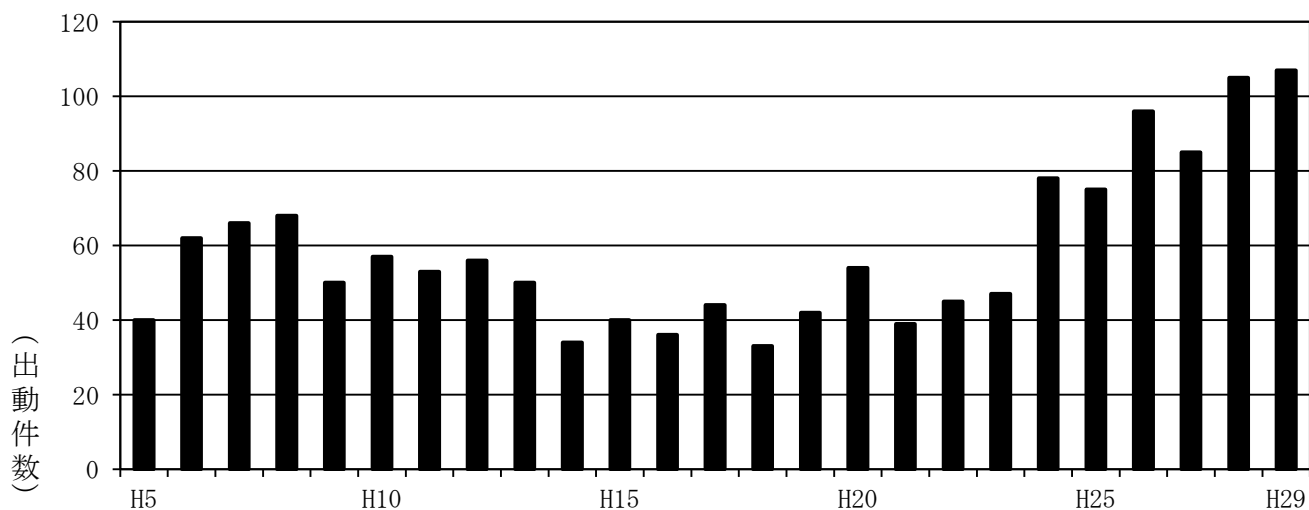
市村別出動状況



月別出動状況



ドクターカー出動件数の推移



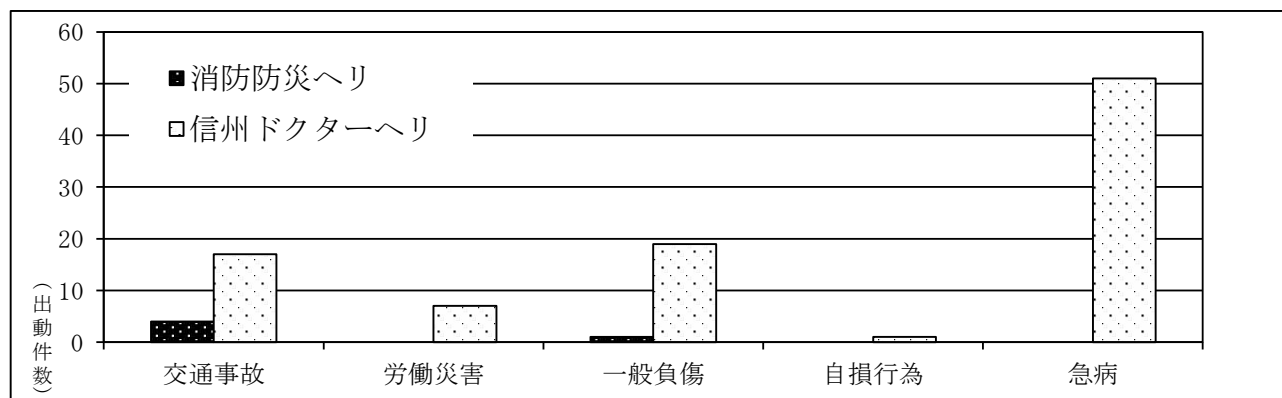
(10) ヘリコプターによる救急搬送状況

(松本広域消防局管内)

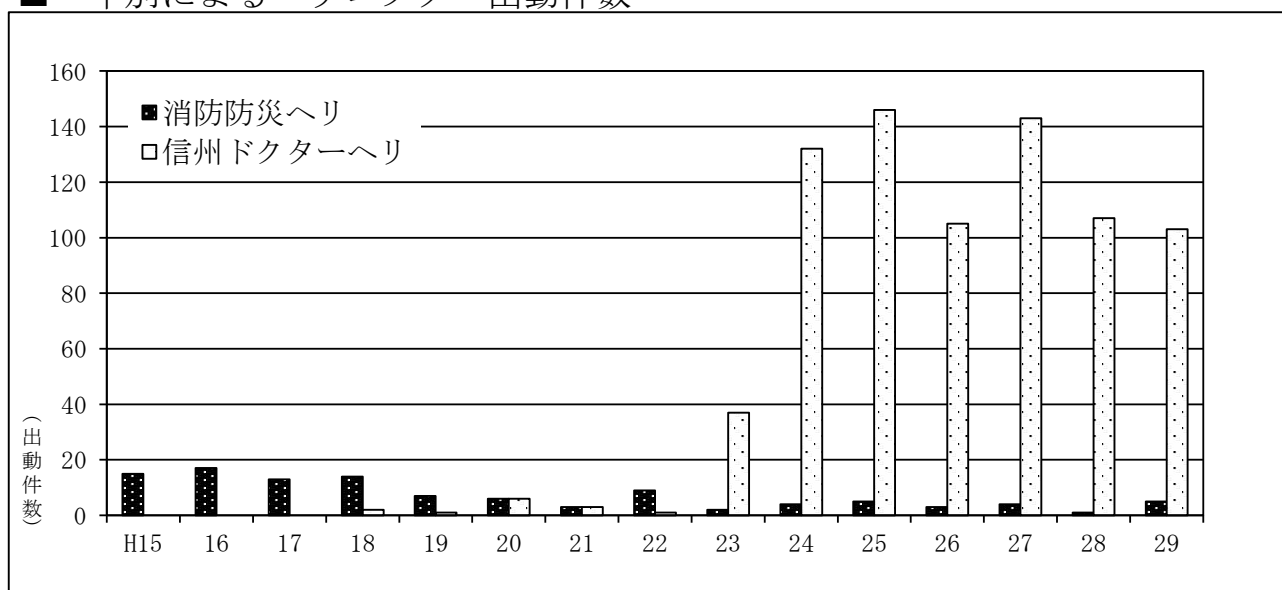
ヘリコプターの事故種別出動状況

(単位：件)

区 分		事故種別												総 数
		火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	
消防防災ヘリ	出動件数	—	—	—	4	—	—	1	—	—	—	—	—	5
	搬送人員	—	—	—	3	—	—	1	—	—	—	—	—	4
信州ドクターヘリ	出動件数	1	—	1	17	7	—	19	—	1	51	6	—	103
	搬送人員	—	—	1	17	6	—	18	—	1	51	6	—	100
総 数	出動件数	1	—	1	21	7	—	20	—	1	51	6	—	108
	搬送人員	—	—	1	20	6	—	19	—	1	51	6	—	104



年別によるヘリコプター出動件数



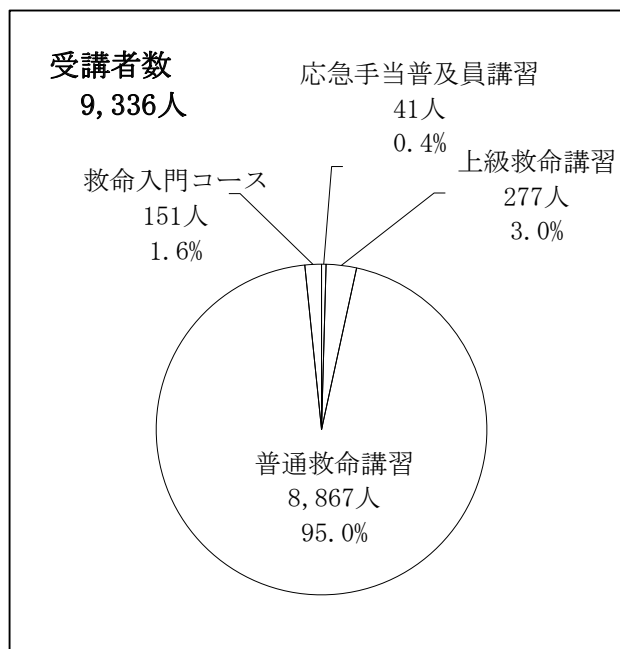
(11) 応急手当普及啓発活動の状況

(平成29年度)

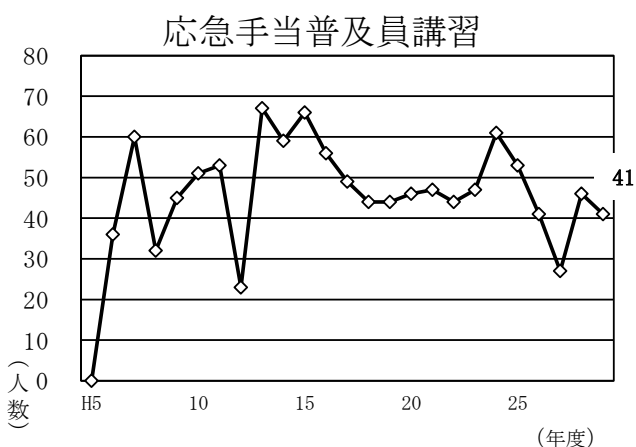
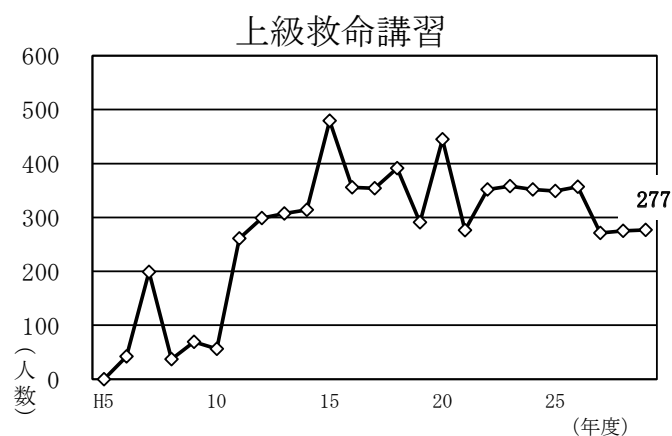
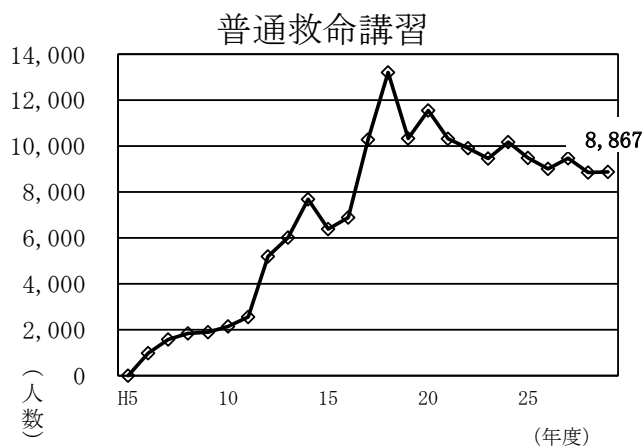
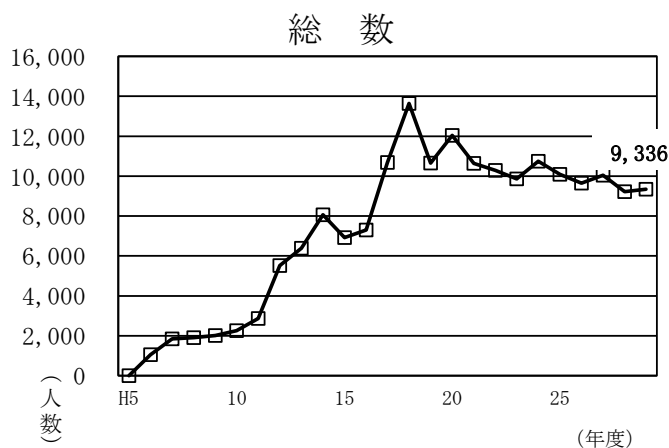
(単位：人)

講 習 会	受 講 者 数
応急手当普及員講習	41
上 級 救 命 講 習	277
普 通 救 命 講 習	8,867
救 命 入 門 コ ー ス	151
総 数	9,336

※救命入門コースは平成24年度から開始



■ 応急手当普及啓発活動の推移



2 救助統計

(1) 概要

平成29年の救助出動状況は、出動件数が227件（活動件数94件）で、救助人員が100人となっています。事故種別ごとに活動件数を見ると、交通事故が74件（32.5%）と最も多く、次いでその他が51件（22.4%）となっています。

救助人員は、交通事故が40人と最も多く全体の40.0%を占めています。

(2) 救助出動状況

（単位：件）

区 分	火 災		交通 事故	水 難 事故	風 水 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他	総 数
	建 物	建 以 物 外									
出 動 件 数	46	10	74	12	—	6	27	1	—	51	227
活 動 件 数	6	—	28	10	—	2	12	1	—	35	94
救 助 人 員	4	—	40	9	—	1	12	1	—	33	100

市村別出動状況

（単位：件）

松 本 市	24	4	34	3	—	5	12	—	—	35	117
塩 尻 市	8	—	16	2	—	—	4	1	—	3	34
安 曇 野 市	10	2	16	6	—	—	11	—	—	10	55
麻 績 村	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	2
生 坂 村	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2
山 形 村	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	2
朝 日 村	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
筑 北 村	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3
長野自動車道	—	4	6	—	—	—	—	—	—	—	10
管 轄 以 外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数	46	10	74	12	—	6	27	1	—	51	227

救助工作車配置消防署別出動状況

（単位：件）

渚 消 防 署	24	9	41	9	—	4	10	—	—	31	128
塩尻消防署	11	5	34	2	—	1	6	1	—	4	64
豊科消防署	13	3	31	9	—	1	11	—	—	13	81
総 数	48	17	106	20	—	6	27	1	—	48	273

(3) 救助活動状況

■ 発生場所別救助活動状況

(単位：件)

区 分		火 災		交通 事故	水 難 事故	風 水 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他	総 数
		建 物	建 以 物 外									
屋 内	住 居	5	—	—	—	—	—	11	—	—	9	25
	そ の 他	1	—	—	—	—	1	1	—	—	2	5
屋 外	道 路	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4
	高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	17
	水 面	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	9
	内 水 面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	外 水 面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
山 岳	山 岳	—	—	1	—	—	—	—	—	—	9	10
	そ の 他	—	—	6	1	—	1	—	1	—	14	23
地 下		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数		6	—	28	10	—	2	12	1	—	35	94

■ 発生場所別救助人員状況

(単位：人)

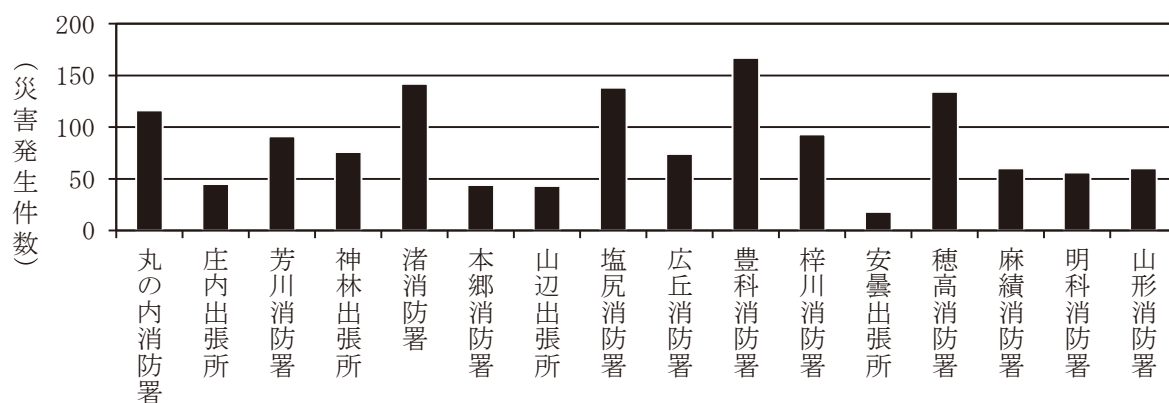
区 分		火 災		交通 事故	水 難 事故	風 水 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 酸 欠	爆 発 事 故	そ の 他	総 数
		建 物	建 以 物 外									
屋 内	住 居	3	—	—	—	—	—	11	—	—	7	21
	そ の 他	1	—	—	—	—	1	1	—	—	2	5
屋 外	道 路	—	—	7	—	—	—	—	—	—	1	8
	高速道路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	17
	水 面	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	9
	内 水 面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	外 水 面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
山 岳	山 岳	—	—	9	—	—	—	—	—	—	8	17
	そ の 他	—	—	7	—	—	—	—	1	—	14	22
地 下		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数		4	—	40	9	—	1	12	1	—	33	100

3 その他災害統計

(単位：件)

区 分 管轄署所	救 急 支 援	偵 察	危 険 排 除	へ り 支 援	水 防 活 動	水 防 警 戒	捜 索	特 殊 災 害	そ の 他	総 数
丸の内消防署	86	13	6	—	—	1	—	—	2	108
庄内出張所	46	10	4	—	—	1	—	—	—	61
芳川消防署	90	14	9	1	—	1	—	—	2	117
神林出張所	55	6	12	—	1	1	—	—	1	76
渚消防署	114	29	20	—	1	—	—	—	1	165
本郷消防署	42	8	8	—	2	2	—	—	1	63
山辺出張所	58	6	4	—	2	—	—	—	17	87
塩尻消防署	81	15	11	6	—	—	—	—	—	113
広丘消防署	30	9	5	—	2	1	—	—	2	49
豊科消防署	102	18	18	36	—	—	—	—	—	174
梓川消防署	60	16	15	11	1	2	—	—	1	106
安曇出張所	29	2	7	1	—	—	—	—	—	39
穂高消防署	86	17	11	9	1	—	—	—	—	124
麻績消防署	33	9	4	5	—	—	—	—	—	51
明科消防署	41	10	5	2	2	1	—	—	—	61
山形消防署	55	5	3	13	—	—	—	—	1	77
総 数	1,008	187	142	84	12	10	—	—	28	1,471

■ 消防署・出張所別その他災害発生件数



4 警防

(1) 消防車両等の現況

(単位：台)

区 分	消 防 局	丸 の 内 消 防 署	庄 内 出 張 所	芳 川 消 防 署	神 林 出 張 所	渚 消 防 署	本 郷 消 防 署	山 辺 出 張 所	塩 尻 消 防 署	広 丘 消 防 署	豊 科 消 防 署	梓 川 消 防 署	安 曇 出 張 所	穂 高 消 防 署	麻 績 消 防 署	明 科 消 防 署	山 形 消 防 署	総 数
ポンプ搭載車数	—	2	1	2	1	3	3	1	3	2	2	2	1	2	2	2	2	31
消 防 ポ ン プ 自 動 車	—	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	—	1	1	1	—	2	2	—	2	—	1	1	—	1	1	1	1	15
非 常 用 水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	—	—	—	—	—	(1)	(1)	—	(1)	—	—	—	—	—	—	—	—	(3)
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
そ の 他 の 車 両	8	7	4	7	6	10	6	4	7	4	6	4	4	4	5	4	4	94
高規格救急自動車	—	1	1	1	—	2	1	—	2	1	2	1	1	1	2	1	1	18
非 常 用 救 急 自 動 車	—	—	—	—	—	(1)	—	—	(1)	—	(1)	—	—	—	(1)	—	—	(4)
救 助 工 作 車	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	3
はしご付消防自動車	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
屈折はしご付 消 防 自 動 車	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
指 揮 広 報 車	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17
指 揮 車	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
機 動 連 絡 車	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
人 員 搬 送 車	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
支 援 車 I 型	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
資 機 材 搬 送 車	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
連 絡 車	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
軽 連 絡 車	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
二 輪 車	—	4	2	4	3	4	4	2	1	2	1	2	1	2	1	1	2	36
オ フ ロ ー ド バ イ ク	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	1	—	1	1	—	6
総 数	8	9	5	9	7	13	9	5	10	6	8	6	5	6	7	6	6	125

(2) 消防車両等の配置状況

平成30年4月1日現在

区 分	種 別	車両番号	車 名	ぎ装会社名	性能等	登録年月日
消 防 局	指 揮 広 報 車	800す1473	ト ヨ タ	—	パッソ	H24. 6. 7
	機 動 連 絡 車	800す2297	ト ヨ タ	ト ー ハ ツ (株)	無償使用	H26. 2. 27
	資 機 材 搬 送 車	800す3762	ト ヨ タ	—	バン	H22. 7. 29
	連 絡 車	300ね1990	ス バ ル	—	ステーション	H18. 4. 21
	連 絡 車	300ふ2363	マ ツ ダ	—	8人乗り	H21. 4. 28
	人 員 搬 送 車	200さ1547	三 菱	—	マイクロバス	H25. 9. 27
	軽 連 絡 車	41 き9513	ダイハツ	—	カーゴ	H12. 3. 30
	軽 連 絡 車	480あ3538	ダイハツ	—	カーゴ	H17. 4. 7
丸の内消防署	指 揮 広 報 車	800さ8919	日 産	—	セレナ	H19. 5. 18
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ7069	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2	H17. 3. 18
	水槽付消防ポンプ自動車	800は1137	日 野	長 野 ポ ン プ (株)	A-2	H30. 3. 26
	はしご付消防自動車	800は 244	マギルス	㈱モリタテクノス国際商品部	30m級	H15. 3. 14
	高規格救急自動車	800す2302	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H26. 3. 4
庄内出張所	指 揮 広 報 車	800さ6397	ト ヨ タ	—	ノア	H16. 5. 31
	水槽付消防ポンプ自動車	800さ4544	い す ゞ	日 本 機 械 工 業	A-2	H14. 9. 3
	高規格救急自動車	800す2253	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H26. 1. 24
芳川消防署	指 揮 広 報 車	800す2074	三 菱	—	デリカ	H25. 8. 29
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ3212	日 野	(株) モ リ タ	A-2	H13. 8. 9
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 598	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2	H20. 2. 5
	資 機 材 搬 送 車	800す1081	い す ゞ	長野いすゞ自動車(株)	2t	H23. 8. 29
	高規格救急自動車	800す1029	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H23. 7. 22
神林出張所	指 揮 車	800さ2015	日 産	(株) ト ー シ ン	—	H12. 9. 28
	指 揮 広 報 車	800す3427	ト ヨ タ	—	ノア	H28. 11. 4
	支 援 車 (I 型)	800は 861	い す ゞ	ト ノ ッ ク ス	無償使用	H25. 1. 17
	化学消防ポンプ自動車	800は1135	い す ゞ	日本ドライケミカル	A-2	H30. 1. 15
渚消防署	指 揮 広 報 車	800す3427	ト ヨ タ	—	ハイエース	H22. 5. 28
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ1732	ト ヨ タ	日本ドライケミカル	A-2	H12. 7. 24
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 647	日 野	長 野 ポ ン プ (株)	A-2	H21. 1. 16
	水槽付消防ポンプ自動車	800さ1073	日 野	野 口 ポ ン プ	A-2 非常用	H12. 3. 7
	はしご付消防自動車	800は 466	マギルス	㈱モリタテクノス国際商品部	30m級	H18. 3. 13
	救 助 工 作 車	800は 862	日 野	帝 国 織 維	Ⅲ型	H25. 1. 22
	高規格救急自動車	800す 197	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H21. 11. 5
	高規格救急自動車	800さ9281	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	非常用	H20. 1. 30
本郷消防署	指 揮 広 報 車	800さ6398	ト ヨ タ	—	ノア	H16. 5. 31
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800す2259	日 野	(株) モ リ タ	A-2 (圧縮)	H26. 1. 29
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 535	日 野	日本ドライケミカル	A-2	H19. 2. 15
	水槽付消防ポンプ自動車	800さ3210	日 野	GM い ち は ら 工 業 (株)	A-2 非常用	H8. 2. 12
	高規格救急自動車 (ドクターカー兼用)	800さ9793	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H20. 12. 25
山辺出張所	指 揮 隊 車	800す1443	ト ヨ タ	㈱ヨコハマモーターセールス	無償使用	H24. 5. 8
	指 揮 広 報 車	800す3796	三 菱	—	デリカ	H29. 8. 8
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800す3062	日 野	(株) モ リ タ	A-2 (圧縮)	H27. 11. 26

区 分	種 別	車両番号	車 名	ぎ装会社名	性能等	登録年月日
塩尻消防署	指 揮 広 報 車	800す3864	ス ブ キ	—	ランディ	H29. 9. 27
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ7068	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2	H17. 3. 18
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 599	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2	H20. 2. 5
	水槽付消防ポンプ自動車	88 す3319	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2 非常用	H9. 1. 21
	高規格救急自動車	800す1656	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H24. 10. 25
	高規格救急自動車	800さ9280	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	非常用	H20. 1. 30
	屈折はしご付消防自動車	800は 916	日 野	(株) モ リ タ	20m級	H26. 3. 7
	救 助 工 作 車	800は 645	日 野	帝 国 織 維	Ⅱ型	H20. 12. 25
広丘消防署	指 揮 広 報 車	800さ9528	ト ヨ タ	—	ノア	H20. 6. 24
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ1733	ト ヨ タ	日 本 機 械 工 業	A-2	H12. 7. 24
	化学消防ポンプ自動車	800は 241	日 野	GM いちはら工業(株)	A-2	H15. 2. 5
	高規格救急自動車	800す 715	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H22. 10. 27
豊科消防署	指 揮 広 報 車	800す2959	ト ヨ タ	—	ハイース	H27. 10. 21
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ1731	ト ヨ タ	日本ドライケミカル	A-2	H12. 7. 24
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 648	日 野	長 野 ポ ン プ (株)	A-2	H21. 1. 16
	高規格救急自動車	800す3959	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H29. 12. 1
	高規格救急自動車	800さ2991	日 産	オーテックジャパン	非常用	H13. 6. 15
	救 助 工 作 車	800は 360	日 野	帝 国 織 維	Ⅱ型	H16. 11. 15
梓川消防署	指 揮 広 報 車	800さ8918	日 産	—	セレナ	H19. 5. 18
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800す1810	日 野	日 本 機 械 工 業	A-2	H25. 1. 15
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 534	日 野	日本ドライケミカル	A-2	H19. 2. 15
	高規格救急自動車	800す 196	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H21. 11. 5
安曇出張所	指 揮 広 報 車	800す2922	三 菱	—	デリカ	H27. 9. 24
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ6145	日 野	(株) モ リ タ	A-2	H16. 2. 24
	高規格救急自動車	800す 198	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H21. 11. 5
穂高消防署	指 揮 広 報 車	800さ8297	ト ヨ タ	—	サーフ	H18. 7. 24
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ3213	日 野	(株) モ リ タ	A-2	H13. 8. 10
	水槽付消防ポンプ自動車	800さ5024	い す ゞ	日 本 機 械 工 業	A-2	H15. 2. 7
	高規格救急自動車	800さ9794	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H20. 12. 25
麻績消防署	指 揮 広 報 車	800さ3795	三 菱	—	デリカ	H29. 8. 8
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ3211	日 野	(株) モ リ タ	A-2	H13. 8. 10
	高規格救急自動車	800す3466	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H28. 11. 18
	高規格救急自動車	800さ7412	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	非常用	H17. 7. 22
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 740	い す ゞ	日本ドライケミカル	T R	H23. 1. 21
明科消防署	指 揮 広 報 車	800さ8296	ト ヨ タ	—	サーフ	H18. 7. 24
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800す2258	日 野	(株) モ リ タ	A-2 (圧縮)	H26. 1. 29
	水槽付消防ポンプ自動車	800さ6130	い す ゞ	日本ドライケミカル	A-2	H16. 2. 20
	高規格救急自動車	800す 714	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H22. 10. 27
山形消防署	指 揮 広 報 車	800さ6394	ト ヨ タ	—	サーフ	H16. 5. 31
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800さ5019	日 野	日本ドライケミカル	A-2	H15. 2. 5
	水槽付消防ポンプ自動車	800は 600	日 野	(株) モ リ タ	A-2	H20. 2. 7
	高規格救急自動車	800す 716	ト ヨ タ	トヨタテクノクラフト	—	H22. 10. 27

(3) 消防車両等の経過年数

(単位：台)

消防車両等		経過年数	総 数	1 年 未 満	1 年 以 上 2 年 未 満	2 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 4 年 未 満	4 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 6 年 未 満	6 年 以 上 7 年 未 満	7 年 以 上 8 年 未 満	8 年 以 上 9 年 未 満	9 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 11 年 未 満	11 年 以 上 12 年 未 満	12 年 以 上 13 年 未 満	13 年 以 上 14 年 未 満	14 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上
ポン プ 搭 載 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車		14	—	—	1	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	2	1	7
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		15	1	—	—	—	—	—	—	1	—	2	3	2	—	—	1	5
	化学消防ポンプ自動車		2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
その 他 の 車 両	高規格救急自動車		14	1	1	—	—	2	1	1	3	3	2	—	—	—	—	—	—
	非常用救急自動車		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	1
	救 助 工 作 車		3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	はしご付消防自動車		2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	屈折はしご付 消 防 自 動 車		1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	指 揮 広 報 車		17	3	1	2	—	1	1	—	1	—	1	2	2	—	3	—	—
	指 揮 車		2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	機 動 連 絡 車		1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	人 員 搬 送 車		1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	支 援 車 I 型		1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	資 機 材 搬 送 車		2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	連 絡 車		2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	軽 連 絡 車		2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	二 輪 車		36	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36
	オフロードバイク		6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
総 数			125	6	2	3	—	8	6	2	7	3	6	7	5	2	7	5	56

(4) 中高層建築物の現況

(単位：件)

区 分	階 数													総 数
	3 階 建	4 階 建	5 階 建	6 階 建	7 階 建	8 階 建	9 階 建	10 階 建	11 階 建	12 階 建	13 階 建	14 階 建	15 階 建	
丸の内消防署	502	202	93	70	37	19	11	14	3	4	3	1	4	963
庄内出張所	203	35	37	12	4	2	5	6	—	—	—	3	1	308
芳 川 消 防 署	231	43	27	7	2	1	1	2	1	—	—	—	—	315
神林出張所	94	10	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110
渚 消 防 署	475	90	63	32	10	5	2	4	2	—	1	1	3	688
本 郷 消 防 署	175	18	13	6	3	2	—	—	—	—	—	—	—	217
山辺出張所	156	32	5	3	4	—	2	—	—	—	—	—	—	202
塩 尻 消 防 署	234	44	24	5	3	3	1	1	—	—	1	—	—	316
広 丘 消 防 署	143	21	9	4	1	2	1	1	—	1	—	1	—	184
豊 科 消 防 署	140	30	7	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	182
梓 川 消 防 署	40	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45
安曇出張所	56	9	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	66
穂 高 消 防 署	92	14	1	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	109
麻 績 消 防 署	17	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21
明 科 消 防 署	26	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31
山 形 消 防 署	47	8	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57
総 数	2,631	565	288	147	67	34	23	28	6	6	5	6	8	3,814

通信指令編



全国瞬時警報システム

1 消防通信指令システム主要装置

消防通信指令システムは、高機能消防指令センター装置（Ⅲ型）を導入しており、通信指令課と消防署・出張所をコンピュータオンラインネットワークで結んでいます。

消防車両についても、携帯電話回線、無線回線を使用してネットワーク化を図り、災害通信情報を最新鋭のコンピュータ技術で処理することにより、119番通報の受付から消防車両等の災害現場到着までの迅速化を図っています。

その主な機器装置は次のとおりです。

（平成26年3月全面更新）

装 置 名	数量	概 要
指 令 台	6	119番受付（通常モード3台）
指 揮 台	1	119番受付 複座型3座席
自 動 出 動 指 定 装 置	1	出動隊編成・災害事案管理
地 図 等 検 索 装 置	7	災害地点検索・地図表示
長 時 間 録 音 装 置	1	指令台通話内容録音
指 令 制 御 装 置	1	システム機能制御・二重化構成
指 令 電 送 装 置	17	指令情報送信・出力
署 所 端 末 装 置	16	署所端末制御・指令情報出力
表 示 盤	3	車両運用・支援情報・多目的情報
気 象 情 報 収 集 装 置	1	風向・風速・気温・湿度・雨量等
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置	1	災害情報・当番医情報（電話案内）
順 次 指 令 装 置	1	関係機関への災害情報自動伝達
音 声 合 成 装 置	1	指令情報等の音声合成変換
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	1	車両動態管理・出動経路探査
シ ス テ ム 監 視 装 置	1	システム状態監視
119番補助受付装置	12	輻輳時・非常時受付
統合型位置情報受信装置	1	発信地情報・位置情報の取得
F A X 119受信装置	1	119番回線FAX通報受付
F A X 自 動 応 答 案 内 装 置	1	災害情報・当番医情報（FAX案内）
画 像 伝 送 装 置	1	災害現場映像の伝送
支 援 情 報 シ ス テ ム	1	各種支援情報管理（Web方式）
警 防 本 部 設 備	1	大型モニター・無線・電話・FAX等
W e b 119通報システム	1	携帯電話による聴覚障がい者等通報受付
災 害 情 報 提 供 装 置	1	災害情報等のメール配信
災 害 放 送 案 内 装 置	1	各市村防災行政無線接続
J - A L E R T 設 備	1	全国瞬時警報システム

2 無線局配置状況

種 別 消防署等	衛 星 地 球 局	デ ジ タ ル				ア ナ ロ グ			
		基 地 局	陸上移動局			基 地 局	陸上移動局		
			可 搬 型	車 載 型	携 帯 型		可 搬 型	携 帯 型	署 活 動 用
総 数	2	7	17	78	65	1	6	2	176
消 防 局	2	1	1	3	16	1	6	2	11
前進基地局（芥子坊主）	—	1	—	—	—	—	—	—	—
前進基地局（麻 績）	—	1	—	—	—	—	—	—	—
丸 の 内 消 防 署	—	—	1	5	3	—	—	—	11
庄 内 出 張 所	—	—	1	3	3	—	—	—	8
芳 川 消 防 署	—	—	1	5	3	—	—	—	10
神 林 出 張 所	—	—	1	4	2	—	—	—	7
渚 消 防 署	—	—	1	8	4	—	—	—	15
本 郷 消 防 署	—	—	1	5	3	—	—	—	10
山 辺 出 張 所	—	—	1	3	2	—	—	—	7
塩 尻 消 防 署	—	—	1	8	4	—	—	—	15
広 丘 消 防 署	—	—	1	4	3	—	—	—	10
豊 科 消 防 署	—	—	1	6	4	—	—	—	14
梓 川 消 防 署	—	—	1	4	3	—	—	—	10
安 曇 出 張 所	—	—	1	3	3	—	—	—	8
穂 高 消 防 署	—	—	1	4	3	—	—	—	10
麻 績 消 防 署	—	—	1	5	3	—	—	—	10
明 科 消 防 署	—	—	1	4	3	—	—	—	10
山 形 消 防 署	—	—	1	4	3	—	—	—	10
長 野 道 ト ン ネ ル	—	3	—	—	—	—	—	—	—
安 房 ト ン ネ ル	—	1	—	—	—	—	—	—	—

3 1 1 9 番通報受付状況

平成29年中の119番通報の受付件数は、23,329件で、前年より387件増加しています。この件数は、1日平均約64件、およそ23分に1件の割合で119番通報を受付したことになります。

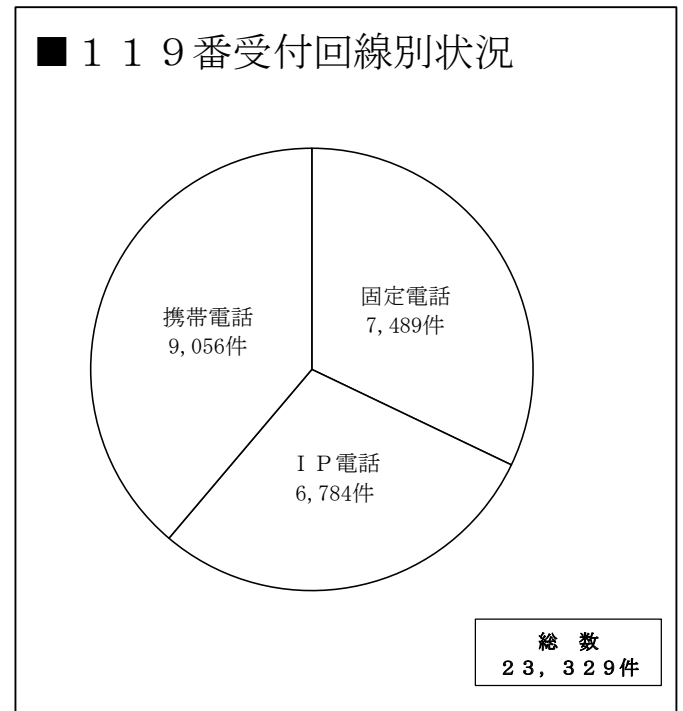
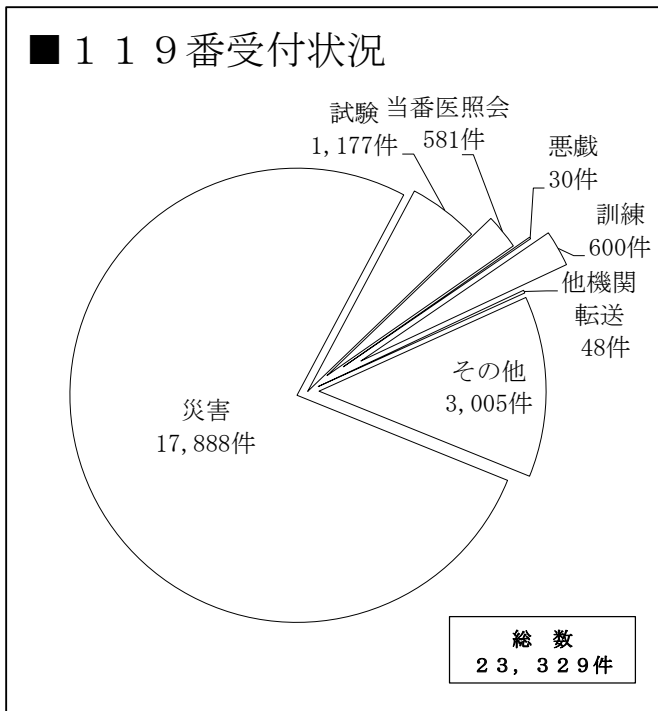
受付状況は、火災、救急等の災害による通報が17,888件で、前年より607件増加し、全体の76.6%を占めています。

また、災害以外の通報は、5,393件で、前年より268件減少し、全体の23.4%を占めています。

(単位：件)

区 分		災 害	試 験	当 照 番 医 会	悪 戯	訓 練	他 転 機 関 送	そ の 他	総 数
総 数		17,888	1,177	581	30	600	48	3,005	23,329
内 訳	固定電話	5,161	1,137	95	11	430	5	650	7,489
	I P 電話	5,964	20	112	4	144	4	536	6,784
	携帯電話	6,763	20	374	15	26	39	1,819	9,056
1月		512	95	14	—	11	1	60	693
		622	—	10	—	3	1	42	678
		582	5	32	—	4	5	121	749
2月		400	86	3	—	16	1	65	571
		480	2	7	—	3	—	34	526
		481	2	27	1	3	2	119	635
3月		419	87	6	1	29	—	64	606
		476	9	13	—	8	1	44	551
		520	2	23	1	4	5	158	713
4月		425	85	6	6	28	—	65	615
		425	1	8	1	18	1	41	495
		510	1	34	1	1	1	132	680
5月		409	78	7	1	28	1	59	583
		479	3	9	—	8	—	47	546
		594	2	33	1	—	3	153	786
6月		404	123	9	1	64	—	43	644
		425	2	8	1	10	—	47	493
		555	3	21	3	1	3	134	720
7月		459	91	8	—	38	1	50	647
		522	—	14	—	5	—	46	587
		624	1	34	—	1	5	185	850
8月		462	83	12	—	10	—	54	621
		486	—	11	—	5	—	54	556
		646	—	51	5	1	5	204	912
9月		400	93	8	—	38	1	44	584
		463	1	8	—	14	—	46	532
		545	—	30	—	3	2	153	733
10月		440	106	6	1	54	—	38	645
		504	—	7	—	24	1	42	578
		577	3	39	—	1	3	155	778
11月		377	97	7	1	88	—	52	622
		502	—	6	2	29	—	45	584
		519	—	22	2	4	2	143	692
12月		454	113	9	—	26	—	56	658
		580	2	11	—	17	—	48	658
		610	1	28	1	3	3	162	808

※その他の内訳は、収容病院照会、医療相談、間違い、同報等です。



119番受付件数のうち、固定電話からは7,489件で全体の32%、携帯電話は9,056件で全体の39%、I P電話は6,784件で全体の29%となっており、携帯電話からの通報が最も多く、次いで固定電話、I P電話の順となっています。

なお、携帯電話からの通報のうち、管轄外からの通報は39件で北アルプス広域消防本部へ16件、木曽広域消防本部へ4件、その他の消防本部へ19件転送しています。

4 地域住民等を対象としたシステム

(1) Web 119 通報システム受信状況

Web 119 通報システムは聴覚や音声、言語機能に障がいのある方を対象とした緊急通報システムで、平成26年3月にシステムを更新し、指令台と接続しました。

携帯電話やスマートフォンのWeb画面から緊急通報することにより、通報者の位置情報や災害情報などを把握します。

平成30年4月1日現在の総登録者数は、3市3村で79人となっています。

また、平成29年中の災害に関する緊急通報は救急2件でした。

(2) インターネットを活用した災害情報公開システム

インターネットを活用してリアルタイムな災害情報等を提供しています。

■ 消防局ホームページ

携帯サイトも設置し、災害情報、救急当番医等を提供しています。

ホームページアドレス <http://www.m-kouikil19.jp>

(携帯サイト、スマートフォンサイトも開設しています。)

■ 災害情報メール

携帯電話やパソコンへ災害情報をメールで送信しています。

平成30年4月1日現在の総登録件数は28,829件となっています。

松本広域消防の歌

(制定：平成12年3月7日)

作詞 横山良孝

作曲 平賀正巳

編曲

いきいきと 活発に ♩ =104

mp *mf*



1. は る ら ん ま ん の さ く ら ば な ほ こ
 2. な つ は せ い れ つ か み こ う ち わ さ
 3. あ き せ い ろ う の し の の め じ み の
 4. ふ ゆ か が や け る だ い せ っ け い ア ル



る こ く ほ う ま つ も と じょう
 び ば た け に み ず わ き て
 り ゆ た か な サ う ダ み ち
 プ ス の み ね げ ん ぜ ん と

mf *f* *v*



ぶ ー ん か つ た え る わ が ま ち を
 ば く し ゅ う ひ ー か る わ が さ と を
 こ う よ う は ー え る わ が さ と を
 ワ イ ン の か ー お る わ が ま ち を

mf



る し ょ う ぼ う わ れ ら の し め い

四	三	二	一
冬輝ける大雪溪 アルプスの連峰 ワインの香る我が街を 猛火洪水 守る消防 われらの使命	秋晴朗のしのめ路 実り豊かなサラダ街道 紅葉映える我が里を 猛火洪水 守る消防 われらの使命	夏は清冽に上高地 わさび畑に水湧きて 麦秋光る我が里を 猛火洪水 守る消防 われらの使命	春爛漫の桜ばな 誇る国宝松本城 文化伝える我が街を 猛火洪水 守る消防 われらの使命

平成30年度 消防年報

(松本広域消防局発足25周年特集号)

編集・発行 松本広域連合

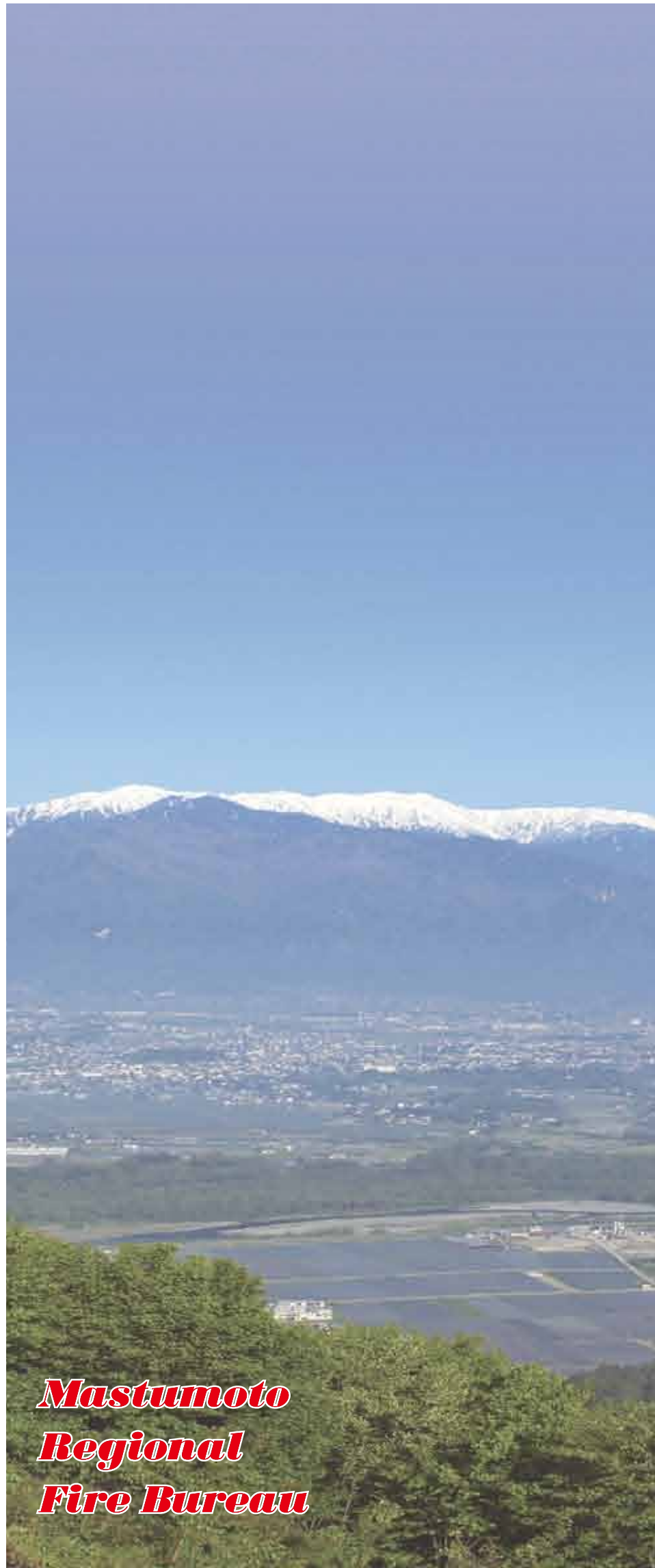
松本広域消防局

〒390-0841 松本渚1丁目7番12号

電 話 (0263) 25-0119

F A X 25-3987

印 刷 有限会社 安曇印刷



***Mastumoto
Regional
Fire Bureau***